

附屬員ハ委員長之ヲ命ス
附屬員ハ上司ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス

○工學部規程

第一章 人 學

第一條 九州帝國大學通則第六條及第九條ニ依リ本學部ニ入學セントスル者ハ左ノ區別ニ從ヒ第一、第二及第三志望ノ學科ヲ選定シ通則第十條ニ依リ入學願書ヲ差出スヘシ

土木工學科

機械工學科

電氣工學科

應用化學科

探礦學科

冶金學科

造船學科

第二條 九州帝國大學通則第十條第一項ノ期日以後ニ於テ入學願書ヲ提出スル者ニハ通則第七條ヲ適用セス

第三條 九州帝國大學通則第六條第二號ニ依リ本學部ニ入學セントスル者ハ專門學校程度ノ工業學校卒業者、高等師範學校本科理科卒業者及之ト同等以上ノ學力アリト認メラレタル者タルヲ要ス

第四條 前條ノ入學志望者ハ二月十五日迄ニ學部長宛願出ツヘシ

第二章 授 業

第五條 各學期ノ授業期日ハ左ノ如シ

第一學期

四月十六日より七月十日ニ至ル

九月十一日より十月十七日ニ至ル

第二學期

十一月一日より十二月二十五日ニ至ル

○工學部規程 第一章 入學 第二章 授業

一月八日より三月十日に至ル

第六條 本學部ニ於テ教授スル科目ノ種類及授業時間數ハ別表第一ニ依ル

第七條 學生ハ前條ノ科目ヲ自由ニ選擇シテ修學スルコトヲ得但シ授業上定員ノ制限ヲ要スル科目ニ就テハ第九條ニ依リ選抜決定ヲ受クルコトヲ要ス

特ニ定ムル科目ニ就テハ別表第一ニ掲クル所ニ依リ豫メ必要ナル準備科目ヲ履修スルコトヲ要ス但シ實驗、實習、製圖ヲ除キ試験ヲ受クルコトヲ志望セサル科目ニ就テハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ準備科目ハ左ノ三種トス

第一種 豫メ試験ニ依リ合格スルコトヲ要スルモノ

第二種 豫メ修學ヲ終ルコトヲ要スルモノ

第三種 豫メ修學ヲ終ルカ又ハ同時ニ修學スルコトヲ要スルモノ

第八條 學生ハ其ノ修メントスル科目ヲ當該科目授業開始前ニ擔任教官ニ申出テ承認ヲ受クヘシ

第九條 實驗、實習、製圖其他授業上定員ノ制限ヲ要スル科目ニ對シ志望者數定

員ヲ超過スルトキハ當該擔任教官ノ報告ニ依リ學部長教授會ニ諮リ修學者ヲ選抜決定ス但シ志望者中當該科目ヲ第十八條ノ試験科目トナス者定員ト同數ナルトキハ本條ノ手續ニヨラス擔任教官ニ於テ之ヲ優先承認ス

前項ノ定員數ハ豫メ教授會ニ於テ之ヲ決定ス變更ノ場合亦同シ

第十條 前條ノ科目ニ於テ學期ノ中途生シタル缺員ニ對シ補充スル場合ハ之ヲ公表シ志望者ノ申出テニ依リ更ニ前條ノ規定ニ準シ補充者ヲ決定ス

第十一條 學生ノ在學期間ハ六年ヲ超ユルコトヲ許サス但シ休學シタル期間ハ之ヲ算入セス

第三章 科目試験

第十二條 學生修學セル科目ニ就キ試験ヲ受ケントスルトキハ第一學期ニ於テハ十月十一日迄ニ第二學期ニ於テハ三月一日迄ニ擔任教官ニ申出ツヘシ

第十三條 試験ハ十月十八日より十月三十一日迄及三月十一日より三月二十八日迄ノ間ニ於テ之ヲ行フ但シ場合ニ依リ本條ノ期間以外ニ於テ之ヲ行フコトアルヘシ

○工學部規程 第三章 科目試験

第十四條 各科目ニ就テノ合格不合格ハ試験ノ成績ニ依リ之ヲ決定ス但シ擔任教官ノ見込ミニ依リ平素ノ成績考查ヲ以テ試験ニ代用スルコトアルヘシ

第十五條 合格シタル科目ニ對シテハ希望ニ依リ證明書ヲ與フルコトアルヘシ

第四章 學士試験

第十六條 大學令第十條ニ依リ學士ノ稱號ヲ得ントスル者ノ爲ニ學士試験ヲ行フ

第十七條 學士試験ヲ分チテ科目試験及論文試験トス

第十八條 前條ノ科目試験トハ別表第二ノ學科別ノ一ニ屬スル全試験科目ニツキ

第三章ノ規定ニ依リテ行フ試験ヲ云フ

第十九條 論文試験ハ一定ノ問題ニ就キ作製セル論文報告計畫等ノ審査及口頭試問ヲ以テ之ヲ行フ

前項ノ問題ハ豫メ所屬學科教授ノ承認ヲ受クルコトヲ要ス

第二十條 論文試験ハ第十八條ニ依ル科目試験ニ合格シ且別ニ定ムル所ノ學外實習及見學ヲ終了シタル後ニ非サレハ之ヲ受クルコトヲ得ス

第二十一條 論文試験ハ三月中ニ之ヲ行フモノトス但シ在學三年ヲ超ユル者ニ對

シテハ隨時之ヲ行フコトアルヘシ

第二十二條 學士試験ヲ受ケントスル者ハ別表第二ノ學科別ノ一ヲ選定シ論文試験ヲ受ケントスル時ヨリ少クトモ一年以前ニ所屬學科ノ教授ヲ經テ學部長ニ届出ツヘシ

第二十三條 別表第二ニ掲ケタル以外ノ學科別ニ依リ學士試験ヲ受ケントスル者アルトキハ學部長教授會ノ議ヲ經テ之ヲ許可スルコトアルヘシ
前項ノ場合ニ於ケル試験科目ハ其ノ都度之ヲ決定ス

第五章 聽講生

第二十四條 九州帝國大學通則第八十二條ニ依リ本學部聽講生タルノ許可ヲ得ントスル者ハ學期毎ニ志望科目ヲ選定シ履歷書ヲ添ヘ願書ヲ學部長ニ差出スヘシ

第二十五條 聽講生ニハ試験ヲ行ハス

附 則

第二十六條 別表第一科目及授業時間數並ニ別表第二學科類別及試験科目ハ昭和六年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第二十七條 舊規程ニ依リ入學シタル學生ニ對シテハ別ニ經過規程ヲ定メ之ヲ適用ス但シ新規程ノ一部若ハ全部ニ就キ履修セントスル者アルトキハ願ニ依リ教授會ノ議ヲ經テ之ヲ許可スルコトアルヘシ

附 則

本改正ハ昭和八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

附 則

本改正ハ昭和九年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

現ニ在學セル學生ニ對シテハ新舊學科課程及試験科目ニ付適宜斟酌ヲ加フ但シ昭和九年三月學士試験ニ合格セサル者ニ對シテハ舊規程ヲ適用シ新規程ニ依リ學士試験ヲ受ケントスル者アルトキハ願ニ依リ教授會ノ議ヲ經テ之ヲ許可スルコトアルヘシ

附 則

本改正ハ昭和十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
現ニ在學セル學生ニ對シテハ新舊學科課程及試験科目ニ付適宜斟酌ヲ加フ但シ昭和

和十年三月學士試験ニ合格セサル者ニ對シテハ舊規程ヲ適用シ新規程ニ依リ學士試験ヲ受ケントスル者アルトキハ願ニ依リ教授會ノ議ヲ經テ之ヲ許可スルコトアルヘシ

別表第一 科目及授業時間數

科目 番 號	科 目 名	毎 週 時 數		準 備 科 目		
		第一學期	第二學期	第一種	第二種	第三種
〇〇一	數學第一演習	一二	一二			
〇〇二	數學第二	二	二			
〇〇三	力學第一演習	一二	一二			
〇〇四	力學第二	二	二			
〇〇五	實用數學	二	二			
〇〇六	數値及圖表計算	一	〇			
〇一〇	物理學第一	二	二			

〇工學部規程 別表第一 科目及授業時間數

科目 番號	科 目 名	每週時數		準備科目		
		第一學期	第二學期	第一種	第二種	第三種
〇一二	物理學第二	二	二			
〇一二	熱力學	二	〇			
〇一三	測定理論	二	〇			
〇一四	物理學實驗第一	又六 〇三	三〇			
〇一五	物理學實驗第二	三	三〇			
〇二〇	理論電氣學 理論電氣學演習	〇四	二〇			
〇二一	電氣理論大意	〇	二			
〇三〇	無機化學	〇	二			
〇三一	有機化學	三	三			
〇三二	有機化學實驗	一六 (六週)	〇			〇三一
〇三三	物理化學	二	二			
〇三四	應用物理化學	二	〇		〇三三	

〇三五	物理化學實驗	又六 〇三	三〇		〇三四	
〇四〇	分析化學	二	〇			
〇四一	化學分析(甲)	一六	一六 (二週)			〇四〇
〇四二	化學分析(乙)	三九	三九			
〇四三	化學實驗(甲)	九	六			
〇四四	化學實驗(乙)	又六 〇四	四〇			
〇四五	化學實驗(丙)	(四週) 六	〇			
〇五〇	材料力學	〇	二			
〇五一	材料試驗	三	〇			
〇五二	彈性力學 (彈性力學演習)	二二	二二			
〇六〇	構造力學	四	二			
〇六一	構造力學演習及製圖	六	四			
〇六二	構造力學大意	二	〇			
〇六三	水理學	〇	二			

〇工學部規程 別表第一 科目及授業時間數

科目 番號	科 目 名	每週時數		準備科目		
		第一學期	第二學期	第一種	第二種	第三種
〇七〇	礦物學第一	二	〇			
〇七一	礦物學第一實驗(甲)	三	三			〇七〇
〇七二	礦物學第一實驗(乙)	〇	三			〇七〇
〇七三	礦物學第二	二	〇		〇七五	
〇七四	礦物學第二實驗	〇	二		〇七三	
〇七五	岩石學	〇	二		〇八〇	
〇七六	岩石學實驗	三	〇		〇七五	
〇八〇	地質學	二	〇			
〇八一	地質學實驗	〇	二		〇八〇	
〇八二	構造地質學	二	〇		〇八〇	
〇八三	層位學	〇	二		〇八〇	
〇八四	層位學實驗	三	〇		〇八三	

〇八五	地質測量	六	〇		〇八〇	
〇八六	土地地質學 地質學特別演習	二 (五日以內)	〇〇			
〇九〇	法制	二	〇			
〇九二	經濟	〇	二			
一〇〇	鐵道工學	二〇 (六週期)	三二			
一〇二	鐵道工學設計及製圖	一〇 (六週期)	〇			一〇〇
一〇二	道路及都市計畫	二	〇	五五 一〇		
一一〇	橋梁工學	二四 (九週期)	〇四	〇六〇、〇六一 一四〇、一四一		
一一一	橋梁工學設計及製圖	一〇 (二週期)	〇			一一〇
一二〇	河海工學	二四	〇四	〇六三、一 五五〇、五五〇		
一二一	河海工學設計及製圖	一〇 (二週期)	〇			一二〇
一二二	水力土木	二	〇			
一三〇	衛生工學	二二	〇四	〇六三、一 五五〇、五五〇		
一三二	衛生工學設計及製圖	一三 (七週期)	〇			一三〇

○工學部規程 別表第一 科目及授業時間數

科目 番號	科 目 名	每週時數		準備科目		
		第一學期	第二學期	第一種	第二種	第三種
一三二	細菌學	一	〇			
一四〇	土木材料及施工法	二	二			
一四一	土木材料及施工法設計及製圖	〇	五 (九週間)			一四〇
一四二	鐵筋コンクリート	四	〇			
一四三	鐵筋コンクリート設計及製圖	〇	五 (四週間)			一四二
一四四	土木材料試驗	〇	三 (六週間)			
一五〇	測量及測地學	二	二			
一五一	測量及測地學實習	七 (二〇日以内)	七			一五〇
一五二	測量學特別實習	〇	〇			
一五三	測量學實習(甲)	三	〇			
一五四	測量學實習(乙)	一	〇			
一五五	誤差論	一	〇			

○工學部規程 別表第一 科目及授業時間數

一六〇	建築構造	二	〇			
一六一	建築學	〇	二			
一六二	建築學設計及製圖	二	〇			一六二
一七〇	土木工學大意	〇	二			
一七一	地震學	〇	二			
一七二	土木行政法	一 (二週間)	〇			
一七三	土木工學特別講義	一	一			
二〇〇	機械工學大意(甲)	二	二			
二〇一	機械工學大意(乙)	二	〇			
二〇二	機械製圖	六 又六 (三週間)	〇 六 (三週間)			
二〇三	原動機實驗	三 (三週間)	三 (三週間)			三三 四四 一一〇
二一〇	水力機械通論	〇	二			
二一一	水力機械第一	二	〇			
二一二	水力機械第二	〇	二			
二一二	水力機械第二演習	〇	二			

科目 番號	科 目 名	每週時數		準備科目		
		第一學期	第二學期	第一種	第二種	第三種
二二三	水力機械實驗	三	〇			二二一 二二一 二二一
二二四	水力機械設計及製圖	〇	六			二二一 二二一 二二一
二二〇	機械學通論	二	〇			
二二一	機構學	二	〇			
二二二	工作法(甲)	二	二			
二二三	工作法(乙)	二	二			
二二四	工作法實習(甲)	六	三			
二二五	工作法實習(乙)	〇	三			
二二六	工作機械	二	〇		二二一 二二一 二二一	
二三〇	機械力學	二	二			
二三一	機械設計法	二〇	〇二			
二三二	機械設計法設計及製圖	六〇	〇六			

○工學部規程 別表第一 科目及授業時間數

二四〇	應用熱學	二	〇			
二四一	蒸汽罐及タービン	二	二			
二四二	蒸汽機關及內燃機關	二	〇			
二四三	蒸汽機關理論	〇	二			二四〇
二四四	內燃機關理論	二	〇			二四〇
二四五	內燃機關構造	〇	二		二四四	
二四六	輕發動機	一	〇		二四四 二四五	
二四七	熱機關演習	二	二			二四四 二四四 二四三
二四八	熱機關實驗	〇	三			二四四 二四四
二五〇	船用機關大意	二	二			
二五一	船用機關大意設計及製圖	〇	二			二五〇
二五二	船用機關第一	二	二			
二五三	船用機關第二	二	〇			
二六〇	起重機	二〇	〇二			

科目 番號	科 目 名	每週時數		準備科目		
		第一學期	第二學期	第一種	第二種	第三種
二六一	運搬機	二	〇			
二六二	機關車	二	〇			
二八〇	紡織機械	二	〇			
二八五	冷凍及冷房	二	〇			
二八六	煖房及換氣	二	〇			
三〇〇	電氣磁氣測定法及實驗	九	六			〇二〇
三〇一	電氣測定器及計器	〇	二		〇二〇 〇二一 〇二二	
三〇二	交流理論第一 交流理論第一演習	〇二	二〇			〇二〇
三〇三	交流理論第二	〇〇	二二		三〇二	
三一〇	電氣工學大意	二	二			
三一	電氣機械	四〇	〇四		三〇二	
三一二	電氣機械特論	二	二		三一	

三二三	電氣機械特論演習	三	三			三二二
三二四	電氣機械試驗法	〇	一		三一	
三二五	電氣機器設計及製圖	三	六			三一
三二六	電氣材料	一	〇			
三二七	電氣工學實驗(甲)	五六	〇六		三〇〇	三一一
三二八	電氣工學實驗(乙)	又六 三〇	〇三			三二〇
三二〇	發電所及變電所	二	二			三二一
三二一	發電及配電	二	二		〇二〇 〇二一	
三二二	蓄電池及蓄電池實驗	三	〇			
三二三	電燈及照明	二	〇		〇二〇 〇二一 三二三	
三二四	電燈及照明實驗	〇	三			
三二五	電氣鐵道	〇	二			
三二六	電熱工學	〇	二			
三三〇	電信電話學通論及實驗	三	〇		〇二〇 〇二一 〇二二	

○工學部規程 別表第一 科目及授業時間數

科目 番號	科 目 名	每週時數		準備科目		
		第一學期	第二學期	第一種	第二種	第三種
三三二	電信學	二	〇		三三〇	
三三二	電話學 電話學實習	〇〇	二二		三三〇	
三三三	電信電話學實驗	三〇	〇三		三〇〇	三三三
三四〇	高周波電氣工學	一	〇		三〇二	
三四一	電子管工學	〇	二		三〇二	
三四二	電子管工學特論	二	〇		三四〇	
三四三	高周波電氣工學實驗(甲)	六	〇		三四〇	
三四四	高周波電氣工學實驗(乙)	又ハ 〇三	三〇		三四〇	三四一
三五〇	電氣工學實習	二	二	三〇二 三〇三 三〇四		
四〇〇	無機工業化學大意	〇	二			
四〇一	無機工業化學實驗	〇	一六 (六週)		〇四一	
四〇二	化學工業機械	二	〇			

四〇三	工場設計及製圖	三	〇			
四一〇	酸及アルカリ工業	二	二			
四一一	窯業第一	一	〇			
四一二	窯業第二	三〇 (六週)	二〇			
四一三	窯業實驗	一六 (六週)	〇		〇四一	
四一四	工業藥品	二	〇			
四二〇	電氣化學總論	二	〇			
四二二	應用電氣化學	二〇 (六週)	〇一		四二〇	
四二二	電氣化學實驗	一六 (六週)	〇		〇四一	
四二三	肥料工業	〇	二			
四二四	光化學	一	〇			
四二五	光化學實驗	〇	一六 (二週)		〇四一	
四三〇	纖維工業	二	二			
四三一	澱粉及製糖工業	二	〇			

○工學部規程 別表第一 科目及授業時間數

科目 番號	科 目 名	每週時數		準備科目		
		第一學期	第二學期	第一種	第二種	第三種
四三二	釀造工業	一	〇			
四三三	含水炭素工業實驗		一六 (六週間)		〇四一	
四四〇	タール工業	二	〇			
四四一	染料及染色	一〇	二		四四〇	
四四二	染料及染色實驗	〇	一六 (六週間)		〇四一	
四四三	顏料	〇	一			
四五〇	油脂工業	二	一			
四五一	芳香油及塗料	二	〇			
四五二	鑛油工業	〇	二			
四五三	油類工業實驗	一六 (六週間)	〇		〇四一	
四五四	減摩及減摩劑	一	〇			
四六〇	燃料	〇	二			

○工學部規程 別表第一 科目及授業時間數

四六一	燃料實驗	〇	一六 (六週間)		〇四一	
四六二	火藥學	二	〇			
四六三	皮革及ゴム工業	二	〇			
四六四	特別實驗	四 (六週間)	〇			
五〇〇	鑛業地理	〇	一			
五〇一	鑛床學	二	二		〇〇七 〇〇八	
五〇二	鑛床學實驗	〇	二			五〇一
五〇三	物理探鑛學	〇	二			
五〇四	物理探鑛學實驗	三	〇		五〇三	
五一〇	探鑛學通論	二	二			
五一一	探鑛學第一	四	二		五一〇	
五一二	探鑛學第二	二	〇			
五二三	探鑛機械	二	二			
五一四	探鑛學實驗	三〇	〇三			五五三 五五二

科目 番號	科 目 名	每週時數		準備科目		
		第一學期	第二學期	第一種	第二種	第三種
五一五	鑛山測量	〇	二		一五二	
五二〇	選鑛學大意	〇	二			
五二一	選鑛學	四	二		五二〇	
五二二	選鑛學實驗	三	〇		五二一	
五二三	煉炭及團鑛	〇	二			
五二四	材料運搬法	二	〇			
五三〇	探鑛學設計及製圖	六〇	〇六		二〇二	五一〇
五四〇	鑛業法規	二	〇			
六〇〇	冶金學汎論	三	〇			
六〇一	理論冶金學	二	〇			
六〇二	冶金學	二〇	〇二		六〇〇	
六〇三	冶金學大意	〇	二			

六〇四	冶金學實驗	三〇	三三			六〇二
六〇五	試金術實習(甲)	三	三			
六〇六	試金術實習(乙)	〇	三			
六〇七	驗熱實習	三	〇			
六一〇	鐵冶金學	二〇	〇二		六〇〇	
六一一	鐵冶金學實驗	三〇	三三		六一〇	
六二二	鐵試金術實習	三	三			
六二三	電氣冶金學(甲)	二	二			
六二一	電氣冶金學(乙)	二	〇			
六二二	電氣冶金學實驗	六	〇			六二〇
六二三	特殊冶金學	二	〇			
六二四	特殊冶金學實驗	三	〇			六二二
六三〇	製造冶金學	二	二			
六三一	製造冶金學實驗	三	三			六三〇

科目 番號	科 目 名	每週時數		準備科目		
		第一學期	第二學期	第一種	第二種	第三種
六三二	金屬組織學	二	二			
六三三	金屬組織學實驗	三	〇		六三二	
六三四	金屬材料(甲)	四	四		六三二	六三三
六三五	金屬材料(乙)	二	二			
六三六	金屬材料大意	二	〇			
六四〇	冶金製圖	三	〇			
六四一	冶金設計及製圖	三	〇			
六四二	鑄冶金設計及製圖	三	〇			
七〇〇	造船學大意	二	二			
七〇一	流體力學	二	二			
七〇二	造船數學	二	〇			
七〇三	船舶復原性	〇	二		七〇二	

七〇四	船體構造	二	二			
七〇五	造船工作法	二	二			
七〇六	船舶法規	隔週二	〇			
七〇七	航海運用術	隔週二	〇			
七〇九	造兵學大意	隔週二	〇			
七一〇	構造學通論	〇	二			
七一一	船體強度理論	二	二		(七〇五〇〇)	
七一二	軍艦設計及艤裝	二	二	七〇二		
七三一	船舶抵抗推進及旋迴	二	二	七〇二		
七四一	船舶動搖及振動	二	二	七〇三	(〇〇〇三)	
七五一	商船設計及艤裝	二	二	七〇二		
七五二	漁船設計及艤裝	隔週二	〇			
七六二	造船學實驗第一	三	三			
七六三	造船學實驗第二	三	三			

○工學部規程 別表第一 科目及授業時間數

科目 番號	科 目 名	每週時數		準備科目		
		第一學期	第二學期	第一種	第二種	第三種
七七一	造船學演習第一	二	二			
七七二	造船學演習第二	四	四			
七七三	造船學演習第三	四	四			
七八一	造船設計及製圖(甲)第一	六	一二			
七八二	造船設計及製圖(甲)第二	一二	一〇		七〇四	七二二
七八三	造船設計及製圖(甲)第三	二四	二四		七八一	七八二
七八四	造船設計及製圖(乙)	三	三			
八〇一	航空力學	二	二		七〇一	
八〇二	航空學特別講義	二	二		八二二	
八〇五	航空機工作法	二	〇			
八〇六	航空法規	隔週二	〇			
八〇七	航空運用術及計器	〇	二			

二〇八

八〇八	航空氣象學	隔週二	〇			
八一	航空機強度理論	二	二		七〇五	七〇〇
八二一	航空機通論	二	〇			
八二二	航空機工學	二	二	七〇二	八二二	
八二五	航空機特論	二	〇			
八五〇	航空原動機	二	二			
八六二	航空學實驗第一	三	三			
八六三	航空學實驗第二	三	三			
八七二	航空學演習第一	四	四			
八七三	航空學演習第二	四	四			
八八二	航空機設計及製圖第一	一四	一四		七八一	八二二
八八三	航空機設計及製圖第二	二四	二四		八八二	

備考

第一學期及第二學期ニ於ケル各科目ノ每週時數ノ配置ハ場合ニ依リ總時數ニ異動ナ
キ限リニ於テ教授會ノ決議ヲ經テ之ヲ變更スルコトアルヘシ

○工學部規程 別表第一 科目及授業時間數

二〇九

〇〇一	數學第一演習	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
〇〇二	數學第二			〇	〇	〇		〇	〇
〇〇三	力學第一演習	〇	〇	〇	〇	〇		〇	〇
〇〇四	力學第二		〇			〇			
〇〇五	實用數學						〇	〇	〇
〇〇六	數值及圖表計算		〇	〇		〇		〇	〇

〇一〇	物理學第一
〇一一	物理學第二
〇一二	熱力學
〇一三	測定理論
〇一四	物理學實驗第一
〇一五	物理學實驗第二
〇二〇	{ 理論電氣學 理論電氣學演習
〇二一	電氣理論大意
〇三〇	無機化學
〇三一	有機化學
〇三二	有機化學實驗
〇三三	物理化學
〇三四	應用物理化學
〇三五	物理化學實驗

科 目 番 號	試 驗 科 目 別	土 木 工 學 科	機 械 工 學 科	機 械 工 學 科 (學 工) (甲 學 理 物)	電 氣 工 學 科	電 氣 工 學 科 (學 工) (乙 學 理 物)	應 用 化 學 科	應 用 化 學 科 (學 化 氣 電)	探 礦 學 科	冶 金 學 科	造 船 學 科	造 船 學 科 (學 工 空 航)
○四〇	分析化學											
○四一	化學分析(甲)						○	○				
○四二	化學分析(乙)						○					
○四三	化學實驗(甲)								○			
○四四	化學實驗(乙)										○	
○五〇	材料力學		○	○	○					○		
○五一	材料試驗	○	○	○ _(a)	○					○		
○五二	彈性力學 (彈性力學演習)				○						○	○

○六〇	構造力學	○										
○六一	構造力學演習及製圖	○										
○六二	構造力學大意								○			
○六三	水理學	○										
○七〇	礦物學第一					○			○			
○七一	礦物學第一實驗(甲)					○			○			
○七二	礦物學第一實驗(乙)					○					○	
○七三	礦物學第二											
○七四	礦物學第二實驗											
○七五	岩石學											
○七六	岩石學實驗					○ _(a)			○			
○八〇	地質學								○			
○八一	地質學實驗								○			
○八二	構造地質學								○			

○工學部規程 別表第二 學科別及試驗科目

科 目 番 號	試 驗 科 目	土 木 工 學 科	機 械 工 學 科	機 械 工 學 科 (學 工) (甲 學 理 物)	電 氣 工 學 科	電 氣 工 學 科 (學 工) (乙 學 理 物)	應 用 化 學 科	應 用 化 學 科 (學 化 氣 電)	探 礦 學 科	冶 金 學 科	造 船 學 科	造 船 學 科 (學 工 空 航)
〇八三	屑位學											
〇八四	屑位學實驗											
〇八五	地質測量								〇	〇	〇	
〇八六	〔土木地質學〕 地質學特別演習	〇										
一〇〇	鐵道工學	〇										
一〇一	鐵道工學設計及製圖	〇										
一〇二	道路及都市計畫	〇										
一一〇	橋梁工學	〇										

一一一	橋梁工學設計及製圖	〇										
一二〇	河海工學	〇										
一二一	河海工學設計及製圖	〇										
一二二	水力土木	〇										
一三〇	衛生工學	〇										
一三一	衛生工學設計及製圖	〇										
一四〇	土木材料及施工法	〇										
一四一	土木材料及施工法設計及製圖	〇										
一四二	鐵筋コンクリート	〇										
一四三	鐵筋コンクリート設計及製圖	〇										
一四四	土木材料試驗	〇										
一五〇	測量及測地學	〇										
一五一	〔測量及測地學〕 測量學特別實習	〇										
一五二	測量學		(a) 〇	(c) 〇								
									〇			

〇工學部規程 別表第二 學科別及試驗科目

科 目 番 號	試 驗 科 目 別	土 木 工 學 科	機 械 工 學 科	機 械 工 學 科 (學 工 甲 學 理 物)	電 氣 工 學 科	電 氣 工 學 科 (學 工 乙 學 理 物)	應 用 化 學 科	應 用 化 學 科 (學 化 氣 電)	探 礦 學 科	冶 金 學 科	造 船 學 科	造 船 學 科 (學 工 空 航)
一五三	測量學實習(甲)											
一五四	測量學實習(乙)				(a) (c)							
一五五	誤差論											
一六〇	建築構造											
一六一	建築學											
一七〇	土木工程大意				(a)							
一七一	地震學											
一七二	土木行政法											

二〇〇	機械工學大意(甲)											
二〇一	機械工學大意(乙)											
二〇二	機械製圖											
二〇三	原動機實驗											
二一〇	水力機械通論											
二一一	水力機械第一											
二一二	水力機械第二											
二二三	水力機械第二演習											
二二三	水力機械實驗											
二二四	水力機械設計及製圖											
二二〇	機械學通論											
二二一	機構學											
二二二	工作法(甲)											
二二三	工作法(乙)											
二二四	工作法實習(甲)											

科 目 番 號	試 驗 科 目	土 木 工 學 科	機 械 工 學 科	機 械 工 學 科 (學 工 甲 學 理 物)	電 氣 工 學 科	電 氣 工 學 科 (學 工 乙 學 理 物)	應 用 化 學 科	應 用 化 學 科 (學 化 氣 電)	探 礦 學 科	冶 金 學 科	造 船 學 科	造 船 學 科 (學 工 空 航)
二二五	工作法實習(乙)									○		
二二六	工作機械		○ _(a)									
二三〇	機械力學		○	○								
二三一	機械設計法		○									
二三二	機械設計法設計及製圖		○									
二四〇	應用熱學		○	○ _(c)								
二四一	蒸汽罐及タービン	○	○		○							
二四二	蒸汽機關及內燃機關	○	○		○							

二四三	蒸汽機關理論		○	○ _(c)								
二四四	內燃機關理論		○	○ _(c)								
二四五	內燃機關構造		○	○ _(c)								
二四六	輕發動機		○	○ _(c)								
二四七	熱機關演習		○	○ _(c)								
二四八	熱機關實驗		○	○ _(c)								
二五〇	船用機關大意									○	○	
二五一	船用機關大意設計及製圖											
二五二	船用機關第一		○									
二五三	船用機關第二		○ _(b)									
二六〇	起重機		○									
二六二	運搬機		○									
二六二	機關車		○ _(c)									
二八〇	紡織機械		○ _(d)									

科 目 番 號	試 驗	學 科	別	土 木 工 學 科	機 械 工 學 科	機 械 工 學 科 (學 工 甲 學 理 物)	電 氣 工 學 科	電 氣 工 學 科 (學 工 乙 學 理 物)	應 用 化 學 科	應 用 化 學 科 (學 化 氣 電)	探 礦 學 科	冶 金 學 科	造 船 學 科	造 船 學 科 (學 工 空 航)
二八五	冷凍及冷房													
二八六	暖房及換氣				(e)	(e)								
三〇〇	電氣磁氣測定法及實驗													
三〇一	電氣測定器及計器													
三〇二	交流理論第一 交流理論第一演習													
三〇三	交流理論第二													
三一〇	電氣工學大意													
三一	電氣機械													

三一	電氣機械特論													
三一	電氣機械特論演習													
三一	電氣機械試驗法													
三一	電氣機器設計及製圖													
三一	電氣材料													
三一	電氣工學實驗(甲)													
三一	電氣工學實驗(乙)													
三一	發電所及變電所													
三一	送電及配電													
三一	蓄電池及蓄電池實驗													
三一	電燈及照明													
三一	電燈及照明實驗													
三一	電氣鐵道													
三一	電熱工學													

○工學部規程 別表第二 學科別及試驗科目

科 目 番 號	試 驗	學 科	別	土 木 工 學 科	機 械 工 學 科	機 械 工 學 科 (工 學 甲 學 理 物)	電 氣 工 學 科	電 氣 工 學 科 (工 學 乙 學 理 物)	應 用 化 學 科	應 用 化 學 科 (電 氣 化 學)	探 礦 學 科	冶 金 學 科	造 船 學 科	造 船 學 科 (航 空 工 學)
三三〇	電信電話學通論及實驗						○	○						
三三一	電信學						○	○						
三三二	電話學						○	○						
三三三	電話學實習						○	○						
三三三	電信電話學實驗						○	○						
三四〇	高周波電氣工學						○	○						
三四一	電子管工學						○	○						
三四二	電子管工學特論						○	○						
三四三	高周波電氣工學實驗(甲)						○	○						

科 目 番 號	試 驗	學 科	別	土 木 工 學 科	機 械 工 學 科	機 械 工 學 科 (工 學 甲 學 理 物)	電 氣 工 學 科	電 氣 工 學 科 (工 學 乙 學 理 物)	應 用 化 學 科	應 用 化 學 科 (電 氣 化 學)	探 礦 學 科	冶 金 學 科	造 船 學 科	造 船 學 科 (航 空 工 學)
三四四	高周波電氣工學實驗(乙)						○	○						
三五〇	電氣工學實習						○	○						
四〇〇	無機工業化學大意						○	○						
四〇一	無機工業化學實驗						○	○						
四〇二	化學工業機械						○	○						
四〇三	工場設計及製圖						○	○						
四一〇	酸及アルカリ工業						○	○						
四一一	窯業第一						○	○						
四一二	窯業第二						○	○						
四一三	窯業實驗						○	○						
四一四	工業藥品						○	○						
四二〇	電氣化學總論						○	○						
四二一	應用電氣化學						○	○						
四二二	電氣化學實驗						○	○						

四六一	染料及染色
四六〇	燃料
四五九	燃料實驗
四五八	火藥學
四五七	皮革及ゴム工業
四五六	特別實驗
四五五	農 生物化學總論
四五四	礦床學
四五三	礦床學實驗
四五二	芳香油及塗料
四五〇	油脂工業
四四九	染料及染色實驗
四四八	染料及染色

[illegible]

科 目 番 號	試 驗 科 目 別	土 木 工 學 科	機 械 工 學 科	機 械 工 學 科 (學 工) (甲 學 理 物)	電 氣 工 學 科	電 氣 工 學 科 (學 工) (乙 學 理 物)	應 用 化 學 科	應 用 化 學 科 (學 化 氣 電)	探 礦 學 科	冶 金 學 科	造 船 學 科	造 船 學 科 (學 工 空 航)
五〇三	物理探礦學											
五〇四	物理探礦學實驗											
五一〇	探礦學通論											
五一一	探礦學第一											
五一二	探礦學第二											
五二三	探礦機械											
五一四	探礦學實驗											
五一五	礦山測量											

五二〇	選礦學大意											
五二一	選礦學											
五二二	選礦學實驗											
五二四	材料運搬法											
五三〇	探礦學設計及製圖											
五四〇	鑛業法規											
六〇〇	冶金學汎論											
六〇一	理論冶金學											
六〇二	冶金學											
六〇三	冶金學大意											
六〇四	冶金學實驗											
六〇五	試金術實習(甲)											
六〇六	試金術實習(乙)											
六〇七	驗熟實習											

科 目 番 號	試 驗 科 目	土 木 工 學	機 械 工 學	機 械 工 學 (工 學 甲 學 理 物)	電 氣 工 學	電 氣 工 學 (工 學 乙 學 理 物)	應 用 化 學	應 用 化 學 (學 化 氣 電)	探 礦 學	冶 金 學	造 船 學	造 船 學 (學 工 空 航)
六二〇	鐵冶金學											
六二一	鐵冶金學實驗											
六二二	鐵試金術實習											
六二〇	電氣冶金學(甲)											
六二一	電氣冶金學(乙)											
六二二	電氣冶金學實驗											
六二三	特殊冶金學											
六二四	特殊冶金學實驗											

六三〇	製造冶金學											
六三一	製造冶金學實驗											
六三二	金屬組織學											
六三三	金屬組織學實驗											
六三四	金屬材料(甲)											
六三五	金屬材料(乙)											
六三六	金屬材料大意											
六四〇	冶金製圖											
六四一	冶金設計及製圖											
六四二	鐵冶金設計及製圖											
七〇〇	造船學大意											
七〇一	流體力學											
七〇二	造船數學											
七〇三	船舶復原性											

科 目 番 號	試 驗 科 目	土 木 工 學 科	機 械 工 學 科	機 械 工 學 科 (學 工 甲 學 理 物)	電 氣 工 學 科	電 氣 工 學 科 (學 工 乙 學 理 物)	應 用 化 學 科	應 用 化 學 科 (學 化 氣 電)	探 礦 學 科	冶 金 學 科	造 船 學 科	造 船 學 科 (學 工 空 航)
七〇四	船體構造										○	○
七〇五	造船工作法										○	○
七〇	構造學通論										○	○
七一一	船體強度理論										○	
七一二	軍艦設計及艦裝										○	
七三二	船舶抵抗推進及旋迴										○	○
七四二	船舶動搖及振動										○	○
七五二	商船設計及艦裝											

七六二	造船學實驗第一										○	
七六三	造船學實驗第二										○	
七七二	造船學演習第一										○	○
七七二	造船學演習第二										○	
七七三	造船學演習第三										○	
七八一	造船設計及製圖(甲)第一										○	○
七八二	造船設計及製圖(甲)第二										○	
七八三	造船設計及製圖(甲)第三										○	
七八四	造船設計及製圖(乙)			○								
八〇一	航空力學			○							○	○
八〇二	航空學特別講義										○	
八〇五	航空機工作法										○	
八〇七	航空運用術及計器										○	○
八一	航空機強度理論										○	○

科 目 番 號	試 驗 科 目 別	土 木 工 學 科	機 械 工 學 科	機 械 工 學 科 (工 學 甲 學)	電 氣 工 學 科	電 氣 工 學 科 (工 學 乙 學)	應 用 化 學 科	應 用 化 學 科 (電 氣 化 學)	探 礦 學 科	冶 金 學 科	造 船 學 科	造 船 學 科 (航 空 工 學)
八二二	航空機通論										○	○
八二二	航空機工學										○	○
八五〇	航空原動機										○	○
八六二	航空學實驗第一										○	○
八六三	航空學實驗第二										○	○
八七二	航空學演習第一										○	○
八七三	航空學演習第二										○	○
八八二	航空機設計及製圖第一										○	○
八八三	航空機設計及製圖第二										○	○

備考 本表中 (a)(b)(c) 等ハ各組合セ中一組ヲ選擇スルモノトス

○委託學生規程

- 第一條 官廳又ハ公共團體等ヨリ一箇年以上ヲ在學期限トシ修業科目ヲ定メテ工學部ニ學生ヲ委託セントスルトキハ入學ヲ許可スルコトアルヘシ
- 第二條 委託學生ノ入學資格ハ學部ニ於テ之ヲ認定ス
- 第三條 委託學生ノ入學ハ學年ノ始トス
- 第四條 委託學生ノ授業料ハ委託者ヨリ本學ニ納付スルモノトス
- 第五條 授業料ノ金額ハ學科ノ種類其ノ他ノ事情ニ依リ隨時之ヲ定ム
- 第六條 委託學生ニシテ學力ノ檢定ヲ受ケ高等學校高等科ト同等以上ト認メラレタル者學士試驗ニ合格シタルトキハ合格證書ヲ附與シ工學士ト稱スルコトヲ得セシム

○委託學生規程

第六條 委託學生ニシテ所定ノ試問ニ合格シタル者ニハ本人ノ志願ニ依リ學力ヲ檢定シ高等學校高等科同等以上ト認メタルトキハ卒業證書ヲ授與スルコトアルヘシ

第七條 本規程ノ外九州帝國大學ノ諸規則ハ之ヲ委託學生ニ準用ス

○農學部規程

第一章 學科及修學

第一條 本學部ニ左ノ三學科ヲ置ク

- 一、農 學 科
- 二、農 藝 化 學 科
- 三、林 學 科

第二條 本學部ノ最短在學期間ハ受験期ヲ通算シテ三箇年トス

第三條 授業科目ヲ必修科目及選擇科目トス其ノ科目竝最短在學期間ニ於ケル標準時間數別表ノ如シ

第四條 學生ハ修學ノ始及其ノ終ニ於テ本學部制定ノ修學簿ヲ當該學科擔任ノ教官ニ提出シ其ノ修學始ノ許可及修學終ノ證明ヲ受クヘシ

第五條 學生ノ在學期間ハ六箇年ヲ超ユルコトヲ許サス但シ休學シタル期間ハ之ヲ算入セス

第二章 入 學

第六條 九州帝國大學通則第六條第二號ニ依リ本學ニ入學セントスル者ハ專門學校程度ノ農林學校卒業者高等師範學校及女子高等師範學校本科理科卒業者又ハ專門學校卒業者ニシテ本學部ニ於テ適當ト認メタル者

第七條 前條ノ資格ヲ有スル者ニシテ入學セントスルトキハ願書ニ履歷書及醫師ノ體格檢査書ヲ添付シ二月十五日迄ニ願出ツヘシ

第三章 試 驗

第八條 科目試驗ハ必修科目及選擇科目ニ就キ之ヲ行フ

第九條 試驗ハ同一科目ニ就キ毎年一回又ハ二回トシ學期ノ終ニ於テ之ヲ行フ但シ場合ニ依リ臨時ニ之ヲ行フコトアルヘシ

第十條 試験ノ科目及期日ハ二週間前ニ之ヲ揭示ス

第十一條 試験ヲ受ケントスル者ハ試験期日揭示後一週間以内ニ擔任教官ヘ申出ツヘシ

第十二條 實驗、演習、實習及見學ハ擔任教官ノ意見ニ依リ試験ヲ施行セスシテ成績ヲ定ムルコトアルヘシ

第十三條 試験ノ成績ハ各科目ニ就キ合格不合格ノ二トス

第十四條 合格シタル科目ニ對シテハ希望ニ依リ證明書ヲ與フルコトアルヘシ

第十五條 大學令第十條ニ依ル學士試験ハ科目試験及論文試験トス

第十六條 論文試験ハ科目試験ノ全部ニ合格シタル後ニアラサレハ之ヲ受クルコトヲ得ス
文ノ審査及口頭試問トス

第十七條 學士試験ノ成績ハ合格不合格ノ二トス

第四章 選科生

第十八條 所定ノ科目中一科目若ハ數科目ヲ選ヒ之ヲ修メントスル者ハ學力檢定

ノ上選科生トシテ收容スルコトアルヘシ

第十九條 選科生トシテ入學ヲ志望スル者ハ其ノ選擇セント欲スル科目ヲ記載シ願書ニ履歷書及醫師ノ體格檢査書ヲ添付シ二月十五日迄ニ願出ツヘシ

第二十條 九州帝國大學通則中正科生ニ關スル規定、本規程第三條中標準時間數第四條及第九條乃至第十四條ハ之ヲ選科生ニ準用ス

附則

本規程中第七條及第十九條ヲ除クノ外ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

附則

本改正ハ昭和十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

現ニ在學セル學生ニ對シテハ新舊學科目ニ付キ適宜斟酌ヲ加フ但シ昭和十年三月學士試験ニ合格セサル者ニ對シテハ舊規程ヲ適用シ新規程ニ依リ學士試験ヲ受ケントスル者アルトキハ願ニ依リ教授會ノ議ヲ經テ之ヲ許可スルコトアルヘシ

別表

農學科

○農學部規程 第四章 選科生 別表（農學科）

必修科目	第一一年		第二二年		第三三年	
	第一學期	第二學期	第一學期	第二學期	第一學期	第二學期
土壤學	每週時三	每週時三	每週時	每週時	每週時	每週時
肥料學		三				
植物學	二	二				
動物學	二	二				
昆蟲學	一	二				
氣象學			二			
作物學汎論		二	一			
作物學各論			二	二		
園藝學			二	二		
熱帶農學				二	一	
植物病理學	二		一			

畜產學汎論	二					
畜產學各論			二		一	
家畜榮養學	二				一	
蠶學				三		
經濟學	二	二				
農業經濟學	二	一				
農業經營學			三			
農政學	三					
農業工業學				三		
作物學實驗及實習(甲)		一回	一回			
園藝學實驗及實習			一回	一回		
蠶學實驗及實習				一回	一回	
畜產學實驗及實習(甲)		一回	一回			
農業經濟學演習(甲)	二					

[illegible]

數學及演習	三	三			
數學第一及演習	三	三			
地質學實驗		二			
植物學實驗		一回		一回	
植物病理學實驗				一回	一回
樹病學實驗					一回
作物學實驗及實習(乙)					一回
育種學實驗				一回	
氣象學實驗	一回				
動物學實驗	一回	一回			
昆蟲學實驗	一回	一回			
畜產學實驗及實習(乙)					一回
化學實驗	一回				
農政學演習		二	二		

農業經濟學演習(乙)				二		
農業經營學演習(甲)						二
農業經營學演習(乙)						二
經濟學演習				二	二	
農業工學及農業機械學實驗			一回	一回		
測量學實習(甲)	三					
農業水工學設計及製圖					二回	二回
農業機械學設計及製圖					二回	二回
農林構造力學演習及製圖			二回	一回		
特別講義						
特別實驗						
特別實習						

二四四

備考

一、本表ハ昭和十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

一、選擇スヘキ科目ノ數ハ十五以上トス但シ特別研究ノ種類ニ應ジ選擇スヘキ科目ヲ指定スルコトアルヘシ

一、育種學實驗ハ育種學ヲ樹病學實驗ハ樹病學ヲ農業經營學演習(乙)ハ農業計算學ヲ農業機械學設計及製圖ハ農業機械學ヲ測量學實習(甲)ハ測量及測地學ヲ農業水工學設計及製圖ハ農業水理學並ニ農業水工學ヲ農林構造力學演習及製圖ハ農林構造力學ヲ夫々選擇スル者ニ限リ修ムルコトヲ得

農藝化學科

必修科目	第一 年		第 二 年		第 三 年	
	第一學期	第二學期	第一學期	第二學期	第一學期	第二學期
物理化學	每週時 二	每週時 二	每週時 二	每週時 二	每週時 二	每週時 二
應用物理化學			二			
有機化學	三	三				
地質學	二					

○農學部規程 別表(農藝化學科)

二四五

土 壤 學	肥 料 學	植 物 學	微 生 物 學	作 物 學 汎 論	生 物 化 學 總 論	生 物 化 學 各 論	酵 素 化 學	醱 酵 生 理 學	農 產 製 造 學	家 畜 榮 養 學	酪 農 學	食 品 化 學	蠶 絲 化 學
		二			二					二			
					二								
	三	二		二	二								
三	一		二	一	二	二		二			一		
						一	一	二	二		一	二	
一									二				一

無機工業化學大意	分 析 化 學	化 學 分 析	地 質 學 實 驗	農 藝 化 學 實 驗	生 物 化 學 實 驗	實 地 見 學	特 別 研 究	選 擇 科 目	數 學 及 演 習	物 理 學 第 一	動 物 學	統 計 學
	二	三回		二回					三	二	二	
		三回	二	二回					三	二	二	二
				四回	一回							
				四回	一回							
				三回	二回							
				三回	二回							
二												

農業經濟學	熱帶農學	畜產學	油脂工業	森林化學工藝	酸及アルカリ工業	肥料工業	機械工學大意	木材化學	應用電氣化學	無機化學	蠶學	氣象學
		二						二				
	二	一	二				二		二			二
	二	二	一	二			二		一		三	
二				二	二							
一					二	二				二		

[illegible]

地質學	氣象學	測量及測地學	經濟學	樹木學	測樹學	森林化學工藝	造林學	森林保護學	林價算法及林業校利學	森林經理學	森林生態及立地學	森林利用學	森林工學
每週時二	每週時二	二	二	三	三	二			二		二		
每週時	每週時	二	二		一							三	
每週時	每週時	二				二	四		二			二	二
每週時	每週時							二		三		二	二
每週時	每週時									二			
每週時	每週時									二			
每週時	每週時												

二五〇

砂防工學	林政學	森林管理學	森林法律學	測量學實習(甲)	森林測量學實習及製圖	地質學實驗	樹木學實驗	造林學實驗及實習	測樹學實習	森林化學工藝實驗	森林利用學實驗	森林工學實習	砂防工學實習
				三			一回						
						二		一回	一回	一回			
											一回	一回	
					一回						一回	一回	一回
二	二	二	一										
二	三	二	二										
二													
二													
二													
二													
二													
二													

○農學部規程 別表(林學科)

二五一

[illegible]

備考

- 一、本表ハ昭和十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 一、選擇スヘキ科目ノ數ハ五以上トス但シ教室主任ノ承認ヲ得ルヲ要ス
- 一、地質學實驗ハ地質學ヲ數學第二ハ數學第一及演習ヲ森林化學實驗第二ハ同實驗第一ヲ修了シタル後修ムルヲ要ス
- 一、植物學實驗ハ植物學ヲ建築學設計及製圖ハ建築學ヲ選擇スル者ニ限り修ムルコトヲ得

○法文學部規程

第一章 人 學

第一條 九州帝國大學通則第六條第二號ニ依リ本學部ニ於テ行フ學力檢定試験ヲ受ケ得ル者ハ左ノ如シ

- 一、高等師範學校、女子高等師範學校、高等商業學校若ハ外國語學校ヲ卒業シタル者
- 二、前號ニ掲ケタル以外ノ專門學校卒業者ニシテ本學部ニ於テ適當ト認メタル者
- 三、選科生ニシテ本學部講義ノ六單位ノ試験ニ合格シタル者

第二條 九州帝國大學通則第七條第二項及第八條第二項ニ依リ本學部ニ於テ選拔

試験ヲ行フ場合ニ於テ其ノ試験科目ハ隨時教授會ノ議決ニ依リ之ヲ定ム

第二章 授 業

第三條 本學部ニ於ケル授業科目及各科目ノ單位數左ノ如シ

單位數		單位數	
哲 學	二	西洋哲學史	五
論理學及認識論	二	國家及社會哲學	二
倫理學及倫理學史	五	心 理 學	五
社 會 學	四	教育學及教育史	四
宗 教 學	四	美 學	二
東洋美術史	二	西洋美術史	二
支那哲學史	四	印度哲學史	四
法 理 學	一	憲 法	一
國 法 學	一	行 政 法	二

○法文學部規程 第一章入學 第二章授業

民法	五	民事訴訟法	二
刑法	二	刑事訴訟法	一
商法	三	社會法	一
國際公法	二	國際私法	一
日本法制史	一	西洋法制史	一
政治學	一	國際政治學	一
政治學史	一	政治史及外交史	二
經濟學概論	二	貨幣論	一
銀行論	一	國際金融論	一
農業政策	一	工業政策	一
商業政策	一	交通政策	一
社會政策	一	保險學	一
植民政策	一	經濟史	一
經濟學史	一	社會思想史	一

日本思想史	一	財政學	二
統計學	一	會計學	一
經營學	一	景氣變動論	一
史學概論	一	國史	六
西洋史	六	東洋史	四
地理學	一	言語學概論	一
文學概論	一	國語學及國文學	九
支那文學	七	英文學	七
佛文學	七	獨文文學	七
英語	三		
外國語	三		
獨語	三		

前項ニ掲クルモノノ外臨時開設スヘキ授業科目及其ノ單位數ハ教授會ノ議決ニ依リ其ノ都度之ヲ定ム

第四條 學生ハ前條ノ授業科目中ニ就キ任意ニ選擇シテ履修スルコトヲ得

第五條 本學部ノ最短修學期間ハ三年トス

第六條 一年ノ修學期間ヲ左ノ二トス

第一學期 四月一日ヨリ十月三十一日ニ至ル

第二學期 十一月一日ヨリ翌年三月三十一日ニ至ル

第七條 各學期ニ於テ授業スヘキ科目、授業時間數及授業擔任者ハ各學期ノ初ニ之ヲ公示ス

第八條 學生ハ各學期ノ初ニ於テ其ノ履修セントスル科目ヲ學部長ニ届出ツヘシ

第三章 試 驗

第九條 大學令第十條ニ依リ本學部ニ於テ行フ試験ヲ受ケ學士ト稱スルコトヲ得ルニハ第十條、第十一條又ハ第十二條ニ依ル試験ニ合格シ且外國語三單位ノ試験ニ合格シタル者ナルコトヲ要ス

第十條 法學士ト稱スルコトヲ得ルニハ左ノ諸科目中十三單位並ニ本學部ノ授業科目中ヨリ選擇スル十單位ノ試験ニ合格シタル者ナルコトヲ要ス

		單位數			單位數
法	理 學	一	憲	法	一
國	法 學	一	行	政 法	二
民	法	五	民	事 訴 訟 法	二
刑	法	二	刑	事 訴 訟 法	一
商	法	三	社	會 法	一
國	際 公 法	二	國	際 私 法	一
日	本 法 制 史	一	西	洋 法 制 史	一
政	治 學	一	國	際 政 治 學	一
政	治 學 史	一	政	治 史 及 外 交 史	二

第十一條 文學士ト稱スルコトヲ得ルニハ左ノ諸科目中十六單位並ニ本學部ノ授業科目中ヨリ選擇スル四單位ノ試験ニ合格シ且左ノ諸科目中ノ何レカニ關係アル論文ヲ提出シテ其ノ審査ニ合格シタル者ナルコトヲ要ス

單位數	
哲學	二
論理學及認識論	二
倫理學及倫理學史	五
社會學	四
宗教學	四
東洋美術史	二
支那哲學史	四
日本思想史	一
國史	六
東洋史	四
言語學概論	一
國語學及國文學	九
英文學	七
西洋哲學史	五
國家及社會哲學	二
心理學	五
教育學及教育史	四
美學	二
西洋美術史	二
印度哲學史	四
史學概論	一
西洋史	六
地理學	一
文學概論	一
支那文學	七
佛文學	七

獨文學 七

右ノ外必要アルトキ教授會ノ決議ニ依リ他學部ノ講義科目ニシテ本學部ノ講義科目ト同等ト認メタル科目 二

第十二條 經濟學士ト稱スルコトヲ得ルニハ左ノ諸科目中十三單位並ニ本學部ノ授業科目中ヨリ選擇スル十單位ノ試験ニ合格シタル者ナルコトヲ要ス
左ノ諸科目中ノ何レカニ關係アル論文ヲ提出スルコトヲ以テ前項ニ依ルニ二單位ノ受験ニ代フルコトヲ得

單位數		單位數	
經濟學概論	二	貨幣論	一
銀行論	一	國際金融論	一
農業政策	一	工業政策	一
商業政策	一	交通政策	一
社會政策	一	保險學	一
植民政策	一	經濟史	一

○法文學部規程 第三章 試驗

經濟學史	一	社會思想史	一
財政學	二	統計學	一
政治學及政治學史	二	社會學(概論)	一
會計學	一	經營學	一
景氣變動論	一		

第十三條 外國語ノ試験ハ英語、佛語及獨語ノ中學生ノ選擇スル何レカニ付之ヲ行フ

第十四條 試験ハ毎年二回十月及三月ニ於テ之ヲ行フ

第十五條 第十一條及第十二條ニ依ル論文ハ在學第三年ノ第二學期以後ニ非サレハ提出スルコトヲ得ス

前項ノ論文ヲ提出スル期限ハ毎年九月十五日及一月十五日トス

第十六條 試験ハ履修シタル科目ニ非サレハ之ヲ受クルコトヲ得ス

第十七條 試験ノ成績ハ優、良、可、不可ノ四等トシ優、良、可ヲ合格トス

第十八條 試験ニ合格シタル科目ハ之ヲ修學簿ニ記入シ其ノ合格ヲ證明ス

第十九條 學士ノ稱號ヲ得ントスル學生ハ其ノ志望スル學士號ノ種類ヲ明記シ入學ノ初ニ於テ之ヲ學部長ニ届出ツヘシ

前項ノ學士號ハ一種ニ限ル

第二十條 學士試験ニ合格シタル者更ニ他ノ種ノ學士ノ稱號ヲ得ントスルトキハ學部長ノ許可ヲ得テ引續キ本學部ニ在學スルコトヲ得
前項ノ學生他ノ種ノ學士ノ稱號ヲ得ルニハ更ニ一年以上在學シ第十條乃至第十二條ニ依ルノ外尙本學部ノ授業科目中新ニ六單位ノ試験ニ合格スルコトヲ要ス
第二十一條 學士試験ニ合格シタル者退學ノ後再ヒ本學部ニ入學シ他ノ種ノ學士ノ稱號ヲ得ントスルトキハ前條第二項ノ規定ヲ準用ス

第四章 在學期間

第二十二條 學生ノ在學期間ハ六年ヲ超ユルコトヲ得ス但シ休學中ノ期間ハ之ヲ在學期間ニ算入セス

前項ノ期間ハ第二十條第二項及第二十一條ノ場合ニ於テハ三年トス

第五章 選科生

○法文學部規程 第三章 試験 第四章 在學期間 第五章 選科生

第二十三條 中等學校以上ノ學校ヲ卒業シタル者ハ本學部所定ノ試験ヲ行ヒタル
上選科生トシテ入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第二十四條 選科生ハ其ノ履修シタル科目ノ試験ヲ受ケ合格證明ヲ受クルコトヲ
得

第二十五條 其他選科生ニ關シテハ正科生ノ規定ヲ準用ス

第六章 聽 講 生

第二十六條 中等學校以上ノ學校ヲ卒業シ且本學部ニ於テ適當ノ學力アリト認メ
タル者ニシテ本學部ノ授業ヲ聽講スルコトヲ志望スル者アル時ハ設備ノ許ス限
リ學期毎ニ聽講生トシテ之ヲ許可スルコトヲ得

第二十七條 聽講生タラントスル者ハ其ノ聽講セントスル科目ヲ記載シ學期開始
前又ハ學期ノ初ニ學部長ニ願出ツヘシ

第二十八條 聽講生ニ對シテハ試験ヲ行ハス但シ聽講生ノ請求アル場合ハ聽講證
明書ヲ附與スルコトアルヘシ

第二十九條 聽講生ニハ每學期一單位ニ相當スル講義ニ付聽講料金七圓ヲ納付セ

シム

既納ノ聽講料ハ之ヲ還付セス

附 則

本規程ハ昭和五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

但シ昭和四年度以前ニ入學セル學生、生徒及聽講生ハ従前ノ規程ニ依ル

○温泉治療學研究所研究生規程

第一條 本研究所ニ於テ温泉治療學ニ關スル事項ヲ研究セントスル者アルトキハ
設備ニ差支ナキ限り研究生トシテ之ヲ許可ス

第二條 研究生タラントスル者ハ左ノ資格ノ一ヲ有スル者ニ限ル

一、醫師又ハ醫師タルノ資格ヲ有スル者

二、大學令ニ依ル大學又ハ專門學校令ニ依ル學校ニ於テ關係學科ヲ修メ卒業シタル者及之ト同
等以上ノ學力アリト認メタル者

○法文學部規程 第六章 聽講生 ○温泉治療學研究所研究生規程

第三條 研究生タラントスル者ハ願書ニ研究事項ヲ具シ履歷書ヲ添ヘ所長ニ願出ツヘシ

第四條 研究生ノ研究スヘキ事項ハ所長ノ承認ヲ經タルモノニ限ル

第五條 研究生ノ研究ハ所長ノ指定シタル所員之ヲ指導監督ス

第六條 研究生ノ研究期間ハ二箇年以内トス

前項ノ期間ヲ過キ尙研究ヲ繼續セントスル者ハ更ニ願出ツヘシ

第七條 研究生ハ其ノ研究成績ヲ指導所員ヲ經テ所長ニ差出スヘシ其ノ時期ハ指導所員之ヲ指定ス

第八條 研究生ニシテ其ノ研究業績ヲ發表セントスルトキハ指導所員ノ承認ヲ經テ所長ノ許可ヲ受クヘシ

第九條 研究生ハ研究費トシテ毎月金拾圓ヲ前納スヘシ
既納ノ研究費ハ之ヲ還付セス

第十條 研究ニ要スル材料、雜品及藥品等ハ研究生ノ自辨トス

第十一條 研究生ニシテ相當ノ研究ヲナシタリト認ムル者ニハ所長ハ證明書ヲ授

與スルコトアルヘシ

第十二條 研究生退所セントスルトキハ所長ニ願出ツヘシ

第十三條 研究費ヲ納付セサル者、體面ヲ汚シタル者、研究ヲ怠ル者、又ハ疾病其他ノ事故ニ因リ研究ノ目的ヲ達成スルコト能ハスト認メタル者ハ退所セシム

附 則

本規程ハ昭和七年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

○各部ノ敷地及建物

本部ハ工學部構内ニアリ建物ハ煉瓦造建坪四百五十二坪餘延坪千九坪餘鐵筋コンクリート造建坪三十六坪餘延坪百八坪餘鐵骨造十二坪餘木造建坪三百九十二坪延坪四百四十二坪餘アリ

醫學部ノ敷地ハ福岡縣福岡市ニ在リ其ノ面積合計八萬六千四百二坪餘内官有地ノ組替及購入ニ係ルモノ五萬六千八百五十一坪餘民有地ノ福岡縣寄附ニ係ルモノ二萬九千五百五十一坪、以上總面積現在ノ價格百二十萬九千六百三十五圓餘建物ハ煉瓦造建坪七百十九坪延坪七百七十五坪鐵筋コンクリート造

○各部ノ敷地及建物

建坪三千四百三十九坪餘延坪一萬六千六百六十坪餘木造建坪一萬五千五百五坪餘延坪一萬六千八百四十坪餘
ニシテ内鐵筋コンクリート三階建延坪五十二坪價格一萬三千六百七十六圓ハ本學名譽教授久保猪之吉
木造平家建八十七坪餘價格一萬三千九百四十九圓餘ハ同名譽教授伊東祐彦、木造二階及平家建四十八
坪餘價格七千四百二十九圓餘ハ牛尾量一外七名ノ寄附ニ係ルモノナリ

醫學部附屬醫院生ノ松原分院ハ福岡縣福岡市姪ノ濱町字生ノ松原ニ在リ敷地ハ早良演習林ノ一部ヲ組
替タルモノニシテ此ノ面積五千五百八十五坪價格一萬一千七百七十圓建物ハ木造平家建三百九十三坪餘
内八十一坪價格一萬四千四百七十九圓ハ早良郡姪ノ濱町ヨリ、四十七坪餘價格四千九百七十五圓ハ同郡
壹岐村ヨリノ寄附ニ係ルモノナリ

工學部ノ敷地ハ福岡縣精尾郡箱崎町ニ在リ合計六萬餘坪ニシテ内五萬四百八十七坪及創立費二十五萬
圓ハ福岡縣ノ寄附ニ係リ九千五百十三坪餘ハ國有林ノ組替ニ係ル總面積現在ノ價格ハ六十萬六圓餘建
物ハ現在煉瓦造建坪千九百八十坪餘延坪二千七百十六坪餘鐵筋コンクリート造建坪千六百十五坪餘延
坪四千七百九十三坪餘木造建坪三千五百九十九坪餘延坪三千六百九十八坪餘ナリ「創設ノ當初古河虎之助
ノ寄附金六十萬八千五百圓ヲ以テ建築シタル煉瓦造本館外七棟木造二分館外十棟此ノ總建坪二千八百
八十七坪餘ノ内二百五十九坪ハ明治四十四年七月、二十坪ハ大正四年十二月、千百二十三坪ハ大正十

二年十二月各火災ニ罹リ消失セリ然ルニ大正十三年十月同人ヨリ更ニ銅板千四百貫匁セメント五千樽
此ノ價格三萬圓ノ寄附アリ之ヲ以テ大正十二年消失建物中ノ煉瓦、石材ノ燒殘材料ニシテ尙使用ニ堪
ヘ得ルモノヲ以テ煉瓦造建坪四百五十二坪延坪千九坪餘ノ二階建ノ實驗室ヲ建築セリ」

農學部ノ敷地ハ工學部ノ敷地ニ接續シ其ノ面積合計四萬八千四百二十六坪餘ニシテ内一萬二千八百六
十一坪ハ元寄宿舍用地ヲ編入シ二萬四千六百六十七坪ハ國有林ノ組替ニ係リ一萬七百七十三坪ハ民有
地購入、其他ニ本學敷地ト内務省廢道敷地所管換及箱崎町有地ト交換等ニ依リ百二十五坪餘増加シタ
ルモノニシテ此ノ總坪數ノ現在ノ價格ハ二十九萬五千五百五十六圓餘ナリ是等ノ敷地及附屬農場購入費並
ニ建物新築費等ノ創設ニ要セシ經費中金百三十五萬圓ハ福岡縣ノ寄附ニ係ルモノナリ建物ハ煉瓦造建
坪百九十九坪餘延坪百六十九坪餘鐵筋コンクリート造建坪二百九十七坪餘延坪四百七坪餘木造建坪三千三
百九十三坪餘延坪四千九百二十坪餘鐵筋ブロック造建坪百二十六坪餘延坪百五十一坪餘鐵骨造五十五
坪餘ナリ

法文學部ノ敷地ハ工學部ノ敷地ニ隣接シ其ノ面積三千四百七十四坪餘全部民有地ヲ購入セシモノニシ
テ此ノ現在ノ價格ハ三萬四千七百四十四圓餘ナリ建物ハ鐵筋コンクリート造建坪八百十五坪餘延坪三
千八十五坪餘木造十八坪餘ナリ

○圖書館

本學附屬圖書館ハ工學部及法文學部敷地ノ中間ニアリ鐵筋コンクリート二階建延坪三二七坪餘ニシテ
一階ヲ自由閱覽室及會議室ニ、二階ヲ教官閱覽室、一般閱覽室ニ充ツ書庫ハ四階建延坪四〇八坪、新
聞閱覽室ハ地階付延坪四一坪餘、事務室ハ地階付延坪一三八坪ナリ昭和十年三月三十一日現在ニ於ケ
ル本館藏書（醫、工、農學部及附屬醫院所在ヲ除ク）ハ

和 漢 書 六三、〇八七部 一五六、二八〇冊
洋 書 八一、四八五部 一二一、〇二六冊

計 一四四、五七二部 二七七、三〇六冊

新聞雜誌類一、三九四種ニシテ「バルト」文庫、「シユツンブ」文庫、「ロートマル」文庫、「グロ
ース」文庫、音無文庫、萩野文庫、碩水文庫等ヲ藏置ス寄託圖書ニ廣瀬文庫和漢書九、六四一冊洋書
一〇七冊計九、七四八冊、松濤文庫和漢書一五、七〇三冊、「スペンサー」文庫洋書六五五冊和漢書
三五冊計六九〇冊ヲ有ス昭和十年三月三十一日現在ニ於ケル本學藏書ハ

和 漢 書 二二七、三五五冊

洋 書 二八七、三四一冊

計 五一四、六九六冊

學 部 別	藏 書 冊 數	
	和 漢 書	洋 書
醫 學 部	一一、二三七	三一、四九九
附 屬 醫 院	二三、五二二	四二、一二〇
工 學 部	一六、九一八	六〇、六四一
農 學 部	一九、三九八	三二、〇五五
法 文 學 部	七三、二七四	一〇一、三四〇
本 部 及 圖 書 館	八三、〇〇六	一九、六八六
計	二二七、三五五	二八七、三四一
		五一四、六九六

昭和九年六月一日ヨリ同十年五月三十一日マデノ開館日數三二四日間ニ於ケル閱覽人員及閱覽圖書冊
數左表ノ通り

○圖書館

職	
---	--

十一月	十月	九月	八月	七月	六月	昭和九年	月別	區分
-----	----	----	----	----	----	------	----	----

計	五 月	四 月	三 月	二 月	一 月	昭和十年	十二 月
---	--------	--------	--------	--------	--------	------	---------

自昭至昭

計	洋	和	種	部
		漢	別	

同

閲覧人員

三三、八六七人

一人當リ

一・八冊ノ割

○印刷所

印刷所ハ工學部構内ニ在リ建物ハ煉瓦造四坪木造建坪百十八坪餘延坪百六十九坪餘ニシテ大正十一年四月之ヲ設置シ活版部（和文（字體ハ明朝）歐文（字體ハオールドスタイル、ニユースタ））、寫真石版部（石版及シンク版、青寫真、レクチグ）ノ二部ヲ置キ大正十五年七月製本部ヲ追加シテ三部トナシ其ノ活版部ニハ四六版、菊判印刷機、舶來フート機及昭和二年九月九ポイントモノタイプ等ヲ、寫真石版部ニハ各種寫真攝影機及石版印刷機米國製レクチググラフ、同青寫真機等ヲ、製本部ニハ各種紙締機及裁斷機等ヲ設備シ各局部ノ需要ニ應スルモノトス

○臨海實驗所

臨海實驗所ハ從前福岡縣宗像郡津屋崎町ニ在リシモ昭和三年四月本學研究ノ都合上之ヲ熊本縣天草郡富岡町ヘ移ス從前ノ津屋崎町ニ在リシ臨海實驗所跡地及建物ハ全部寄附者タリシ津屋崎町ヘ無償讓與

シ新ニ設置セル天草臨海實驗所ハ其ノ敷地面積一萬八千八百三十八坪此ノ價格ハ二千七十二圓餘ニシテ敷地ハ全部富岡町ノ寄附ニ係ルモノナリ建物ハ木造建坪八十六坪餘延坪百二十一坪餘ナリ

○醫學部附屬醫院

醫學部附屬醫院ハ明治三十六年四月元京都帝國大學福岡醫科大學ノ附屬トシテ創立セラレ建物ハ元福岡縣立病院ヲ襲用シ爾來年々營繕修理ヲ加ヘタルモ大學醫院トシテノ設備ヲ完フスルニ幾多ノ不便アルヲ以テ各科漸ヲ追フテ新築、分離移轉スルコトニ決シ既ニ皮膚科泌尿器科、耳鼻咽喉科、精神科、小兒科、婦人科產科、眼科、後藤外科、藥局、赤岩外科、小野寺内科、金子内科、武谷内科、整形外科、齒科口腔外科及看護婦寄宿舍ノ新築ヲ竣功シ尋テ調理所、洗濯所、事務室等中央建物ニ於テモ近々其ノ工事ニ着手スルノ豫定ナルヲ以テ改築ノ目的ヲ達スルモ近キニアリ尙本年度ヨリ二年繼續事業ヲ以テ看護婦寄宿舍ノ改築ニ着手シ其ノ第一期工事ハ殆ト落成セリ尙將來各科區劃整理通路ノ改善等ト相俟テ面目ヲ一新スルニ至ルヘシ

附屬醫院ヲ武谷内科、小野寺内科、金子内科、婦人科產科、小兒科、後藤外科、赤岩外科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、精神科、眼科、耳鼻咽喉科、齒科口腔外科、放射線治療科ノ十五臨床科ニ分

○印刷所 ○臨海實驗所 ○醫學部附屬醫院

チ別ニワ氏血液反應試驗室、黄疸出血性「スピロヘータ」病血清製造室及顯微鏡寫真室ヲ置ク
看護員養成科及產婆養成科ノ外藥局、事務室、調理所、機關所、工作所、警備所及苑庭所ヲ置ク
大正十三年八月六日早良郡姪濱町（現在福岡市姪濱町）ニ内科分院ヲ設置シ生ノ松原分院ト稱シ分院
長之ヲ監督ス

昭和三年三月十五日ヨリ健康保險被保險者ノ診療ヲ開始ス

昭和七年四月七日ヨリ勞働者災害扶助責任保險被保險者ノ診療ヲ開始ス

茲ニ昭和九年度外來及入院患者ノ延人員數ヲ舉クレハ左ノ如シ

入院患者延人員表

科	別	區分		官費	健康保險	災害保險	私費	合計
		定員	一ケ年定員					
内	武谷内科	七三	二六、七一九	七、六一七	一五六	—	二二、〇五五	二九、八二八
	小野寺内科	七三	二六、七一九	六、七一二	二六八	—	一八、九〇二	二五、八八二
科	金子内科	七三	二六、七一九	九、四六四	二八二	—	一七、四二〇	二七、一六六
	計	二一九	八〇、一五七	二三、七九三	七〇六	—	五八、三七七	八二、八七六

婦人科產科	七〇	二五、五五〇	一、八七六	—	—	—	二〇、一六〇	二二、〇三六
小兒科	四〇	一四、七八五	四、五七三	—	—	—	九、四三九	一四、〇一二
外科	後藤外科	七一	二六、〇六三	四、一八九	八七〇	九三	一九、八六五	二五、〇一七
	赤岩外科	七一	二六、〇六三	三、五一六	九五三	二一三	一九、一五六	二三、八三八
科計		一四二	五二、一二六	七、七〇五	一、八二三	三〇六	三九、〇二一	四八、八五五
整形外科		六八	二四、五二四	七、九二二	一、〇七二	二二九	一九、八二六	二九、〇五九
皮膚科		一五	五、四七五	一、七六五	—	—	三、二三七	五、〇一五
泌尿器科		三〇	一〇、九五〇	一、七九七	二六	—	八、八一九	一〇、六四二
精神科		八二	二九、八五六	九、三〇二	一五七	—	二三、九一二	三三、三七一
眼科		三六	一三、二八八	一、〇〇〇	五〇四	—	一〇、五八〇	一二、〇八四
耳鼻咽喉科		六五	二三、三五五	七、〇〇九	三七四	—	二三、五〇三	三〇、八八六
齒科口腔外科		一一	三、九七八	五六一	三一	—	三、〇四五	三、六三七
放射線治療科		一七	五、九四六	一、五九六	四二	—	七、五八三	九、二二一
生ノ松原分院		二〇	七、三〇〇	—	—	—	四、九八三	四、九八三
合計		八一五	二九七、二九〇	六八、八九九	四、七四八	五四五	二三二、四八五	三〇六、六七七

外來患者延人員表

科別	區分	新來患者			再來患者			合計
		官費	健康保險	災害保險	官費	健康保險	災害保險	
		私費	計	計	私費	計	計	
內科	武谷内科	三	三三	—	五八	一六五	—	五、九三八
	小野寺内科	六	二七	—	一八〇	—	—	五、四九九
	金子内科	一〇	三六	—	七三	四〇〇	六	六、一四二
計		一九	九六	—	七、六三	一、二六	六	一七、五三八
婦人科	產科	—	—	—	—	—	—	—
小兒科	—	—	—	—	—	—	—	—
外科	後藤外科	九	三	—	—	—	—	—
赤岩外科	—	五	三	—	—	—	—	—
計	—	二八	六	—	—	—	—	—
整形外科	—	二八	三	—	—	—	—	—
皮膚科	—	—	—	—	—	—	—	—
泌尿器科	—	—	—	—	—	—	—	—
合計		四一	一八	—	九、五〇	四〇五	—	一〇、七三

精神科	—	七	—	—	—	—	—	—	—
眼科	—	—	—	—	—	—	—	—	—
耳鼻咽喉科	—	—	—	—	—	—	—	—	—
齒科	—	—	—	—	—	—	—	—	—
放射線治療科	—	—	—	—	—	—	—	—	—
生ノ松原分院	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	八四二	二九五	一四	三、九四三	三、九二二	二、四二	三、二七	一、一八五	二、二五三

機關所

- 一、煖房用トシテ東、西、北ノ三汽罐室ニ「ランカシャー」式汽罐九基炭火罐ヲ備フ内科汽罐室ニ池田式温水罐三基、同式蒸汽罐一基ヲ備フ
 - 高壓蒸汽用トシテ中央汽罐所ニ三菱豎型水管式汽罐二基ヲ備フ
 - 二、煖房ハ内科ハ温水式ニシテ其他ハ全部蒸汽式ナリ
 - 三、高壓蒸汽ノ用途ハ概ネ次ノ如シ
- 醫學部附屬醫院

- イ、各手術室ニ於ケル消毒罐煮沸消毒器、蒸溜器、乾燥器
- ロ、病棟ニ於ケル消毒器、湯釜、乾燥室、浴場
- ハ、調理所ノ煮炊用蒸汽釜、消毒用、乾燥用等、洗濯所ニ於ケル洗濯機械、乾燥室、消毒器等
- 四、給水ハ構内ニ於ケル集水井ヨリ電動唧筒ニヨリ揚水シ毎時一八五立方米ノ容量ヲ有スル急速濾過装置二組ニヨリ濾過サレタル水ハ三百「トン」ノ容量ヲ有スル貯水池ニ至リ四基ノ配水用電動唧筒ニヨリ配水サル同唧筒ノ全揚程二〇〇呎ニシテ從來高層建物ニハ市水道ノ供給ヲ受ケタルモ今後其ノ必要ナキニ至レリ
- 構内給水管ハ市水道ト切替防火用トシテ使用スルコトヲ得ヘシ
- 五、製水器一基ヲ備ヘ研究用及醫療用ノ水ヲ供給ス
- 一日製氷能力約二「トン」九年度ニ於ケル製氷總高五四九「トン」ナリ
- 六、諸機器ノ熱用トシテ瓦斯ヲ使用シ西部瓦斯株式會社ヨリ供給ヲ受ク
- 七、電力ハ常時東邦電力株式會社ヨリ高壓交流一五〇「キロワット」ノ供給ヲ受ケ附屬醫院變電所ヲ經テ各教室ノ電灯、「レントゲン」裝置、昇降機、電熱器、治療用、研究用小動力其他製氷機、給水及排水用電動機等ニ供給セラル

附屬醫院變電所ニ左記ノ變電裝置及豫備裝置ヲ設備ス

- 一、變電裝置、同期電動發電機七五「キロワット」 二台
- 二、豫備裝置

- イ、「ディーゼル」機關直結交流發電機（一二〇「キロボルトアンペア」三五〇〇ボルト） 一台
- ロ、湯淺製二次電池（一二〇「ボルト」一五九五「アンペア時」） 一組
- ハ、二次電池充電用電動昇壓機三〇「キロワット」 一台
- 三、電話ハ共電式ニシテ容量四〇〇回線ノ標準型特種二座席複式交換機三台ヲ設備シ電源トシテ四三二「アンペア時」容量ノ二次電池ヲ有ス
- 四、電氣時計ハ電源トシテ四三二「アンペア時」容量ノ二次電池ヲ有シ自動捲標準親時計ニヨリ各教室ニ設置シアル約一五〇個ノ子時計ヲ動作セシム

○農學部附屬農場、附屬演習林及機關所

農學部附屬農場

農學部附屬農場ハ福岡縣糟屋郡仲原村内ニ位置シ篠栗線原町驛ヨリ西方十數丁ノ地ニ在リ總面積二十

○農學部附屬農場、附屬演習林及機關所

六町八反三畝十四步ニシテ耕地ノ大部分ハ之ヲ直營シ専ラ教授ノ研究並ニ學生ノ實驗實習ノ用ニ供ス
水田ノ過半及畑ノ一部ハ之ヲ地元民ニ貸付シ併テ農業經營ノ研究ニ資ス今土地利用ノ現況ヲ示セハ左
ノ如シ

一、耕地

直營地 二十町六反五畝三步

田貸付地 四町二反三畝十八步

農業工學實驗地 六町四反一畝三步

計 三畝十二步

普通作物園 十町六反八畝三步

蔬 菜 園 一町七畝十七步五合

果 樹 園 一町五反四畝二十二步

飼料作物園 三町四反九畝一步五合

農業工學實驗地 三畝一步

演習林用地 六反三畝二步

其 他 一反六畝一步

計 九町九反七畝步

二、建物 敷地 三町一反六畝二十七步四合

三、山 林 三反一畝十九步

四、池 二反二畝八步

五、道路溝渠堤防 二町四反七畝十六步六合

建物ハ事務所、作業室、收納舍、畜舍、家畜隔離舍、交配室、堆肥舍、定夫舍、車庫等木造八百五十
三坪餘、畜產製造室鐵筋ブロック造四十五坪餘、溫室六十五坪餘、貯藏庫鐵筋コンクリート建三十坪
餘、合計九百八十四坪餘ナリ

農學部附屬演習林

農學部附屬演習林ハ總テ六箇所ニシテ福岡縣下ニ在ルモノヲ早良演習林及糟屋演習林、朝鮮南部ニ在
ルモノヲ南鮮演習林、同北部ニ在ルモノヲ北鮮演習林、臺灣ニ在ルモノヲ臺灣演習林、樺太ニ在ルモ
ノヲ樺太演習林トシ其ノ面積通計四萬四千六百十七町二反一五步ナリ

農學部構内ニ演習林本部（建物百八坪七合五勺）ヲ置キ各演習林ヲ統轄ス

一、早良演習林ハ面積五十四町四畝二十五步、福岡縣福岡市姪濱町及早良郡壹岐村ニ跨リ今津灣頭ノ

○農學部附屬農場、附屬演習林及機關所

一角ヲ占メ防風保安林ナリ大正十一年十月農商務省ヨリ移管シ專ラ學術上ノ參考竝ニ研究ニ供ス同演習林内壹崎村ニ屬スル壹岐ノ松原ニ事務所(敷地三反歩、建物三十坪七合五勺)ヲ置ク

二、糟屋演習林ハ面積三百七十町八反二歩、福岡縣糟屋郡篠栗町、勢門村、久原村ノ一町二村ニ屬シ鹿兒島本線吉塚驛ヨリ分岐セル篠栗線ニ依ルトキハ數十分ニテ達スルヲ得ヘシ本林ハ主トシテ學生ノ研究竝ニ實習ニ供シ傍ラ模範的林业ノ經營ヲナスヲ以テ目的トス早良演習林ト共ニ大正十一年十月農商務省ヨリ移管セリ本林事務所ヲ篠栗町大字高田、下ノ屋敷ニ置ク之カ敷地九百六十八坪ニシテ建物ハ七十坪四合一勺ナリ

三、南鮮演習林ハ慶尙南道河東郡及山淸郡ニ跨リ九州ヲ距ルコト海陸路ヲ通シテ僅ニ數十里ヲ出テス面積一萬七千二十九町二畝歩、大正元年十二月朝鮮總督府ヨリ貸付ヲ受ケタル智異山南方一帯ノ地ニシテ南鮮ト九州トノ森林植物帶上ノ關聯ヲ研究スルニ足ル學術上極メテ重要ナル森林ナリ地勢一般ニ急峻ニシテ國土保安竝ニ治水上重要ナル地域ナレハ專ラ林相ノ改善ト無立本地ノ植栽ヲ企畫シ大正九年管内ヲ山淸、河東ノ二施業區ニ分チ河東郡河東面邑内ニ事務所(敷地四百二十一坪(購入)建物六十坪七合三勺六勺)ヲ、山淸郡矢川面絲里ニ看守詰所ヲ、河東郡丘陽面ニ作業所(建坪四十坪)ヲ設置シ演習林經營上ノ便ヲ計レリ此ノ外河東郡丘陽面ニ一町五反九畝十歩、山淸郡矢川面ニ五町

一畝二十六歩ノ民有地ヲ購入シ苗圃ニ充テ造林上ノ試驗ヲ實行ス尙森林整理ニ必要ナル伐採ニ依リ地元住民ノ生業ヲ安固ナラシムル爲用材、製炭材及副產物ヲ供給シツ、アリ

四、北鮮演習林ハ咸鏡北道茂山郡延上面、漁下面、西下面ノ三面ニ亘リ面積四千六百四十六町五反九畝歩ニシテ大正十五年一月朝鮮總督府ヨリ之カ貸付ヲ受ケタルモノナリ本演習林ハ南鮮演習林ト相關聯シ森林ノ生態的推移竝ニ北鮮獨特ノ林业經營ヲ研究スルニ恰好ノ箇所ニシテ大正十五年施業計畫ヲ立テ合理的經營ニ着手セリ演習林保護ノ爲昭和二年十一月延上面ニ五百十八坪ノ土地ヲ購入シ木造平家建三十一坪五合ノ看守駐在所ヲ建築シ昭和九年八月苗圃事業用トシテ畑地二千三百五坪ヲ購入セリ

五、臺灣演習林ハ臺北州文山郡石碇庄後坑仔溪流域ヲ占メ大正二年十二月千九百五十六町歩ヲ大正十四年十二月五十五町七反四畝十八歩ヲ臺灣總督府ヨリ讓渡セラレ合計面積二千一百一十七反四畝十八歩ヲ有ス本演習林内ニ四十一町九反八畝十五歩ノ茶園及一町四反二十二歩ノ水田ヲ開キ以テ林内殖民ヲ行ヒ林业經營上必要ナル勞働者ヲ養成スルト共ニ熱帶林业ノ經營ヲナシ併テ各種林业試驗ヲ行フ所トス本演習林事務所ヲ同郡石碇庄後坑仔ニ置ク其ノ敷地五百七十九坪ニシテ建物ハ四十六坪九合二勺ナリ

六、樺太演習林ハ樺太敷香郡敷香町大字保惠ニ在リ北樺太即チ露領ニ近キ幌内川支流「ホイエ」川流域ヲ占メ面積二萬五百五町步ヲ有ス大正三年三月樺太廳ヨリ移管セリ演習林事務所ヲ同郡同町大字敷香〔敷地六百坪（大正十四年三百坪、昭和二年三百坪樺太廳ヨリ移管）建物九十一坪五合〕同郡内路村大字内路〔敷地千七十九坪（大正十一年七百八十坪、昭和二年二百九十九坪樺太廳ヨリ移管）建物三十九坪五合〕ノ二ヶ所ニ置キ同郡敷香町大字保惠（敷地ハ演習林内、建物二十四坪）ニ作業所ヲ置キ經營保護ニ當リ又產物運搬貯藏並ニ處分ノ便宜上貯木場ヲ同郡敷香町大字佐知〔敷地六千坪（大正十四年樺太廳ヨリ移管）附屬建物六坪〕ニ置キ同郡同町字東二條ニ學生宿舍兼所員合宿所敷地トシテ百五十一坪餘（昭和八年樺太廳ヨリ移管）アリ本演習林ハ寒帶原生林ノ經營並ニ學術研究ヲ目的トスルモノニシテ大正十五年度ヨリ施業案ニ基キ合理的森林經營ヲ開始セリ

農學部機關所

機關所ニ於テハ電力、電氣通信、煖房、冷蔵、給水、瓦斯ノ事業ニ付キ左記ノ設備ヲナス

一、電力設備ハ常時東邦電力株式會社ヨリ六〇「キロワット」ノ供給ヲ受ケ學内電燈、冷蔵、給水用原動機其他研究用レントゲン裝置、定溫器、電熱器、小動力用ニ供給セラル

尙停電ノ準備トシテ七五馬力無氣噴油式「ディーゼル、エンジン」ヲ原動機トスル豫備發電設備及直流配電ノタメ蓄電池ノ設備アリ

取付電燈及電力裝置ハ次ノ如シ

- 電 燈 一、二八五燈 九四「キロワット」
- 電 動 機 七二台 一一三馬力
- 電 熱 器 一三九個 一二六「キロワット」

二、電氣通信設備ハ共電式ニシテ交換機ハ容量一〇〇回線實裝ハ八九回線ノモノアリ

其他非常用トシテ磁石式電話機ノ設備アリ

三、煖房設備ハ學内一般、養蠶室、溫室ノ三汽罐室ヲ備ヘ各系統ノ概要ハ次表ノ如シ

汽罐室別		事 項		
		學 内 一 般	養 蠶 室	溫 室
給溫方式		スチーム・ワンパイプ式	スチーム・ワンパイプ式	溫水強制循環式
ボイラー型		ランカツシヤー	ストレール	アイデアル
ボイラー大サ及個數		徑七呎三〇呎モノ二基	ハセクシヨンモノ一基	六セクシヨンモノ一基

○農學部附屬農場、附屬演習林及機關所

放熱器面積(平方呎)	二〇、八一五		一、二三七	二、四三六
給温床面積(坪)	五七九		三四	六八
循環用一馬力ポンプ(臺數)	九		一	一
燃料種類	粉炭	塊炭	塊炭	塊炭

四、冷蔵設備ハ養蠶室ト農藝化學教室ノ二箇所ニアリテ主トシテ細菌保存、實驗用品ノ冷蔵ヲナスモノニシテ何レモ「アンモニア」瓦斯壓縮法ニ依ル
概要ヲ示セハ次表ノ如シ

冷蔵室別		養蠶室	農藝化學教室
事項	方式	ブライン冷却強制循環	自動調節裝置付直接冷却
冷却方式	アンモニア・コンプレッサー	三馬力モノ 二臺	二馬力モノ 一臺
ブライン循環ポンプ		一馬力モノ 一臺	一
アンモニア冷却ポンプ		一馬力モノ 一臺	一
冷蔵室床面積(平方呎)		二六五	一〇八
冷蔵室容積(立方呎)		二、四二〇	一、一一〇

五、給水設備 構内ノ井戸ヨリ電動「ポンプ」ニヨリ給水「タンク」ニ揚水シテ學内給水ヲナス

給水「タンク」ハ壓力式ニシテ徑六呎長三六呎 二基

「ポンプ」ハ水頭二二〇呎一五馬力ノモノ二台及水頭一五〇呎一〇馬力ノモノ二台アリ

給水井戸ハ徑一二呎深一六呎 二基、徑九呎深二〇呎 二基

六、瓦斯設備 西部瓦斯會社ヨリ供給ヲ受ケ一〇〇燈瓦斯計量器ニ依リ學内へ供給ス

○温泉治療學研究所

温泉治療學研究所ハ大分縣速見郡朝日村及石垣村ニ在リテ敷地二萬坪(此價格五萬圓)ハ兩村ノ寄附ニ係ルモノナリ

建物ハ本館、治療室、浴室、機關室、調理室、洗濯室、消毒室、物置、動物舍、門衛、看護婦寄宿舍、研究室、氣象觀測舍等ノ木造建坪七百九十四坪餘延坪一千百三十二坪餘及藥品倉庫、昇降機塔ノ鐵筋コンクリート建各一棟、貯水池、石炭置場各一ヶ所外ニ九州電氣軌道株式會社寄附(昭和九年十月三十一日)ニ係ル木造二階建建坪百九坪五合延坪二百三十坪餘ノ病棟一棟ヲ有ス

本所ノ事業ハ温泉治療學ノ學理及應用ニ關スル全般的ノ研究ヲ爲スモノニシテ即チ

一、溫泉ノ本質ト其ノ作用ヲ明ニシ
二、生物學的作用特ニ人體ニ及ホス作用ヲ檢シ
三、治療的要素ヲ明ニシ
四、各種溫泉ノ適應症ヲ決定シテ患者ヲ治療シ併セテ健康ノ増進ニ應用ス
尙附帶ノ事業トシテ溫泉療養ニ關スル指導ヲナス
之等ノ目的ヲ達成センカ爲各種精密ナル科學的研究ヲ行フヘキ研究室ノ外最新ノ各種診療設備竝ニ溫
泉利用ニ關スル特種裝置ヲ有ス
茲ニ昭和九年六月一日ヨリ昭和十年五月三十一日ニ至ル一ケ年間ノ入院及外來者ノ延人員ヲ舉クレハ
左ノ如シ

入院者及外來者延人員表

月別 昭和九年 六月 七月	區分	入院者延人員			外來者延人員		
		官費	私費	合計	官費	私費	合計
七月	月	三二	五四三	五七四	一	一、三〇二	一、三〇二
昭和九年 六月	月	四一	七六三	八〇四	一	一、二九一	一、二九一

○經費

月	八月	九月	十月	十一月	十二月	昭和十年 一月	二月	三月	四月	五月	計
月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	
官費	三一	二八	九二	八二	三八	五九	五六	八七	五〇	二一	六一六
私費	七〇〇	七二七	六九八	七〇九	七二六	八四〇	九一七	一、〇一一	八四八	一、〇三一	九、五一三
合計	七三一	七五五	七九〇	七九一	七六四	八九九	九七三	一、〇九八	八九八	一、〇五二	一〇、一二九
官費	一〇	七	二	七	七	二	二	一	四	一	四二一
私費	一、五一一	七九八	八三三	六五五	六七六	七三六	九三七	九二〇	九三七	一、三三二	一一、九一八
合計	一、五二一	八〇五	八三五	六六二	六八三	七三八	九三九	九二一	九四一	一、三三二	一一、九六〇

昭和十年度本學ノ經費豫算ハ經常費參百參拾七萬八千七百七拾圓、臨時費九拾參萬四千參百六拾參圓
ニシテ内貳百五拾八萬五千七拾壹圓ハ政府支出金ニ屬シ參拾七萬貳千八百六拾參圓ハ維持資金ヨリ繰

入レ貳萬五千圓ハ寄附金百參拾參萬百九拾九圓ハ授業料其他ノ收入ニ屬セリ今茲ニ本學創立以來累年
經費決算額ヲ掲ケテ其ノ大要ヲ示ス但シ昭和十年度ハ豫算額ニ依ル

經 費 額 表

(表中△印ハ減額)

年 度	經 常 費	臨 時 費	合 計	比 較 増 減
明治四十四年度	四八二、八二六 _四	一一七、四七二 _四	六〇〇、二九八 _四	
明治四十五年度	五五八、四三三	二五一、九九一	八一〇、四二四	二一〇、一二六
大正元年度	五八〇、一三〇	一六九、五四八	七四九、六七八	△六〇、七四六
大正二年度	六〇二、五五五	一二九、七二三	七三二、二七八	△一七、四〇〇
大正三年度	六二一、六七六	一四一、七一	七六三、三八七	三一、一〇九
大正四年度	六五六、一〇五	一三一、七七六	七八七、八八一	二四、四九四
大正五年度	六八二、二〇七	二六八、五九四	九五〇、八〇一	一六二、九二〇
大正六年度	七三九、三六六	七二五、二一五	一、四六四、五八一	五一三、七八〇
大正七年度	八二六、〇一九	九二七、七〇九	一、七五三、七二八	二八九、一四七
大正八年度	一、三〇〇、一〇〇	九八八、七九九	二、二八八、八九九	五二五、一七一

○經費

大正十年度	一、七二七、〇五八	八八一、八〇七	二、六〇八、八六五	三一九、九六六
大正十一年度	二、〇九〇、五四五	一、三〇〇、二六二	三、三九〇、八〇七	七八一、九四二
大正十二年度	二、二七七、九四七	九二三、六四八	三、二〇一、五九五	△一八九、二一二
大正十三年度	二、四五三、二三五	一、一六〇、二二七	三、六一三、四六二	四一一、八六七
大正十四年度	二、七五七、一三〇	一、七四一、四三九	四、四九八、五六九	八八五、一〇七
大正十五年度	二、九七四、五五八	一、二六五、一九一	四、二三九、七四九	△二五八、八二〇
昭和元年度	三、一七八、〇五四	一、四二六、〇九七	四、六〇四、一五一	三六四、四〇二
昭和二年度	三、二三八、九〇六	一、〇六八、三三三	四、三〇七、二一九	△二九六、九三二
昭和三年度	三、三一九、九二八	一、二六〇、三七八	四、五八〇、三〇六	二七三、〇八七
昭和四年度	三、一九二、九一五	一、四八七、三一〇	四、六八〇、二二五	九九、九一九
昭和五年度	三、一〇七、四七六	九七五、五七八	四、〇八三、〇五四	△五九七、一七一
昭和六年度	三、〇四四、五二九	三六八、三二九	三、四一二、八五八	△六七〇、一九六
昭和七年度	三、一八六、二五五	八三七、七二八	四、〇二三、九八三	六一一、一二五
昭和八年度	三、二七一、二〇一	一、〇八一、一六五	四、三五二、三六六	三二八、三八三
昭和九年度	三、三七八、七七〇	九三四、三六三	四、三一三、一三三	四五、七〇六

○獎學資金

一熊谷獎學資金

右ハ醫學博士熊谷立巳ヨリ明治四十二年十月二十日金壹千圓ヲ寄附セシモノニシテ其ノ利子ヲ以テ醫學部ニ於ケル醫學獎勵ノ費途ニ充ツヘキモノトス

昭和二年六月十四日福岡縣醫師會々々長醫學博士溝口喜六ヨリ右資金ヘ金五百圓追加寄附セラル

一工科大學採鑛冶金科獎學資金

右ハ故工學博士松田武一郎相續人松田昌平ヨリ亡父ノ遺志ニヨリ明治四十四年十月二十二日金五百圓ヲ寄附セシモノニシテ其ノ利子ヲ以テ採鑛冶金科學生ノ費途ニ充ツヘキモノトス

一故武谷元立記念獎學資金

右ハ武谷水城ヨリ亡祖父元立贈位記念トシテ明治四十五年五月二十日第三十五回勸業債券額面金五百圓ヲ寄附セシモノニシテ寄附當月ヨリ滿五拾箇年据置キ爾後其ノ利子ヲ以テ醫學獎勵ノ費途ニ充ツヘキモノトス

一大森獎學資金

右ハ故九州帝國大學名譽教授醫學博士大森治豐相續人大森内ヨリ大正元年八月二十七日金五百圓ヲ寄附セシモノニシテ(當時ノ本學通則第七十一條ニ依リ)本學ニ於テ適宜ノ費途ニ充ツヘキモノトス

一中博士記念獎學資金

右ハ元九州帝國大學醫科大學教授醫學博士中金一退職記念トシテ九州帝國大學醫科大學教授醫學博士旭憲吉外貳名ノ總代ヨリ大正二年六月十八日金貳千六百五十八圓六拾叁錢ヲ寄附セシモノニシテ其ノ利子ヲ以テ醫學部ニ於ケル學業獎勵費ニ充ツヘキモノトス

一大森文子獎學資金

右ハ大森内ヨリ亡母文子ノ遺志ニ依リ大正二年十二月四日金貳百六拾圓大正七年三月二十二日金四百六拾五圓叁拾九錢ヲ寄附セシモノニシテ醫學部學生ノ貸費ニ充ツヘキモノトス

一故工學博士伊東榮三郎記念獎學資金

右ハ故九州帝國大學工科大學教授工學博士伊東榮三郎記念ノ爲有志者ニ於テ醴集シ大正三年三月七日第四十八回勸業債券額面金五百八拾圓ヲ寄附セシモノニシテ其ノ利子ヲ以テ工學部應用化學科ノ學術獎勵費ニ充ツヘキモノトス

○獎學資金

一故貝島慶子獎學費

右ハ貝島太助ヨリ大正四年二月二十七日亡妻慶子ノ遺志ニ依リ五分利公債證書額面金貳萬四千圓ヲ寄附セシモノニシテ適當ノ時期ニ於テ之ヲ賣却シ其ノ代金及利子ヲ以テ醫學部用ラヂユーム竝ニ之カ使用ニ要スル器具機械ノ購入費及購入ニ關スル諸費ニ充ツヘキモノトス

一故久保常保記念獎學資金

右ハ醫學博士久保猪之吉ヨリ亡父常保ノ記念トシテ大正四年十一月四日金壹百圓ヲ寄附セシモノニシテ其ノ利子ヲ以テ學生閱覽用圖書購入ノ費途ニ充ツヘキモノトス

一男爵住友吉左衛門獎學資金

右ハ大正五年六月二十日男爵住友吉左衛門ヨリ大正五年以降年々金五百圓以內ヲ寄附スルモノニシテ工學部學生及工學上ノ研究ヲ爲ス大學院學生ノ貸費ニ充ツヘキモノトス

一故貝島太助記念獎學資金

右ハ貝島榮一ヨリ大正五年十二月十五日亡祖父太助ノ遺志ニ依リ金壹萬圓ヲ寄附セシモノニシテ其ノ利子及元金ヲ以テ醫學部第二内科ノ研究又ハ設備ニ要スル費途ニ充ツヘキモノトス

一茂木惣兵衛獎學資金

右ハ茂木惣兵衛ヨリ大正七年四月九日金參萬圓ヲ寄附セシモノニシテ工學部化學教室ニ於テ化學工業ニ關スル研究ニ必要ナル建物設備其他ノ費途ニ充ツヘキモノトス

一湯淺蓄電池製造株式會社獎學資金

右ハ大正七年七月十六日社長湯淺七左衛門ヨリ大正七年以降五箇年間年々金六百圓ヲ寄附スルモノニシテ工學部電氣工學科第一講座中特ニ蓄電池學ニ關スル研究竝ニ設備ニ要スル費途ニ充ツヘキモノトス

一稻田獎學資金

右ハ醫學博士稻田隆吉ヨリ大正七年九月二十七日金貳千五百圓ヲ寄附セシモノニシテ其ノ利子ヲ以テ醫學部附屬醫院内科教室ニ於ケル研究費又ハ圖書購入費ニ充ツヘキモノトス

一故筑紫利三郎獎學資金

右ハ筑紫權四郎ヨリ大正八年六月六日亡筑紫利三郎ノ遺志ニ依リ金參百圓ヲ寄附セシモノニシテ其ノ利子ヲ以テ工學部電氣工學科學生獎學ノ費途ニ充ツヘキモノトス

一故久保木銳二記念獎學資金

右ハ大正八年十月二十五日久保木保壽ヨリ亡銳二記念トシテ金壹百圓ヲ寄附セシモノニシテ醫學

部小兒科教室研究費ニ充ツヘキモノトス

一岡崎獎學資金

右ハ大正八年十一月十日岡崎藤吉ヨリ金壹千五百圓ヲ寄附セシモノニシテ工學部機械工學教室ニ於テ粉炭燃燒ニ關スル研究費ニ充ツヘキモノトス

一故原田吉三郎記念獎學資金

右ハ大正十一年二月一日原田重三郎ヨリ亡吉三郎ノ遺志ニ基キ金壹千圓ヲ寄附シタルモノニシテ其ノ利子ヲ以テ工學部應用化學科ノ研究獎勵ノ費途ニ充ツヘキモノトス

一故吉田一毅記念獎學資金

右ハ吉田顯三ヨリ大正十一年四月二十一日亡一毅ノ記念トシテ五分利公債證書額面金貳萬圓ヲ寄附セシモノニシテ之ヨリ生スル利子ヲ以テ毎年一回醫學部ニ於ケル學術優等者ニ賞與シ又ハ特殊ノ研究獎勵金トシテ之ヲ授與スルノ費途ニ充ツヘキモノトス

一株式會社大阪毎日新聞社獎學資金

右ハ株式會社大阪毎日新聞社社長本山彦一ヨリ大正十二年一月九日金壹千圓（其ノ後二回ニ五百圓、千五百圓ヲ追加）ヲ寄附シ「教授高壯吉研究ニ係ル稀有礦物（稀有元素ヲ含メル）探見、研

究」及「助教教授吉田德次郎研究ニ係ル混凝土凝結時間ニ就テ」ノ學理的研究ノ費途ニ充ツヘキモノトス

一故大迫武吉記念獎學資金

右ハ大正十二年一月十八日大迫キクノヨリ亡武吉ノ遺志ニ基キ金壹萬圓ヲ寄附セシモノニシテ之ヨリ生スル利子ヲ以テ醫學部第一外科教室ニ於ケル研究又ハ設備ニ要スル費途ニ充ツヘキモノトス

一故工學士市川鑛一記念獎學資金

右ハ市川鶴松ヨリ大正十二年二月二十三日故工學士市川鑛一ノ記念トシテ金壹百圓ヲ寄附セシモノニシテ寄附當月ヨリ滿十五ヶ年据置キ爾後其ノ利子ヲ以テ工學部探礦學科ノ學術獎勵ノ費途ニ充ツヘキモノトス

一故安川峰子記念獎學資金

右ハ安川清三郎ヨリ大正十三年二月二十七日亡母安川峰子記念ノ爲金壹萬壹千貳百拾圓ヲ寄附セシモノニシテ之ヨリ生スル利子ヲ以テ醫學部第二内科教室ニ於ケル研究及治療用機械購入費又ハ設備其他ニ要スル費途ニ充當スルモノトス

○獎學資金

一故武谷祐之記念獎學資金

右ハ醫學博士武谷廣ヨリ大正十三年五月二十三日亡祖父祐之贈位記念ノ爲金五百圓ヲ寄附セシモノニシテ元利合計金五千圓ニ達スル迄利殖シ其ノ翌年ヨリ年々生スル利子ヲ以テ醫學部ニ於ケル醫學獎勵ノ費途ニ充當スルモノトス

一男爵古河虎之助獎學資金

右ハ大正十三年十月三十日男爵古河虎之助ヨリ金六千參百拾五圓ヲ寄附シタルモノニシテ本學工學部學術研究用器具機械及標本類ノ購入費ニ充ツルモノトス

一南滿洲鐵道株式會社鞍山製鐵所獎學資金

右ハ大正十四年七月四日鞍山製鐵所長梅野實ヨリ金壹千五百圓ヲ寄附シタルモノニシテ本學工學部教授吉田德次郎ニ係ル「高爐セメント」諸工事ニ使用スルニ當リ設計及施工上必要ナル事項研究ノ費途ニ充ツヘキモノトス

一故工學博士渡邊芳太郎記念獎學資金

右ハ大正十四年七月二十日故工學博士渡邊芳太郎追憶ノタメ有志者ヨリ贈出ニ係ル有價證券額面五千貳百拾圓ヲ寄附セシモノニシテ右證券ヨリ生スル利子ノ四分ノ一ハ該資金ニ編入シ四分ノ三

ヲ以テ本學工學部採礦及冶金學科ニ於ケル研究ノ費途ニ充ツヘキモノトス

一工學部應用化學科復舊獎學資金

右ハ大正十五年二月十日工學部應用化學科復舊ノ爲卒業者及緣故者ヨリ贈出ニ係ル金貳千五百參拾圓拾壹錢ヲ寄附セシモノニシテ右資金ヨリ生スル利子ヲ以テ工學部應用化學科教室ノ費途ニ充ツヘキモノトス

一「福岡醫科大學雜誌」記念獎學資金

右ハ大正十五年三月三日福岡醫科大學雜誌事業記念ノ爲有志者ヨリ贈出ニ係ル金壹萬圓ヲ總代久保猪之吉ヨリ寄附シタルモノニシテ本金額ヨリ生スル利子ヲ以テ醫學部ヨリ發表スル邦語論文ノ獎勵並ニ印刷ノ費途ニ充ツヘキモノトス

一安田獎學資金

右ハ大正十五年八月二十八日安田帆之助ヨリ五分利國庫債券額面金壹萬圓ヲ寄附セルモノニシテ該債券ヨリ生スル利子ヲ以テ醫學部ニ於ケル研究又ハ獎學ノ費途ニ充當スルモノトス

一宮人獎學資金

右ハ昭和二年一月八日醫學博士宮人慶之助ヨリ金參千五百圓ヲ、昭和五年二月三日醫學博士橫川

○獎學資金

定ヨリ金五拾圓ヲ追加寄附セルモノニシテ該金額ヨリ生スル年々ノ利子ヲ以テ衛生學特ニ寄生蟲學ニ關スル論文ノ賞與ニ充當スルモノトス

一 故多田美一記念獎學資金

右ハ昭和二年三月十六日故多田美一記念ノ爲有志者ヨリ贈出ニ係ル金五百圓六拾八錢ヲ寄附セルモノニシテ該金額及之ヨリ生スル利子ヲ以テ工學部應用化學科教室ニ於ケル圖書購入費ニ充ツルモノトス

一 住田獎學資金

右ハ昭和三年十一月二十三日醫學博士住田正雄ヨリ金壹千圓寄附セシモノニシテ該金額ヨリ生スル利子ヲ以テ醫學部ニ於ケル醫學獎勵ノ費途ニ充ツヘキモノトス

一 故工學博士佐美桂一郎記念獎學資金

右ハ昭和四年二月九日故工學博士佐美桂一郎記念ノ爲有志相諮リ贈出ニ係ル四分利公債證書額面金壹千七百圓ヲ寄附セシモノニシテ本有價證券ヨリ生スル利子ヲ以テ應用化學教室ノ學術研究ニ關スル費途ニ充ツヘキモノトス

一 井戸獎學資金

右ハ昭和四年六月廿八日故醫學博士井戸泰妻井戸雪子ヨリ金參千五百圓ヲ寄附セルモノニシテ該金額ヨリ生スル年々ノ利子ヲ以テ醫學部内科圖書室備付圖書購入費ニ充當スルモノトス

一 ロック教授記念獎學資金

右ハ昭和四年十二月廿四日亞米利加合衆國マサチューセツツ、インスチテュート、オブ、テクノロジー教授チャールス、イー、ロックヨリ金貳百圓ヲ寄附セルモノニシテ元利合計金五千圓ニ達スル迄利殖シ其ノ翌年ヨリ生スル年々ノ利子ヲ以テ工學部探礦學科及冶金學科學生ノ給費若ハ貸費ニ充當スルモノトス

一 伊東祐彥獎學資金

右ハ昭和五年二月三日醫學博士伊東祐彥ヨリ金貳千圓ヲ寄附セルモノニシテ該金額ヨリ生スル年々ノ利子ヲ以テ醫學部小兒科學教室ニ於ケル研究者ノ實驗費ヲ補助スルモノトス

一 後藤元之助獎學資金

右ハ昭和五年四月三十日醫學博士後藤元之助ヨリ金貳千五百圓ヲ寄附セルモノニシテ該金額ヨリ生スル年々ノ利子ヲ以テ醫學部醫化學教室ニ於ケル研究者ノ實驗費ヲ補助スルモノトス

一 高獎學資金

○ 獎學資金

右ハ昭和五年七月十七日工學博士高壯吉ヨリ五分利公債證書額面金貳千圓ヲ寄附セルモノニシテ該公債ヨリ生スル利子ヲ以テ工學部探礦學科及冶金學科ノ學術獎勵ノ費途ニ充當スルモノトス

一故弘瀨淑記念獎學資金

右ハ昭和五年十二月十五日弘瀨彦猪ヨリ故弘瀨淑記念トシテ金七百圓ヲ寄附セルモノニシテ該金額ヲ以テ醫學部小兒科教室研究費ニ充テ特ニ急激中毒症狀ノ病理ニ關スル研究費ヲ補助スルモノトス

一故淺羽隆太郎記念獎學資金

右ハ昭和六年十二月十五日故淺羽隆太郎記念ノ爲有志者相諮リ贈出ニ係ル金參百五十拾圓ヲ寄附セルモノニシテ該金額及之ヨリ生スル利子ヲ以テ工學部造船學教室ニ於ケル光彈性學研究竝ニ設備ノ費用ニ充當スルモノトス

一工學部電氣工學科獎學資金

右ハ昭和七年四月二十日工學博士降矢芳郎ヨリ第二回四分利公債證書額面金貳千圓ヲ寄附セルモノニシテ該公債ヨリ生スル利子ヲ以テ毎年電氣工學科卒業生中學業操行優秀ナル者若干名ヲ選定シ學風向上獎勵ノ一端トシテ適宜賞品ヲ購入シ授與ノ費途ニ充ツルモノトス

一故人澤京太郎獎學資金

右ハ昭和八年二月四日人澤健一郎ヨリ亡父京太郎記念ノ爲金百圓ヲ寄附セルモノニシテ該金額ハ醫學部內科學第一講座教室ニ於ケル黃疸出血性スピロヘータ病ノ研究獎勵ノ費途ニ充當スルモノトス

一工學博士西川庸吉記念獎學資金

右ハ昭和八年七月十八日工學博士西川庸吉遺曆記念事業總代寺野寛ニヨリ有價證券額面金參千五百圓ヲ寄附セルモノニシテ該證券ヨリ生スル利子ヲ以テ工學部應用化學教室ノ學術研究ノ費途ニ充當スルモノトス

一藤田正二記念獎學資金

右ハ昭和八年十月三日藤田正二ヨリ金參千圓ヲ寄附セルモノニシテ該金額ハ醫學部精神科教室ニ於テ同教室主任教授ノ腦病理學研究ノ費途ニ充當スルモノトス

一小泉家記念獎學資金

右ハ昭和九年十月十日森ケイ同六郎ヨリ金參千圓ヲ昭和九年以降三ヶ年ニ毎年金壹千圓ヲ寄附スルモノニシテ該金額ハ醫學部精神科教室ニ於テ學術的研究ノ費途ニ充當スルモノトス

○獎學資金

一大西克知獎學資金

右ハ昭和九年十月十八日大西克治ヨリ亡父ノ遺志ニ依リ金壹萬圓ヲ寄附セルモノニシテ該金額ヨリ生スル利子ヲ以テ失明者ニシテ醫學部ニ於テ教育ヲ受ケントスル者又ハ研究ヲ爲ス者及盲人ニ關スル研究ニ從事スル者ノ教育又ハ研究ノ補助ニ充當スルモノトス

一法文學部獎學會獎學資金

右ハ昭和十年四月二十六日九州帝國大學法文學部獎學會長ヨリ金壹千八百圓ヲ寄附セルモノニシテ本金額及之ヨリ生スル利子ヲ以テ法文學部學生中學術優秀志操健實ニシテ學費ニ乏シキ者ニ對シ學費ノ補給ヲ爲スモノトス

一工學博士野中季雄還曆記念獎學資金

右ハ昭和十年五月四日工學博士野中季雄還曆記念事業總代橋本賢輔ヨリ有價證券額面金壹千貳百圓ヲ寄附セルモノニシテ該證券ヨリ生スル利子ヲ以テ工學部造船學科學士試驗合格者中學業操行優秀ノ者ニ授與スヘキ賞品購入ノ費途ニ充ツルモノトス

一故醫學博士澄川德獎學資金

右ハ昭和十年七月五日故澄川德養子日出男ヨリ金貳千圓ヲ寄附セルモノニシテ該金額ヨリ生スル

年々ノ利子ヲ九州帝國大學醫學部内科圖書室備付圖書購入ノ費途ニ充ツルモノトス

○集會所

集會所ハ二ヶ所ニアリ第一ハ醫學部敷地ニ隣接シ面積四百六坪官有地ノ組替ニシテ之カ價格五千六百八十四圓ナリ建物ハ木造三十七坪餘、第二ハ法文學部敷地内ニアリ建物ハ木造百四十五坪餘ナリ孰レモ本學學生ノ集會用ニ供ス

○學生生徒ノ異動

昭和九年六月ヨリ昭和十年五月迄ノ本學學生生徒ノ異動左ノ如シ

種別	區分		入學生	卒(修)業生	退學者	死亡者	除籍者
	大學院	專攻生					
醫學部	四七	六五	一二〇	一一四	一	一	一
大學院	四〇	一			一八	一	三

○集會所 ○學生生徒ノ異動

工學部	農學部	法文學部	選科生	計
一一五	九一	二六九 (内入學七)	三	七一〇
一〇四	六八	二五三 (内一七在學部セリ)	(在學部セリ)一	五八〇
五	一三	三七	(内七正科入學許可者)八	九〇
一	二	四	一	八
一	二	一四	一	二二

○學生及生徒姓名

(昭和十年五月末日調)

第一 大學院學生

醫學ニ屬スル學科ヲ修ムル者

內科學の病理

ツオンデツクアツシユハイム反應ニ就テ

小兒科學領域ニ於ケル免疫學の研究

醫學士 植木 隅 福岡

醫學士 黒田八洲雄 三重

醫學士 中島 謙 福岡

女性生殖器官及ヒ腹膜結核ニ對スル光線作用ノ生物學的研究

耳鼻咽喉科領域ニ於ケル醫化學的研究

小兒科學領域ニ於ケル醫化學的研究

白內障ノ發生ニ關スル實驗的研究

內科學ニ關スル藥物學

產婦人科領域ニ於ケル藥理學的研究

循環器ノ藥理學

眼科學一般

一般藥理學

皮膚科領域ニ於ケル生化學的研究

外科領域ニ於ケル藥物學的研究

外科領域ニ於ケル藥物學的研究

外科領域ニ於ケル解剖學的研究

外科ニ關スル病理學的研究

醫學士 濱崎 邦夫 長崎

醫學士 安岡 藤吉 高知

醫學士 財津 磯松 大分

醫學士 美川 三郎 熊本

醫學士 坂本 馨 福岡

醫學士 林 勝 熊本

醫學士 中尾 六三郎 島根

醫學士 鈴木 新助 愛知

醫學士 永江 清治 兵庫

醫學士 長谷川 榮之助 茨城

醫學士 原田 均 鹿兒島

醫學士 泉谷 武近 奈良

醫學士 稗田 速雄 福岡

醫學士 的 瑩 正 兵庫

○學生及生徒姓名(大學院)

藥物學一般
消化器管系一般
外科學
產婦人科領域ニ於ケル生化學的研究
腸ノ吸收作用ニ就テ
放射線治療學ニ於ケル一般的研究
外科的解剖學
內科學一般
內科學一般
外科學
外科的放射線學
皮膚ニ於ケル化膿菌ノ研究
臨床的解剖學
外科學ニ關スル病理學

三二二
醫學士 浦本英明 熊本
醫學士 伊野正慶 島根
醫學士 高浦剛七郎 千葉
醫學士 延谷不二雄 大分
醫學士 福島鐵哉 鹿兒島
醫學士 吉岡守人 佐賀
醫學士 古賀秀夫 福岡
醫學士 森本朔朗 兵庫
醫學士 松本正巳 福岡
醫學士 岡崎英夫 山口
醫學士 三原七郎 宮崎
醫學士 村本剛太郎 石川
醫學士 平田 覺 德島
醫學士 平野 忠 兵庫

子宮痛其他ノ血清學的研究
內科領域ニ於ケル血清學
眼病理學
外科領域ニ於ケル病理學一般
瀉下劑ノ藥理學的研究
腹毒ノ研究
內科學領域ニ於ケル生化學的研究
臨床解剖學的研究
外科的解剖學
內科領域ニ於ケル病理學的研究
內科的病理學
耳鼻咽喉科學一般
耳鼻咽喉科學一般
耳鼻咽喉科學一般
耳鼻咽喉科學一般
○學生及生徒姓名(大學院)

醫學士 上山武男 鳥取
醫學士 高橋重親 高知
醫學士 永山築郎 廣島
醫學士 鈴木三郎 福岡
醫學士 山本久雄 福岡
醫學士 矢野 巖 福岡
醫學士 影山民治 山口
醫學士 張 進 通 臺灣
醫學士 梅野辰次 長崎
醫學士 堀家 矢 岡山
醫學士 北原長次郎 福岡
醫學士 坂本彦一 山口
醫學士 吉川二城 佐賀
醫學士 安田 等 高知

內科學領域ニ於ケル生化學的研究
藥物學一般
細菌學ニ關スル小兒科學ノ研究
外科ニ關スル解剖學
外科ニ關スル病理學的研究
腦化學
外科學
外科學一般
整形外科學ニ於ケル生化學的研究
外科的病理學
外科的領域ニ於ケル藥理學
內科領域ニ於ケル醫化學的研究
眼病理學一般
內科領域ニ於ケル生化學的研究

醫學士 有吉 朝男 福岡
醫學士 田中 丸豐 春佐 賀
醫學士 本田 修愛 知
醫學士 德谷 武夫 島根
醫學士 平野 國弘 大阪
醫學士 奧村 二吉 福岡
醫學士 久本 正人 佐賀
醫學士 金子 誠一 長崎
醫學士 光安 萬夫 福岡
醫學士 小坂 曉一 福岡
醫學士 山内 泰明 大阪
醫學士 清遠 幸彦 高知
醫學士 松隈 元來 福岡
醫學士 阪口 秀三 郎 長崎

蛋白質ニ對スル光線ノ影響

醫學士 内村 幸麿 佐賀

工學ニ屬スル學科ヲ修ムル者

電氣採礦ノ研究
平爐製鋼ニ關スル研究
燃料油ノ研究
鑄鐵ノ性質ニ就テ

工學士 光吉 高佐 賀
工學士 李 德 銓 中華民國
工學士 今田 房雄 福岡
工學士 山階 正男 大阪

農學ニ屬スル學科ヲ修ムル者

支那酒ノ醸造ニ關スル研究

農學士 沈 學 源 中華民國

法學、文學、經濟學ニ屬スル學科ヲ修ムル者

法理學
兒童心理學
經濟政策特ニ商業政策及交通政策
民法

法學士 岩永 秀治 長崎
文學士 大崎 サチエ 熊本
經濟學士 松尾 彰 富山
法學士 酒井 忠吉 新潟

○學生及生徒姓名(大學院)

政治外交史

農業政策

下尅上社會ニ於ケル思想問題特ニ國體觀念ニ就テ

公益企業ノ法律的研究

宗教學特ニ宗教哲學ヲ中心トシテ

英語文章法ノ研究

ヴィクトリヤ朝ニ於ケル小説家

知覺ノ問題ニ就テ

正統派經濟學

元祿時代文學ノ研究

心理學

英文學ニ於ケル古典主義

英詩ニ於ケル自然

民法

法學士 梅田利博 福岡

經濟學士 彭偉烈 中華民國

文學士 成瀬止一 愛知

法學士 高田源清 富山

文學士 釜田達立 三重

文學士 光永喜一郎 福岡

文學士 水之江有義 大分

文學士 熊谷謙太郎 長野

經濟學士 岩井正次 京都

文學士 山崎忠夫 新潟

文學士 華岡銳藏 和歌山

文學士 石井康一 福岡

文學士 升山恒夫 富山

法學士 清水兼男 石川

第二 醫學部學生

(△印ハ陸軍衛生部委託學生
●印ハ海軍軍醫學生)

醫學科

昭和四年入學

高槻 宥一 岡山

出村 富一 徳島

八田 薫二 熊本

山名 三世満 福岡

昭和五年入學

佐々木 範男 廣島

(元海) 須賀 純雄 大阪

藤森 泰 長崎

莚田 芳人 熊本

吉田 重春 東京

昭和六年入學

朝川 貫之 靜岡

柴田 元之助 福岡

鹽永 功助 熊本

田中 隆寛 山口

田中 克己 長野

田中 和美 兵庫

田村 忠雄 鳥取

武田 鳳徳 鹿児島

中野 克己 福岡

松本 専八郎 高知

安河内 五郎 福岡

渡邊 正一 宮城

昭和七年入學

有馬 高治 鹿児島

青島 盛 靜岡

荒瀬 侃 鹿児島

芹田 貞次 兵庫

伊藤 博 山口

伊藤 正雄 愛媛

井上 鐘一郎 佐賀

石原 國 島根

岩崎 音之助 佐賀

岩崎 誠二 山口

○學生及生徒姓名(醫學部)

池袋宗親 池内清水 稻田秋穂 生井清 今井幸介
今村健一 内田進介 内村操 梅本三之助 大内一夫
小野哲夫 鬼塚利雄 岡村潔 岡崎正夫 納利隆
川波浩 上妻千城 桃島強一 梶原景雅 龜井將
川添利秋 木村蔡 木村榮三郎 木下清 木原由紀人
菊地俊夫 黒瀬震一 楠本榮三郎 國見義郎 河野義光
河野精一 河野基作 古賀賢二 坂本徹五郎 佐藤秀武
佐々徳順 財津吉憲 新郷正雄 島村雅從 酒井知行
笠原恭一 新福輔義 曾我陣吉 田中潔 城島春雄
陣内傳之助 清野一雄 竹野内政男 竹下清次 伊達長雄
田原昭 竹末庸夫 千頭龍雄 恒松洋二郎 出崎利次
太山森清 知念榮品 永松義光 成富房美 西元英三
土井滋 德富武虎 野中義光 早川幾男 平林重門
長崎修 永井諄爾 野中義光 早川幾男 平林重門
西忠臣 野田公生 野中義光 早川幾男 平林重門
林繁樹 久正男 松尾小太郎 三井卓雄 三浦一三
樋渡隆平 保利文彦 松尾小太郎 三井卓雄 三浦一三
保科登志夫 宮野孝彦 松尾小太郎 三井卓雄 三浦一三
松崎雄吉 宮野孝彦 松尾小太郎 三井卓雄 三浦一三
三好浩 宮野孝彦 松尾小太郎 三井卓雄 三浦一三

昭和八年入學

赤星一耶 赤野道彦 有田雄二 安藤亨 石原正之
石田一夫 岩本彦之丞 岩崎正 井上源吾 今井正登
稲田正 生田義雄 入交忠雄 井上源吾 今井正登
魚住孝義 上山隆夫 浦田利道 内村正雄 大久保直射
岡村茂 岡崎正志 鬼倉陽祐 奥野勇喜 河合正武
河内野弘孝 加藤義男 北神崎知 川上誠一 門英雄
茅島新吉 韓文鳳 北田正憲 城戸恭介 桐原正幸
久米愛彦 久保村雅夫 草野了 倉田誠 黒川偉
小林佐平 清水壽夫 國分友晴 佐藤寛之 進藤潤一
進正生 鈴木剛秀 重藤肝六 杉森俊雄 仙頭金平
庄野圭二 鈴木幸男 杉恒夫 田中千金 仙頭金平
勝所正大 双津幸男 田中榮三郎 高橋道夫 高田實
田中正敏 田平時義 田代英太郎 立石五郎 陳迅
玉城鎮雄 谷野謙 谷宗雄 富岡篤 土井孝
千田千壽 東野東 津野田嘉彦 富岡篤 土井孝
中野公正 中垣久 長島光男 南郷包徳 西浦正輝

○學生及生徒姓名(醫學部)

西野廣吉	信岡浩三	原田義孝	原野惠	花房義實
廣澤正久	正田敬次郎	藤井信敏	藤野博	古野良雄
深松幸吉	堀貞雄	松尾寛	松尾義幸	松尾利茂
松下章	松本龜郎	松元信衛	前川達人	增田正弘
三村光男	三谷日出雄	三原深	向笠廣次	森田喜一
森岡讓	森田愛之	望月俊吉	望月廣一	本松利一郎
山田弘	山元正則	山川元定	山崎實	矢動丸福成
湯川雅倫	李昌根	脇坂順一		

昭和九年入學

淺井政敏	淺井建佑	秋富一人	天野改造	△井手一
井手一郎	井原準平	今田一男	岩井秋人	石丸克己
池上芳男	池田誠	池田數好	△稻田健三	内田共和
上野邦廣	植村剛	梅原亨	江里口次郎	小野隆太郎
大鹽節雄	大保不二夫	大塚繁夫	大塚二彦	織田浩充
鬼木博之	奥平誠	川口裕清	加賀美三郎	賀來維貞
金久卓也	金子壽夫	鎌田義文	△甲斐田涉	上川道純
北原經太	久保隆一	後藤正三	後藤第三郎	後藤田淳實
古森誠	近藤俊三	河野和彦	△兒玉禎三	小岩屋治
權藤祐一	五反田文二	神崎四郎	國保志津	佐々木鐵也

○學生及生徒姓名(醫學部)

山王稔	酒井逸郎	蔡桂林	芝丈夫	清水正三
白川義輝	種村等	椎名三雄	繁永榮治	徐奎輝
鈴木萬壽巳	須々田五郎	千田谷繁雄	田中順	田中隆人
田中忠雄	高野泰夫	高橋二郎	高橋一心	高橋重樹
武中牛之助	武居富士郎	武内一郎	團井和一	沈水鑑
千頭哲	鶴丸廣長	寺元長平	富田彦一	德谷義夫
豐田宗夫	戸田茂	中山光一	中山雄三	中根正勝
中拂修	中原勝人	中川洋	中川正明	長野直重
長岡隆三	楢橋正一	二階堂動	野口圭之輔	則松正二
堀田正夫	樋口正紀	平野孝	古谷正	本田親明
堀三郎	△増本次郎	松尾威	松本正威	松島昇
光井庄太郎	村尾義明	望月正雄	山下秀雄	山口弘
矢野耐照	保田秉吉	弓削虎雄	吉田寧	吉田信良
吉岡喜久一	吉永一郎	林建章	和田巳一郎	渡邊和夫
昭和十年入學				
荒木辰夫	安藤正孝	細中成章	綾部研治	青柳義彦
有馬正輝	井上猛夫	井口宏	伊藤孝一郎	伊藤祝時
岩下良雄	稻垣文朗	稻富清	石崎武盛	石丸清
石田睦雄	今泉恭二郎	池島廣吉	池田剛	小山田定三郎

小篠一之	大屋隆	大平昌彦	大井俊亮	大島正
川畑坦	川谷豊彦	川崎正美	加藤卯彦	加納尙志
香月正紀	金澤太郎	片瀬敏	木下二亮	木曾宗光
北村常也	金志莊	倉内末教	桑野武雄	熊谷直人
黒瀬敏夫	小牧昌武	古賀滿	古賀一雄	河内誠一
河野正三郎	小林矩也	佐々正達	坂口瑞生	坂田勝人
齊藤孝徳	汐田彌太郎	白壁又通	柴田哲夫	城不二男
徐明俊	杉原正人	炭田春雄	杉山浩太郎	鈴木衛吾
瀬畑良作	田邊蕭	田中美登	田原一實	高島龍雄
高松重興	竹内清海	平國雄	千阪不二夫	津田信夫
塚本俊明	鄭培禮	豊嶋良之	富田博文	渡口眞清
中尾憲治	中西通	中内四郎	中村勳	永瀬益衛
永沼與助	楡林和之	花北順一	坂東正男	島中正純
濱田一二	正田平三郎	久留幹夫	坂野守	福田武夫
松尾元治	松尾武男	松井幸也	松前茂生	眞邊武利
眞島正	牧田耕三	國山俊郎	三村幸平	三木通夫
宮崎淳弘	宮崎菊雄	宮手博	村上榮一郎	森崎正人
望月仁三	山内初男	山口榮一	矢野良雄	芳野滋
横尾正庸	力武彌壽保	笠正敏	李忠	李朝章
廖貴英	和田文男	綿貫正敏	渡邊汪	協坂順夫

第三 工學部學生

(印八海軍委託學生)

昭和四年入學

電氣工學科

森山道徳 大分

昭和七年入學

機械工學科

松尾俊郎 岡山

三竿壽一 岡山

森光也 東京

安河内春雄 福岡

電氣工學科

上原和國 福岡

白石順一郎 福岡

古野敏雄 福岡

福喜多學 東京

前田正孝 徳島

渡邊正住 福岡

應用化學科

古賀正治 佐賀

末廣建介 山口

○學生及生徒姓名(工學部)

探鑛學科

井上 秀 富山

冶金學科

壁谷 眞陰 愛知 谷 壬吉 福岡

造船學科

小田原 勉 鹿兒島 森 堅太郎 廣島

昭和八年入學

土木工學科

泉 亨二 福岡

尾崎 登 東京

根來 幸次郎 山口

池上 武男 福岡

川口 興一 福岡

平島 博希 福岡

石倉 寛治 島根

勝原 啓太 山口

古川 通泰 福岡

大塚 芳男 佐賀

鶴 賢一 福岡

三好 忠 香川

大串 滿馬 佐賀

中野 健治 福岡

楊 一 甲 朝鮮

機械工學科

安東 誠次郎 福岡

神武 敏彦 福岡

池内 誠之 愛媛

岸 憲介 愛媛

岩本 正之 福岡

倉知 儀 靜岡

伊藤 一誠 福岡

小池 大治 佐賀

内川 忠雄 佐賀

鹽谷 毅 東京

瀨川 五郎 山口

原田 芳 福岡

田中 次夫 福岡

戸崎 昭 鳥取

永松 要祐 佐賀

野中 卓造 佐賀

電氣工學科

阿部 昭 福岡

杉本 勇 愛知

林田 秀之 福岡

南川 正文 佐賀

石崎 貞正 熊本

田山 弘 福岡

樋渡 憲治郎 佐賀

山下 清 長崎

植松 八夫 長崎

高村 英男 靜岡

福田 重華 福岡

山中 敏彦 福岡

黒木 孝敏 佐賀

辻 節三 福岡

船山 清親 宮崎

重谷 二郎 福岡

新垣 利 鹿兒島

横塚 隆 愛媛

應用化學科

伊藤 泰三 秋田

篠野 通 徳島

原田 正淳 福岡

石川 悌男 東京

薄 美英 福岡

福岡 醇 福岡

緒方 信男 熊本

武野 貞明 大分

松本 寛 大分

倉成 喬 福岡

西脇 正 東京

三松 宗彦 大分

日下部 健爾 福岡

沼田 勇記 熊本

探鑛學科

阿川 重雄 北海道

萩野 三男 岡山

古賀 武彦 佐賀

平山 太郎 福岡

東 哲夫 山口

大村 宗興 福岡

清水 文人 福井

森澤 直也 福井

大塚 勳 東京

鎌田 恒 香川

田中 和美 兵庫

森重 正一 山口

井手 平四郎 佐賀

藏本 久吉 山口

手島 一光 福岡

山口 陽 愛媛

上野 利夫 福岡

倉田 昇 福岡

永田 正夫 兵庫

○學生及生徒姓名(工學部)

冶金學科

內田禮治郎 島根 片岡幸明 高知 木下正 福岡
阪本幸信 山口 關文男 福岡 妹尾武雄 島根
利光一久 東京 中澤直正 東京 不破義雄 福岡
宮田實 山口 山崎寛 東京 山野井博 山口
北島哲男 佐賀 許斐健次 福岡
大郎良 大分 堤顯雄 廣島
松原三德 鹿兒島 三木榮樹 香川

造船學科

植園 鹿兒島 久芳祥一 福岡 杉野茂 佐賀
端山經久 大分 三宅吉幸 佐賀 吉田隆 福岡
關口規矩二 岐阜 高木基雄 山口
力丸信夫 福岡 鷺見讓次 岡山

昭和九年入學

土木工學科

池田吉次 佐賀 岩永義美 長崎 井口敬太郎 福岡
櫻本清造 和歌山 岡山浪雄 千葉 隈部正人 長崎
福內大正 福岡 松尾友也 佐賀 丸尾順造 香川
市川正明 神奈川 上野實昭 鹿兒島
林柏 豐 中 縣 三住久 佐賀 吉開正文 福岡

機械工學科

榎本哲夫 福岡 大宅敬之 佐賀 奥村正二 滋賀
住江剛 熊本 柘植盛男 福岡 豐田丁三 大分
別府誠 福岡 南忠恒 奈良 安武明 熊本
坂元 強 鹿兒島 鹽谷龍二 山口
橫田秀美 福岡 安田寅四郎 大分 吉田良直 福岡

電氣工學科

泉千吉郎 大分 井上力夫 京都 井手英彦 佐賀
小田泰次郎 福岡 川井田三三 鹿兒島 河野周三 鹿兒島
篠田健男 山口 孫炳輝 高崎 高濱親雄 福岡
松元宗人 鹿兒島 村島侃一 東京 矢野徹郎 福岡
伊佐山好延 埼玉 大津藏次 大分
黃甲性 朝鮮 田部治郎 廣島 服部久晴 福岡
山田繁 熊本 吉岡五郎 佐賀

應用化學科

今村正義 福岡 岡田卓雄 福岡 小宮秀雄 福岡
稅所滿次 鹿兒島 猿野琳次郎 熊本 多田高治 和歌山
西原堅 岡山 秦 繁 京都 原良夫 長崎
近藤篤行 福岡 後藤敏英 福岡
玉置亮三 和歌山 豐田重夫 熊本
前田甫 鹿兒島

探礦學科

內村保太郎 鹿兒島 大平義夫 福岡 小野勝 福岡
加田一美 三重 加來一郎 福岡

○學生及生徒姓名(工學部)

河村 寛 山口 川副 官次 佐賀 郭 書 起 中華 金 圭 佚 朝鮮 河野 正五 福岡
小山 政孝 東京 澤村 博美 福岡 柴田 氏興 福岡 篠崎 三音男 奈良 末松 弘 愛媛
薛 永 園 中華 竹野 秀房 福岡 恒成 英彦 福岡 原 眞 島根 廣澤 準之助 大阪
森本 伊佐夫 福岡

冶金學科

今永 仙太郎 福岡 小野 六郎 福岡 奥田 清久 富山 川久保 嘉廣 佐賀 木下 禾大 福岡
小松 茂紀 兵庫 佐藤 弘 福岡 常富 奮二 佐賀 寺野 温良 福岡 徳田 菊千代 鹿児島
中村 公一 福岡 平石 仁 山口 藤井 啓一 徳島 牧田 直巳 静岡 道下 時一 群馬
宮崎 節夫 熊本 安高 忠雄 福岡

造船學科

宇川 毅 東京 加藤 房雄 島根 高田 茂俊 福岡 高村 桂 福岡 土橋 三郎 長野
中川 勝也 福岡 西田 正典 宮崎 橋本 公平 福岡 林 豊三 三重 松岡 康光 東京

昭和十年入學

土木工學科

秋竹 敏實 福岡 江里口 正夫 佐賀 葉 仁 中華 大塚 謙一 大分 西川 政行 長崎

西村 武夫 山口 野田 亨 佐賀 波多江 壽 福岡 長谷川 盛一 福岡 春成 正 鹿児島
肥後 春生 鹿児島 廣田 兼賀 熊本 福田 水門 福岡 星野 志郎 和歌山 増田 恭一 熊本
矢野 遼 愛媛

機械工學科

石橋 久左衛門 福岡 内田 健二 熊本 宇野 九十九 福岡 簡 卓 堅 中華 小林 勉 佐賀
坂井 良橋 島根 島内 一郎 佐賀 田中 孝一郎 群馬 知識 八雄 鹿児島 西村 三好 佐賀
野中 三郎 大分 秀島 正 佐賀 平山 大介 福岡 不破 文雄 福岡 古川 良明 鹿児島
森 周三 佐賀

電氣工學科

青木 正夫 福岡 赤嶺 寛正 沖縄 伊藤 直美 長野 今村 悟 福岡 江良 貞夫 山口
大島 信太郎 佐賀 岡野 茂夫 石川 川島 昇 鹿児島 久保 守 福岡 小島 井 繁 長崎
櫻田 達善 熊本 竹田 定祐 熊本 近見 始 福岡 西松 千代治 兵庫 橋本 武 福岡
播本 佳加 福岡 松永 榮生 福岡 光安 勝人 福岡 山田 憲兒 福岡

應用化學科

阿久根 央 鹿児島 井澤 正一 福岡 石田 正明 奈良 磯邊 清作 山口 大野 善夫 福岡
草場 進 福岡 國弘 包義 山口 國廣 隆三 福岡 黒川 達爾雄 鹿児島 佐藤 祐夫 大分

○學生及生徒姓名(工學部)

城 博 佐賀 德島卓巳 佐賀 中村倉大 福岡 森見二 長崎 吉山富士夫 神戶

探礦學科

青木 茂 山口 朝倉 武 東京 有賀隆雄 長野 石田丈夫 東京 稻用 實 大分
今田義人 山口 江並定雄 熊本 小溝精二 福岡 白山 寛 富山 津田正規 福岡
中野 剛 熊本 西野達明 富山 野田繁雄 佐賀 花田正幸 長崎 東芳裕 福岡
廣瀬頼男 福岡 藤森正男 長野 水池正 兵庫 宮崎大一 兵庫 安雲尙三 山口

冶金學科

飯田安三郎 東京 伊勢末雄 鹿兒島 井上敏郎 熊本 井本武男 山口 岡五郎 福岡
大木 宏 福岡 河村準人 山口 作田正男 千葉 佐田紀生 大分 澤村企好 福岡
鹽谷勝喜 長崎 沙 雙 福岡 鈴木 猛 靜岡 高橋正雄 福岡 林正男 靜岡
水野 司 福岡 村上正義 兵庫 吉崎鴻造 愛知

造船學科

內村保太郎 鹿兒島 岡部利正 佐賀 大園政幸 鹿兒島 大村麟太郎 福岡 上領一夫 山口
千速不二夫 佐賀 鄧祐直 長尾誠智 東京 波多江 信 福岡 平田昇 福岡
横尾孝義 佐賀

第四 農學部學生

昭和五年入學

農學科

鐘ヶ江正城 佐賀

昭和六年入學

農學科

德永 努 福岡 倉田昌行 長野 有田敏三 福岡 水町辰雄 福岡

昭和七年入學

農學科

井上 貫 兵庫 吉田武夫 長崎 上田 定 熊本 小松一太郎 山梨 寺崎正治 佐賀
右山隆成 熊本 謝文煥 福岡 森脇忠雄 高知

農藝化學科

碓 新一 佐賀 北原 敏 長野

○學生及生徒姓名(農學部)

林學科

鍋島種基 福岡

昭和八年入學

農學科

飯田龍一 東京	今川文雄 山口	石橋武之 福岡	石田惣市 三重	西井俊藏 三重
西村衛 高知	河部春義 福岡	川本達郎 兵庫	笠原泰三 東京	吉野新六 千葉
高橋三智男 宮城	高崎謙三 福岡	立見尚秀 三重	田中實 佐賀	鍋島直紹 佐賀
永井龍雄 熊本	中濱秀一 兵庫	中村武夫 兵庫	中島彦九郎 佐賀	武藤倬 福岡
村上子郎 愛媛	村瀬英武 東京	内田謙司 岐阜	内田久照 福岡	鬼木康久 福岡
岡英人 山口	深水正朝 長崎	藤川省吾 長崎	藤田三士 廣島	近藤卓雄 福岡
古賀保 佐賀	小松徹郎 秋田	北島亮 佐賀	宮本良樹 福岡	庄司四郎 長崎
平井太郎 鹿兒島	樋口建策 長崎			

農藝化學科

岩井友雄 愛知	長谷川北海 佐賀	伴一二 愛知	遠山一郎 東京	張洪蚶 臺灣
張信成 臺灣	加藤一生 愛知	加治龜雄 三重	片桐秀政 福岡	金谷壯 群馬
柏常秀 鹿兒島	吉川誠 高知	谷達雄 兵庫	高田誠 京都	副島壽太郎 佐賀

林學科

塚本二郎 大阪	永山成夫 鹿兒島	奈良原慎次 埼玉	上野信一 福岡	納富克己 福岡
荻原終平 長野	工藤健兒 奈良	山崎欣多 長野	青峰重範 香川	堺菊治 石川
菊池和夫 愛媛	湯川信夫 和歌山	宮田武雄 愛知	味園義光 鹿兒島	柴田良雄 福岡
神中茂次 兵庫	平野慎一 愛知	詹漢文 臺灣	鈴木保治 山梨	

萩原司郎 佐賀	戸田智高 高知	豊川善恭 東京	大谷桃太郎 廣島	太田基 宮崎
甲斐原一期 福岡	向野節雄 大分	上籠茂志 鹿兒島	楠戸季雄 岡山	矢野榮 東京
玄信圭 朝鮮	錢場愛雄 埼玉			

昭和九年入學

農學科

小倉正男 鹿兒島	川關巖 福岡	河口清 廣島	河原松實 福岡	越山正三 鹿兒島
小田部善次郎 福岡	坂本昌義 大分	坂井俊雄 奈良	笹本照明 福岡	定村慎二 福岡
佐野正雄 東京	澤見初性 福岡	嶋田巖 茨城	田口亮平 岐阜	筑紫善生 福岡
寺岡逸法 福岡	島渕春雄 大分	永江健彦 島根	野村健一 山口	平野益人 三重
藤田彰三 岡山	藤谷啓 熊本	松浦伍市 福岡	松崎直己 長崎	萬谷俊美 廣島
村井良三 大阪	森格 大分	山口志摩雄 鹿兒島	山口元 佐賀	山口道規 鹿兒島
山脇周郎 兵庫	柚木正 埼玉			

○學生及生徒姓名(農學部)

農藝化學科

青柳平八郎	長野	阿部正七郎	福岡	石松一雄	大分	浦辻一雄	京都	瓜生文雄	富山
大林正宏	大分	鬼木喬	福岡	小野篤	千葉	岸清	徳島	木村輝治	大阪
窪井東一	山口	栗原敬一	佐賀	澤村陽作	熊本	沙見清	愛媛	榮田正雄	福岡
鈴木繁	群馬	千手諒一	福岡	高木久枝	福岡	沈鶴書	中華	橋本岩夫	兵庫
原田登五郎	長崎	平山幸雄	大分	藤井實	長崎	眞重清	山口	增井正三	東京
松本恒男	鳥取	水町疏	福岡	望田慶次郎	福岡	柳澤文正	長野		

林學科

伊藤亥鶴	宮崎	今里久	東京	神川靜夫	鹿児島	蒲地昂	佐賀	清水徳久	熊本
林正人	長崎	原口菊男	佐賀	松岡了三	福岡				

昭和十年入學

農學科

有吉杏祐	福岡	井上了	福岡	出田正夫	大分	石見一三	廣島	上原三郎	福岡
大槻文夫	茨城	河原卯太郎	鳥取	栗原松雄	熊本	神屋靜太郎	福岡	古閑博	熊本
佐藤順次	福岡	達見隆行	山口	島田恒治	新潟	清水常朝	東京	關塚清藏	栃木
高杉晉介	栃木	田島彌太郎	群馬	給田光義	京都	中井實	京都	長野辰男	福岡

農藝化學科

新澤信男	鹿児島	西尾圭介	鳥取	二宮正	愛媛	野見山正宏	福岡	濱崎寛雄	鹿児島
林新太郎	山口	日高醇	宮崎	星子大	熊本	増山義克	茨城	水町邦彦	福岡
森本正明	山口	八尋憲一	福岡	山口俊雄	福岡	山田龍雄	佐賀	山田力	福岡
山田嘉夫	福岡	山本信雄	山口	吉村義弘	福岡	和田耕一	山口		

林學科

淺田順四郎	東京	石川浩	大阪	井上正良	東京	上田貞雄	鳥取	小田切昭男	長野
於田博之	大分	小原啓策	東京	春日俊光	福岡	川村正敏	岩手	上原進	岐阜
龜井行信	福岡	桑木久雄	東京	洪通堯	臺灣	古賀嘉三	福岡	吳錦	福岡
齊藤裕	福岡	先川俊介	大阪	猿野琳次郎	熊本	三分一常也	山口	品川孝雄	岐阜
下村敏正	佐賀	宣塔	中華	高野一郎	大阪	棚瀬修	岐阜	椿原健督	福岡
藤正太郎	福岡	徳岡正三	兵庫	中西正喜	滋賀	長岡良信	群馬	西村榮祐	埼玉
船津勝	福岡	森下清	二都府山	安川覺	福岡	美川榮男	東京	水野博	新潟
宮原伊知介	福岡					米澤保正	長野		

○學生及生徒姓名(農學部)

近江太郎	東京	一戸良清	東京	木梨謙吉	大分	草下正夫	東京	楠正二	愛知
久保田尙武	福岡	齊藤洋	福岡	武井齊	福岡	徳重秀一	福岡	中野正之	佐賀
中村健次	滋賀	伴保徳	福岡	本郷靜雄	熊本				

第五 法文學部學生

(△印ハ在學繼續者)

昭和四年入學

△木下 孝助 福岡

昭和五年入學

野中 知博 福岡

森崎 武男 長崎

昭和六年入學

赤井 信一 福岡

△上野 幸一 福岡

金子 隆介 山口

柏 正男 宮城

△城崎 千吉 福岡

△須藤 章 山口

△高嶺 芳徳 福岡

△宮田 誠 長崎

村谷 幸人 大分

△森 靜太郎 佐賀

昭和七年入學

△秋山 達三 福岡

麻生 幹夫 大分

足立 詔枝 福岡

石垣 武次郎 三重

△飯田 丈夫 岡山

岩井 茂 大分

△池北 敏雄 福岡

△植松 雅俊 京都

魚住 佐太郎 京都

遠藤 英男 福岡

大成 榮 大分

大谷 龜次郎 福岡

△大垣 滿 石川

岡本 道雄 福岡

越智 國郷 愛媛

加藤 新治郎 京都

上村 章 福岡

金子 豪一 熊本

柿花 博 大分

△小嶋 正躬 福岡

△橫塚 文太郎 香川

松尾 達夫 福岡

△森田 工 福岡

百崎 總弘 長崎

△安井 昌二 香川

安田 庄太郎 石川

△山田 鐵道 愛媛

△山本 博 北海道

吉野 茂 千葉

昭和八年入學

秋山 實 福岡

秋山 光世 福岡

阿多 實秋 福岡

阿部 昌久 岡山

麻生 義太賀 福岡

相川 勉 山口

有馬 俊郎 福岡

赤星 健兒 福岡

荒木 兵一 長崎

足立 義夫 大分

伊藤 道男 三重

伊藤 靜 山口

伊東 節生 福岡

池田 敬夫 佐賀

池田 喜義 福岡

池上 整 福岡

池永 惠三 佐賀

井上 勉 岡山

石井 清見 奈良

一森 正明 熊本

今津 靜 東京

犬養 正男 東京

市川 富士雄 長崎

岩本 貞一 熊本

上野 齊男 福岡

上田 亨吉 熊本

上村 正直 福岡

内丸 恭一 福岡

江頭 彌 福岡

江口 貞次 福岡

江嶋 孝太郎 福岡

遠藤 喜造 大分

大本 功 岡山

大野 義道 福岡

大村 武彦 福岡

大山 隆 兵庫

大木 光太郎 福岡

小田 切春雄 東京

小野 正二 大分

小園 貞行 大分

小江 慶雄 滋賀

小笠原 瑞庸 愛媛

岡 幸利 石川

岡庭 博 兵庫

岡村 富弘 福岡

岡田 快哉 愛媛

織井 齊 長野

緒方 俊男 熊本

加藤 慧一 岡山

加勢 田重人 熊本

河野 健三 大分

河野 房男 大分

兼重 保 福岡

勝村 滿 茨城

金苗 恭博 福岡

川口 明 和歌山

葛西 徹三 福岡

片山 茂 神奈川

柿原 行正 佐賀

神谷 龍男 愛媛

桐谷 可 京都

城戸 義輝 福岡

金 忠 炊 朝鮮

金 炳 模 朝鮮

金 德 成 朝鮮

○學生及生徒姓名(法文學部)

桑野壽助	久須本文雄	小林孝三	小林好信	小西數馬
古賀鶴喜	合原繁志	駒宮一雄	黃集榮	坂口軍吉
佐野吳郎	佐藤正美	齊藤稻三郎	佐伯勝信	貞包
西條敏雄	清水隆	篠崎拓郎	生田大介	首藤貞美
汐津福男	下條富雄	鈴木博雄	鈴木仁一	鈴木順一郎
諏訪部憲明	關董藏	園井浩雄	高木暢哉	高木道治
高木榮三郎	高石康男	田中丸重雄	田村誠喜	田住孝
田島義男	谷原長生	龍野一彦	張光豐	津田博史
塚越太郎	佃三	鄉廣	德永正次	德永要雄
島居勝海	戸川常雄	富田富太郎	中野太郎	中野拙三
中野次郎	中上克己	中尾光	名和泰	永原時太
二村光太郎	野原忠毅	西山富二夫	野村信	野村忠治
野田五郎	橋本正德	野原正美	林川敏雄	橋本寅次
橋本正德	橋岡恭人	長谷部俊雄	服部哲郎	演勝生
濱地保	原勝雄	柏漢雲	平田實	灰塚義四郎
花崎信男	波多野皖三	廣安春三	藤尾正夫	平野稔
樋口恭彦	久野賢	星野三郎	星野重顯	藤田霜子
藤澤省吾	古林善祐	松村次男	松下弘	松原保
松代仁一郎	松田悟	眞鍋敦	前川虎雄	松野幹太郎
眞名子知則	眞武豊實	眞鍋敦	馬渡岩夫	

宮本功	宮川有恭	宮崎榮助	宮崎忠義	宮崎百太郎
三苦茂	三嶋千景	守田昇	森次男	諸永直
山本安廣	山本俊夫	山本勝男	山田秀	山田進
山内正樹	山村忠之	山川政義	山野曠	矢野俊祐
矢吹秀邦	矢内隆	安原完藏	柳春生	湯川直文
湯淺元二	吉村貫一	吉岡寅之助	橫江元治	橫内教熙
四本堯治	羅善徵	李陰南	李鍾豹	劉曜
劉安素	和波忠一郎	田中織之進	松隈千代吉	吉村正晴

昭和九年入學

有光保茂	有田憲介	安倍道朗	阿部重夫	荒川滿
麻生太介	相澤武雄	雨貝謙吾	伊藤一郎	伊藤實
伊藤忠	伊東農夫	伊東敏治	井上二郎	井上三雄
井上周介	石田龜	石田省三	石橋萌	石橋文敬
石津郁也	石井次郎	石谷進	石黑與七郎	池田隆司
池田光長	尹禮鉉	岩谷碩三	市村重憲	今井保司郎
梅野和夫	千瑞熹	榎本春樹	江藤俊吾	大野忠雄
大野潔	大久保正三郎	大羽辰雄	大里積	大原盛三郎
大多和健三	大渡正治	大津山英人	小野哲四郎	小川通彦
小栗重行	小笠原正勝	緒方朝二	緒方三郎	尾西潤

○學生及生徒姓名(法文學部)

尾谷雅治 三重 於保 藤平 佐賀 岡山 忠生 熊本 萩野 茂彦 岐阜 小越 達也 廣島
河野吉興 新潟 加峯 毅 福岡 金田 猛 熊本 勝部 一三 鳥取 岸井 孝 鹿兒島
木村 德 新潟 木村 彪 京都 木下 允明 鳥取 岸川 勝海 福岡 岸野 吉 鹿兒島
金大 吉 朝鮮 久米 安行 愛知 久米 不可止 佐賀 久保田 茂 福岡 久保田 明治 廣島
倉林 信義 奈良 日下部 宗人 福岡 九鬼 義信 熊本 黑井 信次郎 兵庫 桑木 務 福岡
百濟 慈海 山口 古賀 幸雄 福岡 河野 智 山口 近藤 定次 長崎 小林 春男 東京
佐藤 律二 愛知 島田 八郎 福岡 齋藤 益巳 福岡 西藤 全 大分 三義 虎喜 佐賀
相良 勝雄 宮崎 城 順次郎 大分 島田 英男 熊本 下村 松枝 靜岡 下川 春海 福岡
白石 崇 長崎 杉本 秀隆 熊本 周 樹 嘉 中國 謝 樂 廣 中國 水頭 欽一 長崎
杉木 直喬 熊本 宋 惠 普 朝鮮 杉村 敏雄 鹿兒島 杉山 丈吉 長崎 鈴木 正義 愛知
澄田 一雄 島根 高橋 十三 兵庫 高 原 榮 福岡 蘇 芷 坡 中國 高橋 渡 廣島
田中 正文 京都 田坂 純一 佐賀 竹村 清 高知 民秋 重太郎 大阪 棚町 武 福岡
張 昌 鎮 朝鮮 趙 生 仲 中國 鷗田 清 長崎 飛石 初次 佐賀 戶失 雅彌 埼玉
土井 正治 大阪 永野 羊之輔 福岡 永田 富三男 熊本 永田 英一 京都 永田 喜興志 福岡
中川 登吉 山口 中江 範 鹿兒島 中村 巖 鹿兒島 中山 周一 群馬 成田 穰 青森
西田 清士 熊本 林 壽二 長野 坂 重 隆 廣島 花田 史郎 愛知 野島 豐志 鹿兒島
能田 健一 兵庫 原田 文枝 福岡 日置 高雄 廣島 坂 重 隆 廣島 平川 義外 福岡
長谷川 守 鳥取 日置 高雄 廣島 坂 重 隆 廣島 古野 茂樹 福岡
平井 賢五 山口

船越 榮一 福岡 藤本 誠 熊本 本多 福治郎 東京 本間 勇吉 北香 浦 朴 相 鉉 朝鮮
松本 正之 熊本 松尾 良明 長崎 前川 善市郎 滋賀 升田 圭司 福岡 三島 丈夫 福岡
三好 德行 福岡 三宅 大 一 大阪 宮原 孝 福岡 宮下 勝次 兵庫 宮副 文次 佐賀
宮田 幸吉 福岡 水口 芳明 香川 水波 淳 滋賀 身深 正明 大分 村上 博 山口
持永 澄 長崎 守部 直次 福岡 山口 浩太郎 佐賀 山本 光藏 兵庫 山口 忠 吾 北海道
山口 謙藏 千葉 山口 浩太郎 佐賀 山本 光藏 兵庫 山口 忠 吾 北海道
山上 勇 大分 山縣 友治 大阪 安仲 良一 福岡 柳浦 正一 大阪 吉本 桃郎 福岡
吉崎 正 佐賀 吉無田 春來 熊本 林 金 殿 臺灣 浦島 潔己 鳥取 古藤 軍 鹿兒島
渡部 守人 宮崎 若林 俊彦 福岡 和田 信雄 秋田 浦島 潔己 鳥取 古藤 軍 鹿兒島
田尾 五太郎 長崎 宮川 茂 長崎 和田 信雄 秋田 浦島 潔己 鳥取 古藤 軍 鹿兒島

昭和十年入學

安部 藤雄 福岡 安部 義一郎 福岡 安部 博 山口 安達 始郎 靜岡 甘木 貞庸 佐賀
池田 進 福岡 池谷 利治 山梨 漁本 喬 鳥取 岩崎 健男 福岡 岩倉 富士雄 東京
稻葉 八郎 和歌山 石井 愛 福岡 泉 重敏 福岡 井上 忠 岡山
板倉 貞敏 東京 飯野 豊 富山 一木 壽彰 福岡 市來 政安 鹿兒島 尹 忠 朝鮮
卜部 一夫 福岡 梅田 弘市 熊本 宇都宮 新 熊本 浦田 一晴 熊本 江崎 惟春 福岡
大野 六雄 福岡 大野 正男 熊本 大野 五郎 京都 大橋 福三 京都 大谷 脩 奈良
大川 雅三 三重 大森 雄一 福岡 大山 綱隆 鹿兒島 大田 理英 山口 小野 正雪 大分
小野 茂樹 廣島 小田 武雄 愛媛 小田 切弘美 熊本 小山田 孝之 福岡 小桐 速人 大分

○學生及生徒姓名(法文學部)

尾形智見	尾方四郎	尾崎靜雄	男澤敬一	岡田純二
奥江泰景	河野博範	河村喜典	川端信明	川村信一
金井利博	金重利資	茅嶋龍一	象増俊男	梶川靜雄
笠置英行	勝屋弘知	辛島精一	片岡武夫	木村章
木原正博	象山輝夫	北中季雄	金裕澤	金永徹
金後善	久保山榮力	久保榮	久甫正彦	倉岡周南夫
倉橋弘次	楠田光	藏重四郎	國西正	桑原政喜
近藤春雄	近藤達雄	小西誠太郎	小磯毅	小杉敏雄
古賀初男	河野清	佐々木史	佐々木康二	佐伯行實
佐藤輝吉	佐渡島博	佐座正直	坂井悅治	眞田正人
鮫島八郎	齊藤五藏	蔡南冠	柴田康雄	柴田綱丸
榮原守衛	城島恒雄	鈴木弘	茂木信雄	下村悟
正村菊人	宿野隆雄	鈴木直弘	鈴木銀治	末弘春夫
末永官一郎	杉田正	杉山直	住吉平八郎	相原定治
角山福太郎	瀬戸常夫	瀬良益夫	清家芳樹	田中友次郎
田中宗夫	田中英毅	田中泰造	田村晴彦	高木勝雄
高木幸二郎	高木章	高橋重二郎	高橋重二郎	高田金三郎
竹尾達志	竹下勇	武田正義	丹正治	嶽順治郎
瀧本信治	棚田榮二	谷口二郎	津田惠	津曲貞男
土谷俊次	土田政之	辻博	堤正治	豊福信夫

戸伏直孝	土井優美	時津正二	柄内一彦	中村嘉人
中村富雄	中村國男	中野正晴	中野實	中江昭男
中生一	中島嘉夫	長東正之	長尾風	内藤茂木
浪花孝道	永山就次	西村五郎	西村政太郎	西正彦
西田俊道	新田正穂	野本清	能勢眞一郎	原田勝之助
原田敏夫	原口幸雄	林泰三	林美一	橋本貞
馬場秀夫	服部弘文	廣瀬富之助	廣瀬富太郎	廣田勇
平田藤	平川敏夫	平嶋謙一	樋口榮一	姫野愛作
藤本恒義	藤本英正	藤田德太郎	藤井秀夫	藤井良造
藤原宏	藤村啓一	福島藤太	福久清	福山正美
福岡千里	本田不二郎	本城説治	前田澄夫	前田利彦
前畑繁春	松井清	松井裕	松尾佐太郎	松岡洋一郎
町田強	町田秀雄	丸澤隆輝	眞鍋豊春	三室敏郎
三好正	三浦則純	水野爲之	水上泰信	宮本弘
皆川孝平	溝口太郎	村岡一三	村上寅次	村嶋豪光
向山巖	向野憲雄	森ミツ子	森山彌	森田輝雄
毛利弘次	山口泰	山口直	山口和夫	山口悦二
山口七郎	山崎健太郎	山崎武	山泉鍊太郎	山島久典
山本達雄	矢田武	安原克己	湯地弘夫	横山正
横瀬多喜	吉田勇	吉田英夫	吉田吉夫	吉岡要

吉松 勉 山口 吉武 孝樹 福岡 吉原 安雄 佐賀 李 三 實 朝鮮 李 文 垣 朝鮮
渡邊 猛 福岡 渡邊 則雄 岐阜 池田 福廣 島根 池田 富雄 廣島 田中 哲雄 長崎
本間 醇 東京 川口 宏 和歌山

昭和五年入學選科生

△藤井 爲六 長崎

昭和六年入學選科生

武盛 文雄 京都

昭和七年入學選科生

今村 繁夫 香川 松本 とめ 兵庫

昭和八年入學選科生

中村 敏雄 山口 西岡 利夫 岡山 原 晋 治 佐賀

昭和九年入學選科生

中山 輝雄 京都 松井 登 兵庫

昭和十年入學選科生

岩城 功 鹿児島 川淵 幸雄 長崎 鈴木 正里 大阪

第六 專 攻 生

(昭和十年五月末現在)

醫學部ニ屬スル事項ヲ攻メスル者

微毒ニ對スル各種血清診斷法ノ比較研究

吉田 克巳 福岡

黄疸出血性スピロヘータ病腎臟障害本態ノ實驗的研究

井戸 福秀 岡山

病理學一般

林田 政幸 福岡

腦還元性物質ニ關スル研究

醫學博士 醫學士 圓山 廣俊 東京

脊髄脊柱脊筋ニ關スル研究

醫學博士 新藤 省三 東京

皮膚科診療一般

竹之内 勅 鹿児島

産科婦人科領域ニ必要ナル解剖學

醫學士 久富 義雄 福岡

一般皮膚病學

醫學士 早田 皓 東京

外科領域ニ於ケル移植術ノ組織學的研究

安東 文二郎 大分

○學生及生徒姓名(專攻生)

泌尿生殖器組織學的研究	深村正夫 福岡
泌尿生殖器科學一般	瀧井常保 鹿兒島
內科學一般	西村盛暢 熊本
消化器疾患ノ病理及ビ治療	國崎忠真 福岡
精神病理學一般	廣石捷一 福岡
精神病理學一般	醫學士 村岡正雄 佐賀
金鹽ノ研究	小楠庄一 熊本
動體ト視機トノ關係ニ就テ	醫學士 牧哲夫 福岡
外科一般	志田英利 佐賀
婦人科領域ニ於ケル微生物學	打越利行 熊本
臨床病理學一般	田中一夫 福岡
齒科學領域ニ於ケル微生物ノ研究	平岡心輝 熊本
炭酸夫ノ衛生並ニ疾患ニ關スル研究	醫學士 佐々木次郎 大分
運動器系統ノ病理	神中茂正 兵庫

拔毛術ノ研究	醫學士 木原政喜 長崎
初生兒黃疸	中村浩策 福岡
小兒科學一般	醫學士 森口昇 和歌山
犯罪精神病學一般	丸山郁雄 東京
產婦人科ニ關スル藥理學的研究	井福大策 長崎
耳鼻咽喉科學一般	西山喻義 熊本
消化器系統ノ結核	山岸光國 埼玉
各器官ノ脾臟代償作用ニ就テ	內野彌次郎 福岡
藥物學及內科學一般	醫學士 和田國三郎 熊本
特發性脫疽	村尾信俊 福岡
外科ニ關スル細菌學的研究	島田憲雄 熊本
耳鼻咽喉科學	郭維新 中華民國
耳鼻咽喉科學	員符謙 中華民國
內科學一般	嚴可寬 中華民國

內科學一般	袁寶慈	中華民國
內科學一般	唐鑑陸	中華民國
外科學一般	佐藤信雄	長崎
外科學一般	白石正一	福岡
耳鼻咽喉科學	趙恩沛	中華民國
精神病學	醫學士 中村氏秀	福岡
外科學領域ニ於ケル病理學研究	福井俊一	大阪
外科學一般	陳其軒	中華民國
外科學一般	廖亞平	中華民國
皮膚泌尿器科一般	牛明辰	中華民國
小兒科領域ニ於ケル血清學一般	佐藤智男	島根
皮膚泌尿器科學一般	呂文若	中華民國
內科學一般	陳閣明	中華民國
產婦人科學一般	劉天嘯	中華民國

外科ニ關スル細菌學的研究

眼科學一般	鮫島才二	鹿兒島
眼科學一般	劉士瑋	中華民國
內科學一般	隋仁增	中華民國
小兒科領域ニ於ケル醫化學一般	劉兆楨	中華民國
耳鼻咽喉科學一般	小田又藏	福岡
皮膚疾患ト殘餘奎素	松島千稔	福岡
外科的解剖學	池井貞夫	鹿兒島
外科學一般	醫學士 倭政三郎	三重
產婦人科領域ニ必要ナル胎生學及ビ解剖學ニ就テ	路忠平	中華民國
性病病原體ニ關スル研究	相浦勝福	福岡
藥物學	醫學士 熊澤滿長	崎
解剖學	姬井逸美	岡山
小兒科學	醫學士 潘士華	中華民國
	醫學士 海野武夫	大阪

衛生科	王世榮	中華民國
内科	程崇圯	中華民國
小兒科學一般	高葆謙	中華民國
小兒科	厲喬華	中華民國
腦病理組織學	醫學士 御厨 巖長崎	
藥理學	田中弘道	島根
小兒科學一般	王鍾泉	滿洲國
内科學一般	佐伯不二男	長崎
外科的解剖學	久保信人	佐賀
内科一般	王濟華	中華民國
外科的解剖學	宮崎忠夫	長崎
聽器ノ病理	富田英一	福岡
工學部ニ屬スル事項ヲ攻究スル者	工學士 佐伯一郎	長崎
鑄鐵鑄物ニ關スル事項		

油脂工業副産物ノ利用處理

工學士 宮崎兄一 福岡

農學部ニ屬スル事項ヲ攻究スル者

一、蠶ノ遺傳、二、蠶ノ生理	蔣同慶	中華民國
一、蠶ノ遺傳、二、蠶品種改良法、三、蠶體解剖ト蠶ノ生理	熊季光	中華民國
一、蠶體遺傳、二、蠶ノ品種改良、三、蠶體解剖	李紹宜	中華民國
農業昆蟲學	何國模	中華民國
蠶體遺傳、解剖、病理	蔣新華	中華民國
蠶體遺傳、生理	朱佩箴	中華民國
蠶體遺傳、生理	王拔羣	中華民國
蠶體遺傳、解剖	周仙美	中華民國
蠶體遺傳、解剖	程照	中華民國
農政學	馮一民	中華民國
農業經濟學、農政學	儲銳鋒	中華民國
發酵化學	農學士 富安行雄	福岡
○學生及生徒姓名(専攻生)		

家蠶ノ生化學的研究

大豆ノ化學的研究

農業經濟學

遺傳學、蠶體病理學

農學士 山藤 一雄 滋賀

農學士 佐々木 周郁 福岡

王 樹基 中華民國

洪 民生 中華民國

法文學部ニ屬スル事項ヲ攻究スル者

日本史及日本思想史

政治史、政治學說史

政治學

地方行政

外交史、國際公法

財政學、農業政策

銀行貨幣

政治學、政治思想史

貨幣學、農業經濟

太田 貫吾 米國

汪 詒 中華民國

項 元民 中華民國

黃 馮明 中華民國

張 效良 中華民國

張 延鳳 中華民國

陳 仲連 中華民國

陳 葆仁 中華民國

唐 野夫 中華民國

政治學、政治學說史

農業政策

日本近代文學史

貨幣金融

農業經濟

教育學

經濟學史

都市行政

俞 蔚然 中華民國

葉 光華 中華民國

宋 雯芳 中華民國

張 光業 中華民國

沈 亞清 中華民國

劉 書傳 中華民國

史 載 中華民國

雷 鴻坤 中華民國

○卒業生姓名

(×印死亡)

醫學士

醫學科

明治四十年ヨリ同四十三年マテハ京都帝國大學福岡醫科大學卒業ノ者ナリ

○卒業生姓名(醫學士)

明治四十年十二月卒業

赤岩八郎 徳島 渥美重三 三重 東恒一 三重 石塚保吉 長野
池上五郎 三重 牛島敬太 石川 上田均 石川 梅田弘之 兵庫
小川勇 愛媛 小澄任市 熊本 太田有秋 大分 大坪武之助 島根
加藤倫義 岡山 X木村重行 岩手 草間俊三 新潟 黒田静 秋田
小島鼎二 東京 後藤七郎 福岡 齋藤一 徳島 X榊忠三 東京
篠崎宜善 秋田 鹽見長衛 京都 X杉江董 廣島 X杉本務 千葉
武清 新潟 武内博愛 福井 X田中敏 奈良 X辻野保 和歌山
照井辰次郎 秋田 X島湯碩 秋田 X長尾正保 高知 X野口政秀 新潟
橋本策 三重 長谷川興一 栃木 蜂須賀誠二 静岡 X藤澤幹二 福岡
松岡承桂 和歌山 前田清光 東京 X三田源四郎 岩手 X水野達意 新潟
望月代次 京都 百瀬五郎 東京 森小一 大阪 矢澤俊一郎 長野
山本耕橋 和歌山 吉松鼎三 山口 X和田小太郎 東京 X山添喜代藏 京都

明治四十一年十二月卒業

明石眞隆 福岡 X秋場玄良 山形 石川直樹 秋田 石橋貞次郎 山形 石原永愛 山梨
石原修 東京 石原亮 東京 石松高 福岡 石井喜四郎 東京 X市來新一 鹿兒島
X井戸泰 岡山 伊藤應隆 愛媛 岩本護 岡山 岩淵友次 宮城 岩佐敏二 愛媛
今西平五郎 奈良 入交祐 高知 内田謙一郎 岐阜 上山利介 鹿兒島 梅林源次郎 静岡
植田潔 福岡 X江口米市 佐賀 遠藤精虎 福岡 X岡田唯一郎 愛媛 奥島愛治郎 愛媛

明治四十二年四月卒業

X小田定藏 兵庫 小野寺直助 岩手 X太田登博 熊本 大平得三 山形 香賀我部 壽 滋賀
柏原光太郎 香川 勝野克巳 岐阜 金子悌四郎 山形 金子義則 長野 鎌倉政市 長野
貴志廣徳 和歌山 木村律郎 奈良 清川弘道 千葉 X楠正信 高知 桑原茂雄 和歌山
黒瀬祐吉 福岡 黒田晶恵 茨城 黒田憲夫 廣島 後藤彰 宮城 小林修藏 石川
小室直幸 徳島 坂西信次 熊本 三枝助太郎 山口 佐野良太郎 秋田 X柴田信衛 埼玉
X莊原復 東京 鈴木三伯 宮城 高木繁 東京 高安慎一 東京 谷澤勇 福井
谷野駿 岡山 田中耕作 兵庫 田野熊一 鳥根 田村於菟 福島 田村辨 京都
角田俊吉 京都 遠山國治 岩手 富谷貫二 千葉 豊山静通 青森 難波剛平 新潟
西幹敏平 大阪 X原口競 熊本 原田耕吉 鹿兒島 X樋口淳治 東京 菱川恒生 福井
平野俊佐 熊本 X深川太郎 佐賀 藤田多平 徳島 (荒山中) 古澤好雄 千葉 星政一 新潟
X本間健兒 静岡 益富貞三 長崎 松尾基雄 東京 X松村三郎 大阪 眞鍋忠太郎 香川
丸田幸治 新潟 丸山博 山梨 岡利子幾久雄 大分 三木熊二 徳島 村上直次 香川
望月温象 廣島 守屋辰巳 廣島 森川良藏 福岡 矢野雄 富山 山岸國治 長野
山本勉彌 和歌山 X横地堅吉 群馬 X吉永愿恭 福岡 渡邊博 宮城

小島達三 埼玉 六角 讓 福島

明治四十二年十一月卒業

阿部英世 新潟 鮎田壽郎 栃木 石原勝 熊本 石藤文七 廣島 伊藤光藏 愛知
○卒業生姓名(醫學士) 三五五

岡本市太郎和歌山
木村良夫 兵庫
久島文吉 山形
久保木保壽 千葉
佐々木應一 長野
高橋明 愛知
早川熹次郎 岐阜
丸山峻秀 長野
水村善之助 宮城
小池正晃 東京
佐藤清一郎 香川
多愛次郎 佐賀
林學 廣島
水谷省太郎 東京

明治四十二年十二月卒業

相浦眞三 佐賀
赤枝守一 岡山
赤坂庄次郎 群馬
飯野義彌 群馬
大西進 兵庫
大西義衛 香川
岩崎徳松 新潟
岩崎利三郎 岡山
岡本孝直 京都
木下謙三 大阪
滋野左右吉 和歌山
杉本曉一 新潟
中村新 東京
橋本正貞 栃木
宮坂芳香 長野
三河内省三 廣島
横田彌吉 茨城
中郎 廣島

明治四十三年四月卒業

國友龜彦 高知
小池徳造 茨城

明治四十三年十一月卒業

安達憲二 新潟
安達昌平 千葉
石橋松藏 千葉
伊勢日出登 大分
今泉隆雄 愛知
今井百之輔 群馬
伊藤吉左衛門 岐阜
井上三郎 岐阜
岩井順一 愛知
今泉隆雄 愛知
今井百之輔 群馬
牛田純一 兵庫
小田義輔 山口
大島兵治郎 徳島
大多和興四郎 千葉
大西健雄 兵庫
大平紀陳 東京
金尾静衛 廣島
神森利雄 京都
木村吉之丞 栃木
草間常三 新潟
橋田彰司 兵庫
郷芳男 東京
小西幸三郎 栃木
櫻岡己彦 熊本
末綱謙 大分
住田茂 愛媛
關川一 千葉
田中半次郎 京都
谷徳二 徳島
島居直次郎 愛知
永田春生 佐賀
樋口周造 新潟
久田親一 廣島
廣部智圓 滋賀
深見純 奈良
藤井從權 岡山
古谷菊次郎 茨城
法貴六郎 兵庫
藤積榮次郎 秋田
松島利兵衛 福島
三浦寛次 長崎
右田吉人 大分
瀧越健次郎 山形
宮下耕圃 鹿児島
向山美弘 山梨
望月章 茨城
森鼻正治 兵庫
森安半次郎 岡山
渡邊信吉 群馬
渡邊泰 新潟

明治四十三年十二月卒業

朝山榮二 神奈川
飯田將三 三重
五十嵐將 東京
稻田進 愛知
岩谷高明 秋田
井尻辰之助 京都
井口炎 熊本
内田邦彦 千葉
宇都宮文四郎 大分
上田精一 東京
小川大三郎 奈良
奥田祐安 北海道
小原泰四郎 千葉
太田作治郎 大分
大井知光 東京
金澤正男 長野
川村信一 東京
木村茂 茨城
坂本秀雄 大阪
志藤二郎 廣島
小出針 愛知
小沼榮光 茨城
高橋省三郎 青森
千葉元枝 北海道
岡田亮次 佐賀
尖倉綱助 新潟
清水金三 岐阜

○卒業生姓名(醫學士)

中山元孝 新潟 永井保二郎 愛媛 西田得一 福岡 長谷川大藏 和歌山 濱田忠登 鹿島
羽根田鴻三郎 茨城 肥田野行 東京 平原繁雄 佐賀 藤澤勝五郎 東京 藤原教悅郎 島根
松野繁隆 新潟 箕田貢 靜岡 ×宮城盛三郎 福岡 橫田貫次 兵庫

明治四十四年十一月卒業

秋月城 宮崎 新井喜一 埼玉 飯島博 埼玉 石川重道 福岡 井上庸三 千葉
緒方大象 福岡 岡村城介 長野 ×奧山虎文 東京 大石敏夫 三重 笠原精一 埼玉
×勝見正雄 山形 金子廉次郎 新潟 川端恭三 新潟 ×河井悅雄 島根 木下正比兒 大分
桐淵廣一 東京 ×小島榮治郎 岐阜 佐々木喬 廣島 佐藤萬次郎 愛媛 鹽田清一 東京
×菅原建松 富山 鈴木稔 東京 須藤求 神奈川 瀨戸潔 宮城 武井準 茨城
×田公登 山口 ×高田義直 石川 鷹津三郎 兵庫 高畑哲五郎 徳島 街寧 吉 京都
×津田良重 佐賀 ×戸田滋次郎 岡山 中上森造 福岡 中原精三 兵庫 ×萩尾博 福岡
原季五郎 青森 ×平岡純一郎 和歌山 堀内九萬里 兵庫 平野一 埼玉 比留間茂十郎 東京
×深澤彌吉 靜岡 福田洋洲 茨城 室本吉太郎 北海道 森周三 愛媛 右田哲三 島根
三戸敬登 廣島 村澤吟治郎 長野 橫田武三 埼玉 吉田章信 岡山 森田親一郎 廣島
山田勇 熊本 山根政治 東京 橫田武三 埼玉 吉田章信 岡山 波邊源次郎 茨城

大正元年十二月卒業

岩井誠四郎 東京 飯島勝次 東京 内田孝藏 長野 馬島勝藏 東京 大野章三 福岡
大原清之助 宮城 掛下玉男 佐賀 河田直吉 愛媛 上村晴輔 山口 齋藤千城 鳥取

佐藤坦 宮城 佐藤林太郎 新潟 志村宗平 奈良 錫柄直也 千葉 高田剛一郎 靜岡
武内研吾 熊本 恒次博四郎 岡山 道部宸 千葉 德富光廣 熊本 德永保 奈良
德山省吾 福岡 中村初太郎 靜岡 中本信和 和歌山 ×野村逸吉 愛媛 ×花村賢 靜岡
林哲夫 福岡 星三藏 宮城 星野和正 群馬 ×星野進 群馬 ×松尾由雄 青森
三隅岸 熊本 水島政一 富山 三戸玄三 廣島 ×八木繁 福岡 八代春雄 山梨
山田哲一 埼玉 山本弘行 岩手 ×若林勳 大阪 若山邦男 青森 鷺津龜吉 福岡
渡邊英七 福岡

大正二年二月卒業

小野山忠夫 福岡 鷹野翰 茨城

大正二年三月卒業

館野克巳 栃木

大正二年十一月卒業

伊勢良男 愛媛 伊藤照 鳥取 飯田豊三 東京 ×今泉奥太郎 東京 内田文秀 茨城
植木隅 福岡 岡田章人 高知 大石一二 愛媛 大久保一雄 愛媛 梶貞三 神奈川
上谷長雄 山形 菊池源造 福岡 ×木村省三 兵庫 木村貞之進 宮城 栗原清一 神奈川
黒田隆良 熊本 小林儀作 新潟 小林美定 福岡 坂本輯 茨城 佐々木次郎 大分
志戸本敬作 宮崎 鹽谷覺三郎 埼玉 曾田共助 新潟 ×高崎義行 奈良 ×高橋莊之助 山形

○卒業生姓名(醫學士)

長井修三郎 新潟 西巻透三 新潟
×早間重成 廣島 樋口修輔 廣島
松浦光清 宮城 ×松岡龍雄 廣島
美甘三六 岡山 南澤遊龜治 長野
森永弘 福島 湯澤謹次 埼玉
吉田秀助 山形
×原田永明 鳥取 ×原田吉次 鹿兒島
藤木辰助 富山 本間良道 茨城
×松本五郎 神奈川 三河義行 福島
村島晉作 佐賀 荒木萬吉 山形

大正二年十二月卒業

市川鴻一 山形 伊藤英逸 東京
高岡達也 熊本 林能昭 東京
加納五郎 岐阜 ×古賀好一 福岡
舟木秀直 三重 ×宮田格 長崎
齋藤良助 山形

大正三年十一月卒業

窪田孝 福井 鈴木諒爾 埼玉
傍島亘 東京 長田忠三 鳥取

大正三年十二月卒業

荒木駒雄 福岡 新井純一 山口
石原寅之丈 福岡 石丸藤三 埼玉
今富正徳 福岡 内田了 神奈川
奥田喜久三 東京 ×奥村光隆 愛知
太田實雄 鳥取 ×大野恭三郎 愛知
木村退三 東京 ×金台 福岡
安藤二平 愛知
板澤政治 埼玉
岡本久人 廣島
尾田 孝 福岡
門田 綱紀 愛知
窪田主一 新潟
石川勝治 東京
伊藤勘助 山形
×岡本文武 東京
大石不徳 鳥取
川口庄松 新潟
小岩井 靖 長野
×石原眞藏 愛知
岩原拓 東京
荻原 山形
大栗 鳥取
河原治作 新潟
小花隆二 埼玉

×澤太一 千葉 笹野勝雄 宮城
新保十寸穂 新潟 竹内多登市 長野
×玉井一夫 愛知 長崎 鼎 長崎
中村貞治 大阪 仁木九郎 岡山
林 香三 三重 原田彦輔 福岡
降矢泰甫 山梨 本多玉穂 山口
三木信之 山梨 綠川太一 福島
安村 徹 京都 安井 平 滋賀
×吉田重長 滋賀 吉原仙五郎 福島
米澤信吉 青森
和通秀恒 滋賀
渡邊道之助 茨城

大正四年三月卒業

篠川賢治 富山 羽田野喜三郎 長野
安田祐吉 京都 ×吉田一毅 大阪

大正四年十一月卒業

有賀長玄 東京 家原小文治 大分
西郷司 長野 榮橋七藏 山形
岡田高迪 長崎
登原虎之助 廣島
中村愛助 東京
小宮山友則 山梨
安武正矩 福岡

大正四年十二月卒業

赤谷幸藏 千葉 秋場隆一 茨城
石原 暢 鳥取 伊藤 晉 東京
伊東 泰 愛知
今淵忠介 青森
阿部 經重 福岡
井 關 恒和 山梨

○卒業生姓名(醫學士)

江口隆興	秋田	×小副川菊次	佐賀	大野四郎	栃木	大森靜樹	福井	掛川清水	長野
加藤秀雄	福岡	川島市	長野	河野喜好	福岡	×甲斐外志彦	群馬	喜多孝慶	佐賀
合屋友五郎	福岡	後藤義一	岐阜	近藤富三	青森	近藤梁二	神奈川	齊藤孝次	千葉
齊藤大雅	京都	佐藤亨	東京	篠崎哲四郎	千葉	霜島久雄	神奈川	×白川玖城	新潟
進文雄	福岡	進藤伸治	佐賀	×藤藤信介	埼玉	×鈴木五良	群馬	住友治實	福島
×高岡英祐	千葉	×高橋毅	香川	高柳憲三	群馬	竹内清	兵庫	竹原隆義	北海道
田坂仁憲	廣島	×田代正明	東京	築地和貴	香川	×津田健三	兵庫	寺澤殿男	福島
戸田忠四郎	東京	根本四郎	茨城	長谷川靜雄	東京	早川正	岡山	東種秀	佐賀
平野贊	茨城	藤木乙次郎	千葉	古橋仁太郎	栃木	堀内剛	長野	本田義策	山口
馬島浩	岐阜	松尾武幸	福岡	松田盛像	鳥取	丸山孔策	新潟	山口彦四郎	佐賀
渡邊勇	東京	渡邊齋	福岡						
白男川久	鹿児島	瀧川竹四	東京	中村秀雄	東京	松井式部	山口		
赤木泰之	長野	足立清久	福岡	天野純平	岐阜	荒瀬智	山口	安藤太郎	茨城
池山清	愛知	石田昌勝	新潟	稻野隆信	東京	×岩田顯三	新潟	岩永仁雄	長崎
伊與田農夫	高知	伊良原國市	徳島	内田壽	福岡	×武山定雄	岐阜	江副民也	佐賀
榎本基	東京	小野健治	新潟	×大久保匡	長野	大井義正	富山	垣田馨兒	山口

大正五年十一月卒業

大正五年十二月卒業

加來公輔	福岡	×笠原傳七	東京	勝木任	福岡	勝田博	靜岡	加藤七三	東京
上村親一郎	高知	北村末造	長野	×草場信	福岡	久世洵	岐阜	限鎮雄	長崎
×小泉長亮	宮城	小園俊夫	大分	五島匡一	岐阜	齊藤源治郎	山梨	齊藤良象	山梨
阪上虎彌太	大阪	×佐藤仁	山形	佐野寅一	愛知	佐伯佐	三重	執行作	福岡
鹽崎喬	愛媛	沙見文之助	兵庫	須賀吉之助	茨城	菅沼巖雄	大阪	×鈴木政三	千葉
祖谷直行	徳島	高橋眞	長野	田中巖	愛知	×田村耕	東京	土橋光太郎	長野
土屋幸夫	島根	筒井省二	埼玉	寺師見國	鹿児島	富久田又三郎	栃木	鳥居武雄	山形
中島正徳	山梨	長濱庫吉	群馬	西岡道隆	和歌山	信田章太郎	東京	橋口正樹	長崎
久田洪	石川	平野寛一	兵庫	堀島林平	徳島	福山萬平	三重	藤田卯二六	青森
平安山長義	沖縄	星子修太郎	熊本	堀内秀治	奈良	松田貞二	兵庫	三木利一	兵庫
三瀬宗造	愛媛	南茂松	富山	南俊治	北海道	×宮川量	福岡	宮城汎山	福岡
宮本傳三郎	東京	村田鷹一	山口	毛利元一	石川	森田松兵衛	愛知	安日新	福岡
山口亮一	埼玉	山敷英雄	和歌山	山田敬三	福岡	山本守部	高知	吉田平次郎	石川
×渡邊忠次郎	千葉	渡邊治雄	北海道	渡部綱義	大分				
市田次郎	滋賀	齊藤庄吉	山梨	佐藤三千三郎	新潟	渡邊清知	北海道		
相蘇保	山形	天野周二郎	秋田	×荒牧悟	福岡	×伊笠卯吉	東京	石川昇	大分

大正六年二月卒業

大正六年十一月卒業

○卒業生姓名(醫學士)

石田秀雄	東京	石井麟祥	山梨	板橋敏行	東京	伊東久治	長野	乾政明	高知
×飯島義寛	長野	今井了五郎	香川	井尻龍雄	京都	×井上岩之助	山口	×井上謙一	福岡
植村英雄	廣島	内田謙益	岐阜	尾形辰雄	福岡	岡田濟美	群馬	小野興作	山口
小野三七郎	福岡	小畑郁	宮城	大島悠二	兵庫	大野良藏	福岡	大野六郎	茨城
小山逸見	長崎	梶豐次郎	栃木	可知干	岐阜	加藤美之	岐阜	金谷榮治郎	福井
川畑静彦	鹿児島	鎌田嘉一郎	三重	神崎豐司	神奈川	神林美治	長野	上沼健衛	長野
(元岡本) 龜岡長一	高知	木村良三	山形	×釘宮覺	大分	栗本義時	千葉	黑川達郎	廣島
黑肱忍	鹿児島	×吳萃蘭	中華	小島典之輔	東京	兒島誠一	兵庫	(元中村) 兒玉勸	廣島
佐藤厚一	栃木	戎肇	中華	×園田甫	大分	榮田純一郎	新潟	清水鹿次郎	新潟
×砂田政之	富山	東海林重信	東京	知念朝太郎	神奈川	×高木直次	東京	高澤暢	茨城
高原憲	福岡	館山林太郎	青森	×新名常造	鹿児島	辻誠助	佐賀	中島清明	茨城
仲俣護一郎	長野	×並木正	佐賀	深江一	長崎	×野守繁人	福岡	原田民藏	大阪
×平井道治	山梨	平山茂樹	鹿児島	松本亮正	石川	深町一博	石川	(元丸山) 星野信夫	愛知
細田壽榮重	長野	本間公一	福岡	宮崎明夫	福岡	丸岡荒太郎	兵庫	(元丸山) 丸山正夫	愛知
萬田登吉	東京	三石浩材	福岡	山田琅	岡山	宮副實之	長崎	(元丸山) 村上清	熊本
盛永新作	富山	八尾實男	長崎	和田常雄	佐賀	横山鐵夫	鹿児島	吉田壽	山口
吉永萌	熊本	吉見鎮夫	愛媛			渡邊周而	神奈川		

大正六年十二月卒業

佐々木好母 長崎

大正七年二月卒業

今村正直 新潟

小野鈔多 東京

片桐理一郎 大阪

和田彪二郎 栃木

大正七年十一月卒業

七田竜雄 佐賀

原撰 佐賀

廣瀬信善 長野

大正七年十二月卒業

愛川東平	鳥取	阿部竹之助	青森	石澤政男	栃木	石田堅三郎	新潟	石山福二郎	東京
×石井雄一	東京	大塚赫夫	佐賀	飯田芳亮	山口	×上垣淳造	島根	瓜生近信	石川
衛藤森三郎	大分	小笹猗夫	福岡	長田松五郎	岡山	小田定文	東京	大友中節	宮城
大西三郎	香川	大山嘉太郎	鹿児島	加來素六	福岡	陸山巖	愛媛	勝田智之	廣島
加納正	大阪	龜井文吉	歌山	喜多周藏	長崎	吉川久雄	京都	久藤車三	廣島
小今井水次	福岡	古賀敬藏	佐賀	小澤雄三	滋賀	小林清祐	滋賀	小原敏夫	京都
(元香松) 小村榮三	鹿児島	齊藤權左衛門	栃木	阪田悌次郎	新潟	佐多祐義	鹿児島	實川彌太郎	千葉
鹽見順介	鹿児島	徐誦明	中華	杉戸清重	愛知	鈴木直光	東京	鈴木文夫	東京
節丸力	福岡	多賀憲	長崎	田川輝太郎	岡山	高橋憲司	群馬	高山光徳	新潟
竹内喜八	長野	田中利雄	長野	谷茂	東京	山口常一	兵庫	×田原秀盛	宮崎
平國明	鹿児島	築地美暢	香川	津田政夫	京都	德山克巳	福井	内藤知行	愛媛
中村悠藏	新潟	×新妻哲夫	宮城	長谷川徳三	千葉	東眞實	三重	東森善藏	奈良

○卒業生姓名(醫學士)

引地興五郎 福島 一松 美利 大分 平岡 辰二 福島 平林 金平 山形 X廣岡 巴 大分
弘中 英信 山口 松島 伯一 長野 松本 剛太郎 北海道 前田 正夫 香川 前田 又四郎 香川
三浦 百重 靜岡 三澤 憲 福島 三澤 浩 熊本 操 坦 道 鹿兒島 水野 威 靜岡
森 小一郎 大阪 本山 仲久 新潟 余語 知實 東京 劉 先 登 中華 六本木 久雄 群馬
X和田 哲夫 和歌山

大正八年二月卒業

淺野 正 新潟 小野 博 山梨 近藤 精二 德島 佐藤 哲郎 岩手 藤橋 重道 福賀
不破 保充 岐阜

大正八年三月卒業

荒木 三郎 熊本

大正八年十一月學士試驗合格

石井 正巳 廣島 桑原 儀太郎 大分 松本 俊四郎 宮城

大正八年十二月學士試驗合格

X淺田 爲義 長崎 荒川 常太郎 長崎 荒木 久米吉 福岡 石川 誠一郎 山形 市原 巖 岐阜
稻垣 正次 兵庫 岩田 三史 埼玉 岩部 勝 香川 井上一郎 大阪 上垣 道直 兵庫
梅野 辰次 長崎 小貫 貫哉 茨城 小原 浩 岡山 梶村 外吉 富山 加藤 安太郎 奈良

金森 五郎 東京 金子 正夫 新潟 川越 治房 東京 木田 篤敬 秋田 北村 五郎 新潟
楠 正人 福岡 順 祖 漢 中華 小關 勉 新潟 小寺 隆太郎 福島 後藤 五郎 岐阜
崔 元 愷 中華 鹽 足 武 福岡 杉 內 庸 三 福島 鈴木 和夫 愛知 蘇 炳 燦 中華
竹政 宣之 廣島 立 林 洋一 岡山 外 山 準 一 長野 內 藤 三 郎 兵庫 永 井 茂 愛知
名村 留治 福井 蓮 見 登光 新潟 長 谷 川 毅 一 島根 原 田 一 之 鳥取 坂 東 政 雄 富山
樋口 四郎 長崎 深 町 穂 積 福岡 藤 原 勝 岡山 細 見 憲 京都 堀 內 貢 大分
X前山 爲佐夫 佐賀 宮 城 順 福岡 向 井 治 雄 佐賀 村 上 槌 夫 福岡 山 川 強 四 郎 長崎
湯川 護兄 長崎 柳 南 柱 中華 渡 邊 福 太 郎 新潟 渡 邊 立 兵庫

大正九年二月學士試驗合格

(元本) 大倉 玄一 岡山 X坂本 振起 熊本 畑 義 雄 岡山 右田 朋平 島根 和 田 勤 一 郎 靜岡

大正九年五月學士試驗合格

朔 季 雄 福岡

大正九年七月學士試驗合格

(元本) 赤染 種章 福岡 X渥美 傳作 三重 荒木 齊造 廣島 石 山 謙 郎 長野 稻 野 實 東京
磯 日出郎 栃木 X井上 俊吉 福岡 井 上 秀 夫 大分 江 浦 重 成 福岡 遠 藤 清 一 香川
岡田 謙 滋賀 萩 原 蕭 宮崎 奧 秋 盛 大 山梨 加 地 義 雄 香川 金 田 精 一 東京
金子 慎吾 埼玉 川 島 彌 三 郎 神 奈 川 川 村 淳 一 和歌山 楠 本 二 郎 長崎 久 保 專 藏 和歌山

○卒業生姓名(醫學士)

胡川	品川	田村	永野	久富	松前	森田	吉住
文武	茂美	達	治	誠一	近	好夫	
山口	山口	山口	山口	山口	山口	山口	
野基	野基	野基	野基	野基	野基	野基	
基雄	基雄	基雄	基雄	基雄	基雄	基雄	
野基	野基	野基	野基	野基	野基	野基	
野基	野基	野基	野基	野基	野基	野基	
野基	野基	野基	野基	野基	野基	野基	
野基	野基	野基	野基	野基	野基	野基	
野基	野基	野基	野基	野基	野基	野基	

大正十年三月學士試驗合格

阿部	薄元	小山	岸本	齊藤	菅野	千葉	富永	西維	神田
恭一	茂夫	重正	英世	正敏	宏	彌太郎	雄藏	承	五郎
岡山	岡山	岡山	岡山	岡山	岡山	岡山	岡山	岡山	岡山
安部	小川	加藤	木塚	佐々木	鈴木	辻	中川	西川	引地
市郎	直吉	直吉	新	木松	木松	守	常三	清	亮太郎
岡山	岡山	岡山	岡山	岡山	岡山	岡山	岡山	岡山	岡山
荒木	岡部	河内	木下	澤田	住吉	角田	中島	野村	藤井
辰一	養逸	弘基	友教	藤一	勤也	博	東雄	佐一	省三
岡山	岡山	岡山	岡山	岡山	岡山	岡山	岡山	岡山	岡山
井岡	小田	河野	栗原	高松	高松	鄭	中村	波多	船曳
弘	廣	元恒	忠一	尚義	尚義	民	剛一	重典	立雄
岡山	岡山	岡山	岡山	岡山	岡山	岡山	岡山	岡山	岡山
今川	大山	上村	小泉	菅野	谷口	登倉	中村	原	古川
卓治	篤次郎	清宣	一	寛一	健康	達雄	良三	實	德東
岡山	岡山	岡山	岡山	岡山	岡山	岡山	岡山	岡山	岡山

正宗 一 岡山 山下 文七 香川 宮良 長祥 神 大分 滿留 善兵衛 岡山 八尾 喜一 長崎
柳井 昌憲 岡山 山下 隆雄 岡山 山下 實 大分 道澤 忠三郎 高知 吉田 葉屋志 茨城

大正十年十月學士試驗合格

高須 三左尾 茨城 山崎 達男 千葉

大正十一年三月學士試驗合格

青木	荻野	川口	楠	澁谷	副島	館山	富田	中村	信國	藤本	牧田	三宅
儀作	文城	浩	五郎	恒雄	鎮雄	忠雄	憲造	善雄	順三郎	修	壯助	茂
埼玉	福岡	福岡	福岡	新潟	佐賀	宮崎	島根	奈良	廣島	山口	岡山	東京
石川	大坪	川井	古城	進	高尾	田中	中島	名倉	乘松	藤井	増田	三輪
嘉助	豊	健	九州男	克己	鋼三郎	貢	又吉	英二	和政	恭介	康三	不二雄
山形	佐賀	大分	大分	福岡	和歌山	兵庫	佐賀	東京	愛媛	兵庫	静岡	愛知
稻田	夏	上代	兒玉	瀨尾	高田	谷口	中田	西尾	峰谷	瀨上	松野	山下
宜男	馬	晴三	剛士	愛三郎	由巳	熊雄	雄二	榮治	太郎	一夫	金治	義夫
愛知	愛知	愛知	愛知	愛知	愛知	愛知	愛知	愛知	愛知	愛知	愛知	愛知
猪股	加藤	岸野	齋藤	瀨脇	武山	津田	中村	東	星島	前野	余	
忠夫	一雄	正雄	紫朗	武壽	秀雄	哲三	與八	小一	靜夫	哲夫	雲	
山形	石川	徳島	山梨	東京	東京	東京	東京	東京	岡山	岡山	岡山	
梅田	鐘	北澤	坂本	錢	多田	樽野	野田	樋口	堀井	三谷	横山	
生	江三郎	義章	清仁	潮	克己	二久治	昌威	助弘	英二郎	章次	通幹	
熊本	長崎	長崎	長崎	長崎	長崎	長崎	長崎	長崎	長崎	長崎	長崎	

○卒業生姓名(醫學士)

横田 秀策 神奈川 吉岐 益夫 熊本 吉田 智一 鹿兒島 若尾 鄰平 山梨

大正十一年十月學士試驗合格

鷗木 小四郎 鹿兒島 日下部 旦三 東京 丸山 恒夫 東京

大正十一年十一月學士試驗合格

宇野 熊一 愛媛

大正十二年三月學士試驗合格

青木 信道 東京	安部 篤惠 福岡	天兒 民博 兵庫	新井 信義 長野	有澤 保 大阪
石井 確 熊本	石井 輝之助 千葉	伊藤 祐治 兵庫	井上 純 徳島	鷗澤 正雄 東京
×上杉 哲朗 島根	占部 虎雄 福岡	岡 貞亮 群馬	岡田 強 福岡	○奥村 集 長崎
小倉 久雄 群馬	大川 隆之 福岡	大場 洪三 熊本	大溝 靜 千葉	○何達 夫 長崎
×神谷 猪之松 愛媛	郭 開 貞 中華	掛井 仙介 山口	笠原 龜之助 長野	柏原 清隆 長野
加藤 昇三 東京	加藤 忍平 東京	加藤 隆信 鳥取	眞寶 健 中華	北原 早苗 長野
木村 寅太郎 三重	桑原 邦司 廣島	×桑原 利貞 島根	黒瀬 玄洋 中華	古賀 鷹廣 福岡
小清水 清一 神奈川	五斗 武夫 岐阜	×小林 正一 廣島	小林 宗壽 三重	古村 智 長野
權藤 竹藏 福岡	齊藤 等 福岡	×佐藤 哲士 北海道	周 文 達 中華	菅 又吉 島根
×須川 勳 京都	鈴木 清治 福岡	須永 西馬 埼玉	石 文 煥 高岡	高木 懋 岡山
竹田 昇 熊本	×武谷 喜三 大 福岡	田尻 清 鹿兒島	辻 泰 規 山口	陶 熾 中華

中島 茂 山口	中島 博 岐阜	橋崎 五郎 福岡	野村 綱男 宮崎	服部 六郎 京都
原 弘毅 秋田	廣瀬 義夫 福岡	×日渡 三郎 鹿兒島	×深澤 觀一 靜岡	福島 義信 東京
藤田 立二 山口	藤井 明人 三重	布施 四郎 滋賀	×古川 貞二 佐賀	町田 茂次 大分
松尾 信吉 佐賀	松葉清左衛門 大阪	三上 修嘉 滋賀	村田 登成 鹿兒島	矢部 升 東京
山岡 秀民 三重	山根 榮興 廣島	山本 喜代治 福井	湯川 啓吾 東京	楊子 翰 中華
楊子 讓 中華	吉田 鐵雄 佐賀	脇本 正規 岡山	渡邊 朱一 佐賀	

大正十二年十月學士試驗合格

安達 常雄 熊本 戸口 壽司 鹿兒島 濱上 信隆 鹿兒島 渡邊 保 福岡

大正十三年三月學士試驗合格

赤木 省三 北海道	池田 統治郎 佐賀	伊藤 幸雄 山口	今井 治郎 群馬	上野 張武 京都
宇山 芳郎 徳島	遠城寺 宗徳 大分	岡田 傳一 和歌山	岡本 繁 廣島	小幡 美雄夫 新潟
小原 直躬 愛媛	大島 宗二 滋賀	大園 英夫 長崎	太田 齊一 熊本	大田 精藏 鹿兒島
大田 良海 神奈川	×貝田 勇平 長崎	笠原 親之助 岩手	加藤 清一郎 京都	門田 省三 愛媛
龜田 魁輔 山口	龜井 省吾 東京	楠川 篤三 東京	黒澤 房次郎 群馬	高良 武久 鹿兒島
駒田 正雄 岐阜	小宮 昇次 新潟	齋藤 俊夫 愛媛	笹木 實 福井	猿渡 二郎 東京
島居 松次郎 廣島	×下津浦 忠助 福岡	祝 振 綱 中華	諏訪 頼雄 長野	清 軍太郎 靜岡
關口 正郎 福岡	高島 彪雄 新潟	高橋 剛助 宮城	高橋 操三郎 新潟	田口 秀吉 和歌山
武田 義信 廣島	武部 徹 長崎	田近 忠良 神奈川	田中 達 福岡	×田中 隆徳 福岡

○卒業生姓名(醫學士)

各口止 立木 豐 塚野 豐 津田 順一 富田 三郎
×中野 哲夫 中野 義尚 中村 正太郎 成末 潤 西 靖
西川 玄達 仁科 泰 西村 修平 布上 正則 根本 自宣
橋田 義 蓮見 四郎 服部 大成 原田 篤行 引圓 正中
廣瀬 金之助 福島 久雄 福地 春吾 福場 正登 福原 文雄
藤永 榮 本田 敏行 松尾 龜尾 松下 爲士 松成 直樹
松藤 宗二 松本 千敏 前田 弘吉 前田 翠 馬淵 涉
元田 敏毅 森口 昇 山内 亨吉 山川 善一郎 山際 源一
山田 治郎 横須賀 敏雄 横山 健夫 横山 潤一郎 芳野 謙治

大正十三年十月學士試驗合格

小暮 健一郎 下平 淑 高橋 陶四郎 西 寬人 長谷川 濟
服部 大作 松下 久 村上 省三 望月 峻
笹川 正路

大正十三年十二月學士試驗合格

飯野 國三郎 内山 保夫 上田 英夫 岡野 丈雄 岡本 蓮太郎
沖 利雄 奥田 潔 太田 武夫 夏 禹 銘 神谷 誠之
掛札 東雄 金子 直 川上 四男 河野 省二 神田 千治
北岡 弘 北村 精一 木村 仁 久保田 留吉 齊藤 信雄
齊藤 靖一郎 神原 享 酒井 忠男 佐田 正人 篠原 七郎
×四宮 進 下尾 彌太郎 末延 忠義 膳所 正威 高橋 正數
橋 亮吉 田中 實 高須 正末 高田 周平 登倉 登
譚 大同 塚越 潔 董 道 德田 一 中村 六郎
長坂 清人 長井 忠 中野 恒雄 中村 京亮
中山 弘道 浪越 康夫 濁川 加妙太郎 布目 勇哲
野村 實 萩崎 爲行 萩原 勇 橋本 矢一
廣岡 治 福島 豊次 藤村 茂 本多 恒三
松田 三知 的 塾 中兵衛 村山 長一 元野 泰
山田 富 余語 宣郷 吉澤 正利 吉田 定雄
渡部 律太 吉澤 正利

大正十四年三月學士試驗合格

赤司 和嘉 ×淺井 茂 蘆原 覺了 阿部 勳造 青木 備雄
石澤 正教 石井 俊次 石井 武一 板垣 友造 伊藤 俊一
飯野 國三郎 内山 保夫 上田 英夫 岡野 丈雄 岡本 蓮太郎
沖 利雄 奥田 潔 太田 武夫 夏 禹 銘 神谷 誠之
掛札 東雄 金子 直 川上 四男 河野 省二 神田 千治
北岡 弘 北村 精一 木村 仁 久保田 留吉 齊藤 信雄
齊藤 靖一郎 神原 享 酒井 忠男 佐田 正人 篠原 七郎
×四宮 進 下尾 彌太郎 末延 忠義 膳所 正威 高橋 正數
橋 亮吉 田中 實 高須 正末 高田 周平 登倉 登
譚 大同 塚越 潔 董 道 德田 一 中村 六郎
長坂 清人 長井 忠 中野 恒雄 中村 京亮
中山 弘道 浪越 康夫 濁川 加妙太郎 布目 勇哲
野村 實 萩崎 爲行 萩原 勇 橋本 矢一
廣岡 治 福島 豊次 藤村 茂 本多 恒三
松田 三知 的 塾 中兵衛 村山 長一 元野 泰
山田 富 余語 宣郷 吉澤 正利 吉田 定雄
渡部 律太 吉澤 正利

大正十四年四月學士試驗合格

青柳 萬次郎 大正十四年十一月學士試驗合格
關 幾次郎 田坂 聖一郎 永松 之幹
○卒業生姓名(醫學士)

大正十五年三月學士試驗合格

青木郁太郎	東京	赤星新一郎	熊本	安倍明義	大分	阿部信介	新潟	池野喜一	兵庫
飯塚保	千葉	井手正堂	愛媛	浮野竹市	香川	上田彰	徳島	馬屋原茂	山口
梅崎松實	佐賀	江口彌兵衛	佐賀	王大徳	長門	王丸勇	福岡	岡田稔	廣島
小田貫一	鳥取	小野三郎	長門	貝田好美	長門	梶原一雄	熊本	岡谷長茂	福岡
川口善友	愛知	小黒智教	新潟	小林正二郎	新潟	小林照明	佐賀	小藪信行	熊本
財津磯松	大分	齋藤準次	新潟	神原賢三	神奈川	向坂進	滋賀	阪口秀二郎	長崎
佐竹憲太郎	富山	佐藤高夫	大分	佐藤隆二	新潟	澤倫次	千葉	白木正	神奈川
設樂三郎	群馬	居石直資	佐賀	×末松甲子生	福岡	杉崎陽	新潟	杉森司	佐賀
染河弘	鹿児島	戴夏民	中華	大藤敏三	東京	田坂益一	愛媛	棚橋陽吉	福岡
津田勇夫	佐賀	筒井龍三	高知	都外川文雄	鹿児島	島居三朗	山梨	中脩三	徳島
西島重樹	福岡	根尾敏雄	大分	野口涉	愛媛	原田三郎	佐賀	板東章	福岡
日置富士郎	鹿児島	藤田正徳	香川	藤井厚男	鳥取	風呂中不二男	廣島	前田直一	福岡
正木碌也	三重	町野碩夫	山口	松村達夫	山口	三宅徳三郎	香川	宮崎隆之	熊本
三好惟治	大阪	村上幸雄	廣島	村川五郎	鳥取	吉岡了介	山口	馬渡房雄	佐賀
山縣登	山口	山田進	香川	横山量平	愛媛	吉岡守人	佐賀	吉田英資	佐賀
和山	山口	和山	山口						

大正十五年十月學士試験合格

昭和二年三月學士試験合格

明石精一郎	福岡	淺尾寅二郎	福岡	有留重彦	鹿児島	石倉猛夫	佐賀	石丸茂生	佐賀
伊藤達夫	山口	岩熊哲	福岡	岩松政夫	福岡	井手誠司	福岡	井上侃二	福岡
井上大助	福岡	瓜生英二	福岡	王延綱	中華	岡爲輔	鹿児島	岡田留千代	兵庫
小幡博	福岡	大熊隆三	福岡	×大谷芳文	京都	大場保雄	福岡	柏常彦	鹿児島
龜尾丹一	福岡	木庭密樹	福岡	木村三朗	福岡	清澤又四郎	福岡	日下隆一	徳島
久保良則	長崎	黒木政治	宮崎	戈紹龍	中華	古賀良彦	福岡	小坂鏡一	福岡
古森善五郎	福岡	西願忠雄	石川	齋藤明	神奈川	坂元直夫	宮崎	謝花昇清	神奈川
下島經徳	鹿児島	鋤柄福之助	熊本	住田恒幸	愛媛	高木季生	愛媛	高市道一	愛媛
高見康夫	長崎	田口清	東京	立花俊三	福岡	立石彌七郎	長崎	田中一弘	福岡
田平榮造	鹿児島	×田村福一	山口	辻山義光	長崎	德永弘視	福岡	戸島良雄	山口
富永春樹	佐賀	友田正信	奈良	中野英雄	佐賀	永海兼人	鳥取	中村氏秀	福岡
中村陽三	鳥取	永井健	愛媛	中井善一郎	大阪	仁木秀臣	徳島	西澤信一	新潟
西島義一	山口	西山辰雄	宮崎	野村俊一郎	福岡	吐師俊雄	鹿児島	橋本義郎	大分
濱田辰敏	福岡	原田哲哉	鹿児島	東陽一	佐賀	日高壯三	長崎	平田胤春	福岡
深田與三吉	大阪	福田正秀	福岡	福元登	鹿児島	藤好米太郎	福岡	淵香一	佐賀
彭玉書	中華	楓哲夫	福岡	牧角知方	鹿児島	增田源三郎	埼玉	增田純廣	鹿児島
×又森治	徳島	松田泰造	富山	馬淵秀晴	鳥取	三木榮	大阪	三島市太郎	佐賀
×三戸立男	山口	三宅重徳	福岡	三宅博	徳島	宮原通顯	山口	宮原初男	鹿児島

○卒業生姓名（醫學士）

森 優 大分 守 克巳 福岡 守 田 格 熊本 山内 譽 福岡 ×山中 巖 山口
吉武 三郎 沖繩 笠 潤一 福岡 渡邊 格 佐賀 渡邊 長尾 福岡 ×山中 巖 山口

昭和三年三月學士試驗合格

赤澤 溫 長野 池江 喜久 鹿兒島 池田 一二 佐賀 ×石島 勝郎 茨城 石田 義夫 福岡
一宮 勝三郎 兵庫 伊藤 藤 岐阜 後田 茂 愛知 岩尾 常治 鹿兒島 岩崎 義夫 佐賀
岩田 太郎 大分 今村 一 大分 (元鹿島) 益 二 山口 江浦 榮山 福岡 ×江口 恒 佐賀
江崎 一良 岐阜 江藤 正美 大分 江村 正志 島根 緒方 正 福岡 大浦 正江 佐賀
尾形 恒治 大分 小田 昌秋 福岡 奧村 廣明 長崎 小田切 允 山梨 大田 豐 山口
大坪 深巳 東京 大林 治男 廣島 大屋 元 福岡 神殿 德二 宮崎 河野 壽 大分
柿沼 哲治 東京 梶浦 毅四郎 愛媛 加藤 聖 廣島 川合 銑一 福岡 川原 壽郎 長崎
上笠 實 男 鹿兒島 京極 佐市 愛媛 ×桐井 深 三重 串崎 敏朗 島根 熊本 秀雄 福岡
兒玉 來三 廣島 酒井 源清 高知 坂井 洋一 佐賀 櫻井 之一 東京 佐々木 春米 福岡
飯屋 次雄 長崎 佐藤 幹正 大分 重藤 文夫 廣島 高松 節治 高知 下村 蕭 佐賀
須賀 秀雄 愛媛 田中 德 福岡 蘇記 之 中華 津田 良昌 佐賀 中尾 英夫 長崎
武谷 止孝 福岡 中西 和生 三重 永野 敏孝 千葉 永松 藏十郎 島根 成松 筑海 佐賀
長崎 克敏 長崎 仁木 堯 福岡 西尾 正功 東京 西尾 一三 福岡 庭木 眞一 長崎
南家 今四郎 鳥取 延谷 不二雄 大分 八田 喜壽 高知 八田 誠 山口 日隈 精一 熊本
野原 義明 長野 藤原 繼雄 大分 ×藤田 喜壽 高知 藤井 誠 山口 眞榮 堯 山口
平野 清人 熊本

松野 鴻次 熊本 前田 慶彦 鹿兒島 前田 薰仁 香川 前田 正隆 兵庫 美川 三郎 熊本
宮崎 茂 長崎 宮崎 守作 大分 村田 晋 大分 村本 剛太郎 石川 村山 原之 福岡
本村 賢二 熊本 八木 九州男 福岡 八木 繁 福岡 矢澤 克巳 長崎 安原 哲男 岡山
山岡 憲二 福岡 山口 秀夫 佐賀 山根 純祐 山口 山本 一郎 高知 吉田 善晴 佐賀
米川 義郎 廣島 劉 祖 霞 民中 渡邊 伊勢雄 熊本 渡邊 德七 長野

昭和三年十月學士試驗合格

武尾 每木 奈良

昭和三年十二月學士試驗合格

高島 久雄 熊本

昭和四年三月學士試驗合格

淺越 嘉威 岡山 青木 猛夫 福岡 荒木 周一 宮崎 有田 忠 廣島 池田 千壽 長野
井手 正英 愛媛 出田 龍彦 長崎 伊藤 謙介 福岡 ×植田 諒 大分 上城 秀三 香川
上原 信章 福岡 緒方 潔 熊本 大村 重人 福岡 大森 民男 熊本 大屋 善友 島根
勝目 等鹿兒島 河東 洗 愛媛 河上 巖 島根 河野 信勝 福岡 鎌田 洋一 福岡
木村 成美 山口 桑本 正雄 廣島 黒木 敏雄 福岡 香田 可 佐賀 古賀 明 熊本
古莊 哲夫 熊本 兒玉 國三 廣島 小林 苦樂 福岡 小牧 昂 宮崎 小室 靜司 福岡
財前 弘臣 大分 神 磐彦 東京 坂口 幸介 福岡 佐藤 八四二 大分 眞田 利七 福岡

○卒業生姓名 (醫學士)

佐野 榮	敷地 寛	茂田 孟	沙見 英次郎	自見 政雄
白壁 武	白土 壽朝	陣内 日出二	鈴木 新助	住田 正之
關本 正	高野 賢完	武木 武夫	田中 豊一	田中 義照
爲末 博	田村 茂夫	武木 雅太	辻 義正	都田 恒夫
筒井 達雄	徳永 一男	戸田 定	遠山 一	富川 繁次
富永 達三	内藤 長夫	中島 定次	中島 久虎	長田 牛男
永野 信英	中原 獅郎	鍋島 種幸	服部 達太郎	久田 誠也
藤林 道三	藤村 實雄	坊上 廣海	星村 將雄	益田 興士雄
松尾 隆	松岡 琢郎	松岡 壽	本多 修	松垣 忠國
前田 隆	三原 悟	宮田 次男	美好 貢	向笠 潜
孟憲 蓋	山口 源一	山崎 一雄	山下 實六	山本 清
吉田 申次	吉安 修	米山 龍雄		

昭和四年十月學士試験合格

(元藤田) 佐藤 大雄 福岡 牧園 文吾 福岡

昭和五年三月學士試験合格

阿知波 五郎	天兒 民和	荒川 浩一	生田 有年	池田 初一
石西 進	石井 巖	伊藤 嘉夫	今石 戰時郎	入江 英雄
井尻 兼三	内山 八郎	宇都宮 利雄	上野 實弘	尾崎 紀一郎

大谷 賢	大橋 勝治	片山 直彦	勝木 司馬之助	加藤 綱之助
門松 利三	金山 傳次	辛島 泉鶴	菊池 志米吉	岸川 英治
木村 範美	近郷 樊太郎	工藤 明吉	古賀 琢美	後藤 日出男
齋藤 忠夫	櫻井 幸夫	篠山 信成	(元阿部) 車 南守	白石 勇
末松 秀美	末村 繁	周防 信次	(元阿部) 園田 武彦	高野 勇
田上 喜代英	高本 高安	田北 周平	瀧本 虎次郎	檀上 順三
(元阿部) 坂原 兎走	豊嶋 明	島居 作夫	島居 龍馬	長尾 四郎
(元阿部) 長主 從期	中村 茂	中本 南	難波 茂男	西岡 天祐
西村 正勝	野田 武雄	(元三宅) 野間 深	濱崎 邦夫	林 成夫
吹譯 卓郎	藤川 淳	(元三宅) 藤田 辰男	藤見 勤精	堀越 由雄
本田 親俊	増澤 五六	前山 彦人	宮崎 一朗	元村 拙夫
安岡 藤吉	山口 梅雄	佐政 三郎	山本 哲次郎	吉岡 進
吉崎 梧棲	吉富 宗英	吉見 胤光	季 呈奇	渡邊 喜海
渡里 清				

昭和五年十月學士試験合格

岩重 慶吉	沖田 喬平	太田 黒東陽	懸橋 實理	莊 光祥
高田 喜藏	土性 壽	(元小澤) 友石 孝之	中島 達	星野 行嘉
宮城 善吉				

昭和六年三月學士試験合格

○卒業生姓名(醫學士)

相賀 勇一 佐賀 愛甲 義俊 熊本 赤田 壽一郎 福岡 淺香 勝茂 福岡 麻生 敏男 長崎
青柳 司郎 新潟 池内 眞澄 愛媛 池田 武司 佐賀 池田 晴彦 秋田 石井 泰藏 千葉
泉谷 武近 奈良 磯邊 信明 福岡 市村 平八郎 兵庫 伊藤 祐俊 福岡 井上 春雄 大分
伊野 正慶 島根 飯田 武雄 大分 飯田 康一 山口 井上 四郎 福岡 江口 四郎 福岡
井上 良彦 福岡 岡上 泰行 福岡 内川 正男 佐賀 宇土 重治 福岡 岡本 節男 大分
江下 英一 福岡 織田 健太郎 高知 小野 順一 大分 小川 源八 新潟 大谷 佐平 徳島
小田 英一 福岡 鹿島 通典 大分 梶山 直安 佐賀 加藤 勤也 福岡 河田 政一 東京
加來 孟治 福岡 我部 政法 神戶 木原 行男 熊本 古賀 康八郎 佐賀 古賀 太郎 佐賀
河村 祐義 東京 小町 谷光男 長野 小森 拓 佐賀 坂本 彦一 山口 清水 義彰 島根
小久江 直義 長崎 島長 進一 長崎 杉山 保 佐賀 清水 直太郎 佐賀 高橋 喜久夫 兵庫
佐藤 猛 福岡 杉岡 直登 廣島 田邊 猛 廣島 玉重 忠之 廣島 津久井 參雄 大分
末富 九州男 宮崎 田中英雄 長野 東條 龍平 兵庫 德谷 武夫 島根 波多江 龍生 福岡
高橋 太郎 福岡 寺師 忠雄 佐賀 永富 勳 大分 蓮尾 春嘉 福岡 原田 正 徳島
中内 義衛 徳島 野田 明光 佐賀 橋本 泰三 三重 松崎 秀夫 徳島 山下 敏則 佐賀
西依 九五 佐賀 林 清三 島根 藤澤 康武 香川 藤澤 元雄 岡山 矢野 直雄 大分
藤澤 康武 香川 藤澤 元雄 岡山 矢野 直雄 大分 山下 千代壽 島根
松野 逸 福岡 森 間 楠 福岡 矢野 直雄 大分 山下 千代壽 島根
毛利 薫人 佐賀 森 間 楠 福岡 矢野 直雄 大分 山下 千代壽 島根

山田 保 大分 山田 弘 福岡 ×山路 重省 福岡

昭和六年十月學士試驗合格

玉木 正夫 山口

昭和七年三月學士試驗合格

秋山 義春 鳥取 旭 憲次 福岡 新井 恭巳 群馬 荒木 一郎 東京 石井 良雄 福岡
伊地知 休三 鹿兒島 今井 環 大分 井倉 昭 山口 内田 辰雄 熊本 上山 秀徳 鹿兒島
大島 武男 鳥取 岡 恒喜 長崎 小川 敏夫 兵庫 沖田 頼四郎 佐賀 奥村 仁吉 福岡
金子 憲夫 山口 大野 英男 宮崎 影山 民治 山口 笠井 行男 島根 加藤 春雄 埼玉
清遠 幸彦 高知 草ヶ谷 逸三 靜岡 草刈 昂 長崎 北原 長次郎 福岡 限本 喜久雄 佐賀
黒田 春馬 福岡 古賀 新 福岡 古賀 千尋 福岡 久保 博 群馬 後藤 隆範 大分
齋藤 弘 福岡 坂本 馨 福岡 酒井 平六 佐賀 佐々木 久之 廣島 佐々木 正巳 島根
柴田 勝 福岡 白石 清秋 長崎 鈴木 統一郎 宮崎 曾根 重夫 大分 高橋 重親 高知
高山 久雄 福岡 田邊 芳郎 廣島 田野 俊彦 島根 田村 平八郎 徳島 千藏 保 福岡
都留 完 大分 東野 勇治 大阪 島巢 太郎 佐賀 永江 清治 兵庫 長岡 研二 福岡
中川 太郎 廣島 中島 勝巳 福岡 中島 六右衛門 長崎 中村 徹 山口 納富 半三 佐賀
野見山 卯吉 福岡 橋本 正治 和歌山 長谷川 榮之助 茨城 林 靜 島根 原 茂良 山口
久野 實 福岡 久本 正人 佐賀 平野 忠 兵庫 神田 速雄 福岡 藤岡 正人 徳島

○卒業生姓名(醫學士)